

第2次南あわじ市総合計画 後期基本計画 策定に係る市民意識調査 報告書

令和3年9月

南あわじ市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 実施概要	1
3 回収状況	1
4 調査項目	2
5 本報告書の見方	3
II 調査の結果	5
・回答者の属性	5
・南あわじ市の暮らしや今後の居住意向について	14
・まちづくりへの評価について	30
【満足度と推進度の相関関係】	32
・男女共同参画について	40
・新型コロナウイルス感染症について	46
・南あわじ市の広報活動について	56
・持続可能な開発目標(SDGs)について	80
・自由意見	84

I 調査の概要

1 調査の目的

「第2次南あわじ市総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、市民の皆様のご意見や考えを計画に反映させるため、「市民意識調査」を実施しました。

2 実施概要

本調査の実施概要については、次のとおりです。

調査対象	市内在住の18歳以上の市民 3,000 人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送調査：郵送配布・回収 ※回収についてはWEBを併用 (調査票にQRコードを記載、専用ウェブサイトにて回答)
調査時期	令和3年6月 21 日(月)から7月 13 日(火)まで ※調査票では、回収締切日を7月5日(月)に設定 ※礼状兼督促状にて、調査票の回収締切日を7月 13 日(火)に延長

3 回収状況

本調査の回収状況については、次のとおりです。

配布数	3,000 票
総回収数(率)	1,559 票(52.0%) 調査票回答：1,341 票 WEB 回答：218 票
有効回答数(率)	1,558 票(51.9%) 調査票回答：1,340 票 WEB 回答：218 票

【参考】

前回(平成 27 年度)回収率：52.6%

前々回(平成 23 年度)回収率：46.8%

※有効回答数は白票を除く

4 調査項目

主な調査項目は次のとおりです。

SA=単数回答:「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答:「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

FA=自由記述

設問			アンケートのねらい
回答者の属性	問1 性別	SA	・回答者の属性によるクロス分析等に活用 ・年齢層や居住地区による回答の違いを把握
	問2 年齢	SA	
	問3 同居家族	SA	
	問4 居住地区	SA	
	問5 職業	SA	
	問6 居住の状況	SA	
南あわじ市での暮らしや居住意向について	問7 南あわじ市の住みよさ	SA	・市民の生活実感の把握 ・居住意向を把握したうえでの南あわじ市の魅力、課題の抽出
	問8 南あわじ市の居住意向	SA	
	問8-(1) 住み続けたいと思う主な理由	MA	
	問8-(2) 住み続けたくないと思う主な理由	MA	
	問9 総合計画に掲げる市民の役割の実践度	SA	
	問10 まちづくりの参画に関する考え	SA	
まちづくりへの評価について	問11 総合計画に掲げる取組内容に関する満足度	SA	・現状評価、今後の推進すべき事項について ・ポートフォリオ分析を行うことにより、施策の効果、優先度を把握
	問12 総合計画に掲げる取組内容で今後推進すべき事項	SA	
男女共同参画について	問13 男女共同参画社会についての認知度	SA	・男女共同参画についての認知状況の把握 ・男女共同参画推進のために必要な取組の把握
	問14 女性活躍を推進する上での重要項目	SA	
	問15 男女共同参画推進のための市の取組	MA	
新型コロナウイルス感染症について	問16 新型コロナウイルスによる生活の変化	SA	・新型コロナウイルスに関する課題の把握 ・共存していく上での重要項目の把握
	問17 新型コロナウイルスにより影響があったこと	MA	
	問18 新型コロナウイルスと共存していく上で重要な項目	SA	
南あわじ市の広報活動について	問19 南あわじ市の情報の入手方法	MA	・市民の情報入手に関する手段の把握 ・情報入手方法の理由の把握
	問19-(1) 情報の入手方法を選んだ理由	SA	
	問20 広報南あわじの利用状況	SA	・広報南あわじの利用状況の把握 ・広報南あわじを発行するうえでの課題の把握
	問20-(1) 広報南あわじ市を見たり、読んだりしない理由	SA	
	問21 南あわじ市ホームページの閲覧状況	SA	・南あわじ市ホームページの閲覧状況の把握 ・南あわじ市ホームページより情報を発信する際の課題の把握
	問21-(1) 南あわじ市ホームページを見ない理由	SA	
	問22 さんさんネットコミュニティチャンネルの視聴状況	SA	・さんさんネットコミュニティチャンネルの視聴状況の把握 ・さんさんネットコミュニティチャンネルより配信する際の課題の把握
	問22-(1) さんさんネットコミュニティチャンネルを見ない理由	SA	
	問23 南あわじ市に関して知りたい情報	MA	・南あわじ市の情報に関するニーズ、改善点、要望等の把握
	問24 南あわじ市の広報活動についての満足度	SA	
	問25 南あわじ市の広報活動についての要望	SA	
	問26 マスメディアによる市の情報発信についての意識	SA	
持続可能な開発目標(SDGs)について	問27 「持続可能な開発目標(SDGs)」についての認知度	SA	・SDGsについての認知状況の把握 ・SDGsの実現に向け、重点的に取り組む施策の検討
	問28 SDGs17の目標(ゴール)について、重要だと思う目標	MA	
自由記述	問29 まちづくりに対してのご意見	FA	・その他意見の把握

5 本報告書の見方

- ◇設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇タイトルの横には、質問形態（SA・MA・FA）を記載しています。
- ◇各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇各比率は、小数点第1位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇居住地域については、下記の地域区分によって分析を行っています。

居住地区	地区名	
緑地区	広田地区	倭文地区（旧緑町）
西淡地区	松帆地区	湊地区
	津井地区	阿那賀地区（旧丸山小学校区）
	阿那賀地区（旧阿那賀小学校区）	伊加利地区
	志知地区	
三原地区	榎列地区	八木地区
	市地区	神代地区
	倭文地区（旧三原町）	志知地区
南淡地区	福良地区	賀集地区
	北阿万地区	潮美台地区
	阿万地区	灘地区
	沼島地区	

Ⅱ 調査の結果

・ 回答者の属性

問 1 性別

(SA)

【全体】

○「男性」41.4%、「女性」56.9%、「1（男性），2（女性）に当てはまらない」0.1%となっています。

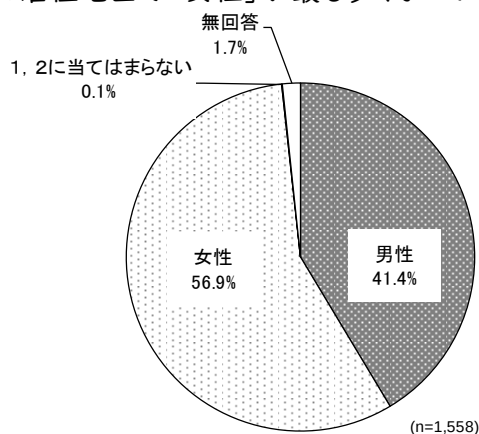
○なお、実際の人口の構成比と比較すると、“男性”が6.8ポイント少ない一方、“女性”が5.1ポイント高くなっており、女性の意見がやや多く反映された結果となっています。

【年齢別】

○すべての年代で「女性」が最も多くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「女性」が最も多くなっています。



【実際の人口構成比との比較】

	実際の人口による構成比	回答者の構成比
男性	48.2%	41.4%
女性	51.8%	56.9%

※実際の人口による構成比：年齢別男女別人口調（R3年3月末）より算出

上段：人 下段：%		合計	問 1 性別			
			男性	女性	1, 2に 当てはま らない	無回答
全 体		1,558	645	886	1	26
		100.0	41.4	56.9	0.1	1.7
年 齢	10歳・20歳代	101	38	63	0	0
		100.0	37.6	62.4	0.0	0.0
	30歳代	152	50	102	0	0
		100.0	32.9	67.1	0.0	0.0
	40歳代	233	100	131	1	1
		100.0	42.9	56.2	0.4	0.4
	50歳代	245	100	144	0	1
		100.0	40.8	58.8	0.0	0.4
居 住 地 区	60歳代	342	150	190	0	2
		100.0	43.9	55.6	0.0	0.6
	70歳以上	470	205	255	0	10
		100.0	43.6	54.3	0.0	2.1
	緑地区	208	94	113	0	1
		100.0	45.2	54.3	0.0	0.5
	西淡地区	324	132	186	0	6
		100.0	40.7	57.4	0.0	1.9
三 原 地 区	三原地区	514	217	292	0	5
		100.0	42.2	56.8	0.0	1.0
	南淡地区	496	201	292	1	2
		100.0	40.5	58.9	0.2	0.4

問 2 年齢

(SA)

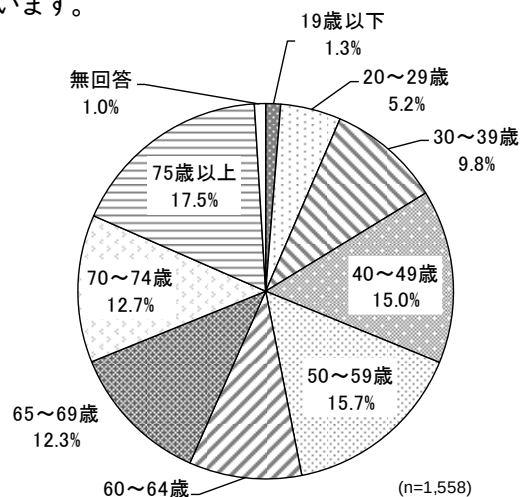
【全体】

○「75 歳以上」17.5%が最も多く、次いで「50～59 歳」15.7%、「40～49 歳」15.0%となっています。

○なお、実際の人口の構成比と比較すると、特に“20～29 歳”“75 歳以上”が3ポイント以上少なく、“65～69 歳”が3.4ポイント高くなっています。

【居住地区別】

○“緑地区”“三原地区”では「40～49 歳」、「西淡地区”“南淡地区”では「75 歳以上」が最も多くなっています。



【実際の人口構成比との比較】

	実際の人口による構成比	回答者の構成比
19歳以下	2.3%	1.3%
20～29歳	9.0%	5.2%
30～39歳	11.0%	9.8%
40～49歳	14.6%	15.0%
50～59歳	14.4%	15.7%
60～64歳	7.8%	9.7%
65～69歳	8.9%	12.3%
70～74歳	11.0%	12.7%
75歳以上	21.0%	17.5%

※実際の人口による構成比：年齢別男女別人口調（R3 年 3 月末）より算出

上段:人 下段:%		合計	問 2 年齢				
			19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
全 体		1,558 100.0	20 1.3	81 5.2	152 9.8	233 15.0	245 15.7
居住地区	緑地区	208 100.0	5 2.4	8 3.8	31 14.9	34 16.3	31 14.9
	西淡地区	324 100.0	7 2.2	13 4.0	26 8.0	40 12.3	58 17.9
	三原地区	514 100.0	4 0.8	27 5.3	53 10.3	93 18.1	81 15.8
	南淡地区	496 100.0	4 0.8	31 6.3	42 8.5	66 13.3	75 15.1

上段:人 下段:%		合計	問 2 年齢				
			60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全 体		1,558 100.0	151 9.7	191 12.3	198 12.7	272 17.5	15 1.0
居住地区	緑地区	208 100.0	17 8.2	28 13.5	23 11.1	31 14.9	0 0.0
	西淡地区	324 100.0	24 7.4	44 13.6	47 14.5	64 19.8	1 0.3
	三原地区	514 100.0	56 10.9	61 11.9	58 11.3	80 15.6	1 0.2
	南淡地区	496 100.0	54 10.9	58 11.7	69 13.9	96 19.4	1 0.2

問3 同居家族

(SA)

【全体】

○「二世世代世帯（親と子）」44.0%が最も多く、次いで「夫婦のみ」26.4%、「三世世代世帯（親と子と孫）」13.9%となっています。

○「二世世代世帯（親と子）」と「夫婦のみ」の合計は約7割となっており、核家族の進行が伺えます。

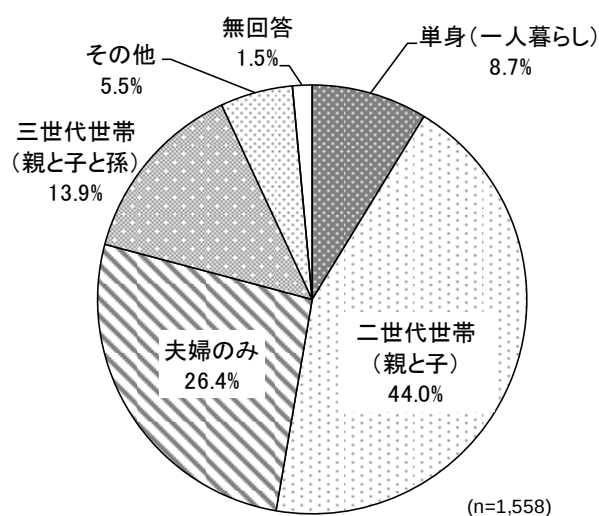
【年齢別】

○10歳・20歳代～50歳代では「二世世代世帯（親と子）」、「60歳代」「70歳以上」では「夫婦のみ」が最も多くなっています。

○10歳・20歳代で「単身世帯」が多く、50歳代以上で徐々に多くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「二世世代世帯（親と子）」が最も多くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問3 同居家族					
			単身 (一人暮らし)	二世世代世帯 (親と子)	夫婦のみ	三世世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	136 8.7	685 44.0	412 26.4	217 13.9	85 5.5	23 1.5
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	13 12.9	57 56.4	3 3.0	20 19.8	5 5.0	3 3.0
	30歳代	152 100.0	1 0.7	104 68.4	12 7.9	22 14.5	13 8.6	0 0.0
	40歳代	233 100.0	4 1.7	159 68.2	16 6.9	35 15.0	16 6.9	3 1.3
	50歳代	245 100.0	19 7.8	108 44.1	63 25.7	44 18.0	10 4.1	1 0.4
	60歳代	342 100.0	29 8.5	116 33.9	133 38.9	38 11.1	22 6.4	4 1.2
	70歳以上	470 100.0	70 14.9	139 29.6	184 39.1	57 12.1	19 4.0	1 0.2
	70歳以上	470 100.0	70 14.9	139 29.6	184 39.1	57 12.1	19 4.0	1 0.2
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	13 6.3	106 51.0	54 26.0	25 12.0	8 3.8	2 1.0
	西淡地区	324 100.0	28 8.6	130 40.1	98 30.2	50 15.4	16 4.9	2 0.6
	三原地区	514 100.0	42 8.2	230 44.7	127 24.7	83 16.1	28 5.4	4 0.8
	南淡地区	496 100.0	52 10.5	217 43.8	132 26.6	59 11.9	33 6.7	3 0.6

問 4 居住地区

(SA)

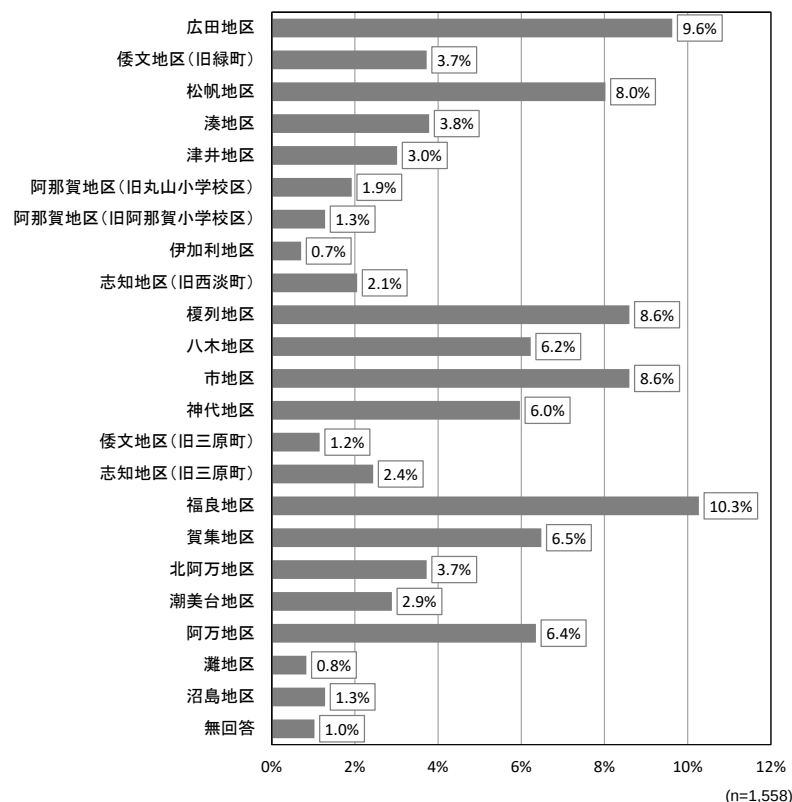
【全体】

○「福良地区」10.3%が最も多く、次いで「広田地区」9.6%、「榎列地区」「市地区」8.6%となっています。

○なお、実際の人口の構成比と比較して、大きな差はみられません。

【年齢別】

○”10 歳・20 歳代“では「榎列地区」、”30 歳代“”50 歳代“では「広田地区」、”40 歳代“では「広田地区」「榎列地区」、”60 歳代“”70 歳以上“では「福良地区」が最も多くなっています。



	実際の人口による構成比	回答者の構成比
広田地区	9.3%	9.6%
倭文地区（旧緑町）	3.2%	3.7%
松帆地区	8.5%	8.0%
湊地区	3.7%	3.8%
津井地区	2.9%	3.0%
阿那賀地区	2.8%	3.2%
伊加利地区	0.8%	0.7%
志知地区（旧西淡町）	2.4%	2.1%
榎列地区	7.9%	8.6%
八木地区	7.8%	6.2%
市地区	8.5%	8.6%
神代地区	6.0%	6.0%
倭文地区（旧三原町）	1.0%	1.2%
志知地区（旧三原町）	1.5%	2.4%
福良地区	10.3%	10.3%
賀集地区	7.9%	6.5%
北阿万地区	4.0%	3.7%
潮美台地区	3.1%	2.9%
阿万地区	6.4%	6.4%
灘地区	1.2%	0.8%
沼島地区	0.9%	1.3%

※実際の人口による構成比：南あわじ市市区・行政区別人口世帯数（R3 年6月末）より算出

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問 4 居住地区							
			広田地区	倭文地区 (旧緑町)	松帆地区	湊地区	津井地区	阿那賀地区 (旧丸山小学校区)	阿那賀地区 (旧阿那賀小学校区)	伊加利地区
全 体		1,558 100.0	150 9.6	58 3.7	125 8.0	59 3.8	47 3.0	30 1.9	20 1.3	11 0.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	11 10.9	2 2.0	11 10.9	3 3.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	152 100.0	24 15.8	7 4.6	9 5.9	5 3.3	4 2.6	0 0.0	2 1.3	0 0.0
	40歳代	233 100.0	26 11.2	8 3.4	19 8.2	6 2.6	6 2.6	6 2.6	2 0.9	0 0.0
	50歳代	245 100.0	26 10.6	5 2.0	16 6.5	12 4.9	10 4.1	5 2.0	5 2.0	3 1.2
	60歳代	342 100.0	28 8.2	17 5.0	22 6.4	9 2.6	15 4.4	7 2.0	5 1.5	4 1.2
	70歳以上	470 100.0	35 7.4	19 4.0	48 10.2	24 5.1	11 2.3	11 2.3	6 1.3	4 0.9

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問 4 居住地区							
			志知地区 (旧西淡町)	榎列地区	八木地区	市地区	神代地区	倭文地区 (旧三原町)	志知地区 (旧三原町)	福良地区
全 体		1,558 100.0	32 2.1	134 8.6	97 6.2	134 8.6	93 6.0	18 1.2	38 2.4	160 10.3
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	4 4.0	16 15.8	3 3.0	6 5.9	1 1.0	4 4.0	1 1.0	8 7.9
	30歳代	152 100.0	6 3.9	20 13.2	13 8.6	13 8.6	3 2.0	0 0.0	4 2.6	12 7.9
	40歳代	233 100.0	1 0.4	26 11.2	14 6.0	22 9.4	22 9.4	2 0.9	7 3.0	19 8.2
	50歳代	245 100.0	7 2.9	15 6.1	19 7.8	21 8.6	18 7.3	4 1.6	4 1.6	25 10.2
	60歳代	342 100.0	6 1.8	30 8.8	27 7.9	30 8.8	19 5.6	2 0.6	9 2.6	33 9.6
	70歳以上	470 100.0	7 1.5	27 5.7	21 4.5	42 8.9	30 6.4	5 1.1	13 2.8	63 13.4

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問4 居住地区						
			賀集地区	北阿万地区	潮美台地区	阿万地区	灘地区	沼島地区	無回答
全 体		1,558 100.0	101 6.5	58 3.7	45 2.9	99 6.4	13 0.8	20 1.3	16 1.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	8 7.9	4 4.0	4 4.0	9 8.9	1 1.0	1 1.0	2 2.0
	30歳代	152 100.0	9 5.9	7 4.6	4 2.6	8 5.3	1 0.7	1 0.7	0 0.0
	40歳代	233 100.0	15 6.4	10 4.3	5 2.1	13 5.6	0 0.0	4 1.7	0 0.0
	50歳代	245 100.0	13 5.3	12 4.9	9 3.7	10 4.1	1 0.4	5 2.0	0 0.0
	60歳代	342 100.0	23 6.7	9 2.6	13 3.8	23 6.7	5 1.5	6 1.8	0 0.0
	70歳以上	470 100.0	33 7.0	16 3.4	10 2.1	35 7.4	5 1.1	3 0.6	2 0.4

問5 職業

(SA)

【全体】

○「会社員・公務員など（給与所得者）」28.9%が最も多く、次いで「無職」15.9%、「農林漁業」14.9%となっています。

【性別】

○“男性”では“女性”に比べて、「農林漁業」（20.5%）が9.9ポイント高くなっています。

○“女性”では“男性”に比べて、「パートタイマー・アルバイト」（20.2%）が16.6ポイント、「主婦（夫）」（17.2%）が16.9ポイント高くなっていることから、女性の非正規雇用の割合が高いことが伺えます。

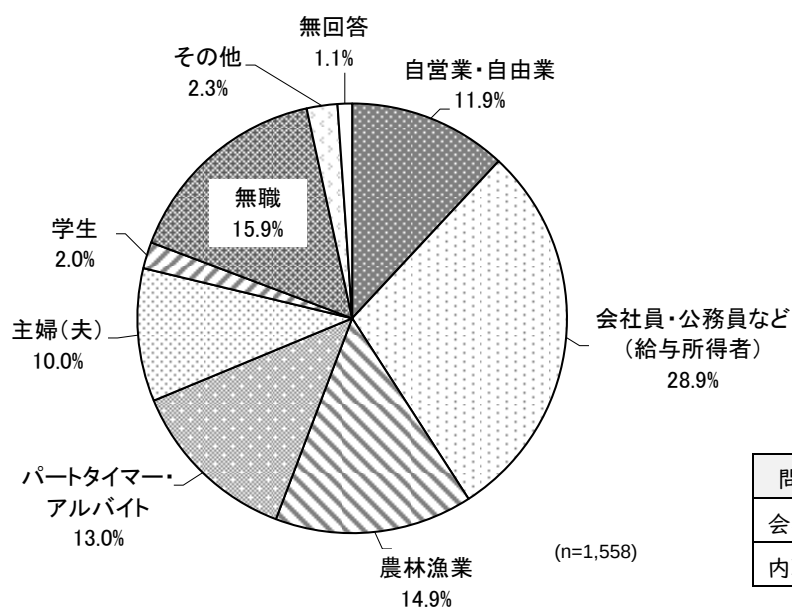
【年齢別】

○10歳・20歳代～50歳代では「会社員・公務員など（給与所得者）」、「60歳代」では「農林漁業」、「70歳以上」では「無職」が最も多くなっています。

○「農林漁業」では40歳代以下が全体と比べて10ポイント以上低くなっており、高齢化の進行が伺えます。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「会社員・公務員など（給与所得者）」が最も多くなっています。



問5 その他の回答例	回答数(件)
会社役員	3
内職	2

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問 5 職業								
			自営業・自由業	会社員・公務員など（給与所得者）	農林漁業	パートタイマー・アルバイト	主婦（夫）	学生	無職	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	186 11.9	451 28.9	232 14.9	202 13.0	156 10.0	31 2.0	247 15.9	36 2.3	17 1.1
性 別	男性	645 100.0	96 14.9	245 38.0	132 20.5	23 3.6	2 0.3	13 2.0	121 18.8	12 1.9	1 0.2
	女性	886 100.0	88 9.9	205 23.1	94 10.6	179 20.2	152 17.2	18 2.0	124 14.0	23 2.6	3 0.3
	1，2に当てはまらない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	4 4.0	46 45.5	3 3.0	12 11.9	2 2.0	30 29.7	2 2.0	2 2.0	0 0.0
	30歳代	152 100.0	15 9.9	81 53.3	3 2.0	28 18.4	15 9.9	1 0.7	5 3.3	3 2.0	1 0.7
	40歳代	233 100.0	24 10.3	128 54.9	10 4.3	43 18.5	12 5.2	0 0.0	6 2.6	10 4.3	0 0.0
	50歳代	245 100.0	34 13.9	120 49.0	25 10.2	41 16.7	16 6.5	0 0.0	4 1.6	5 2.0	0 0.0
	60歳代	342 100.0	50 14.6	59 17.3	80 23.4	57 16.7	50 14.6	0 0.0	42 12.3	4 1.2	0 0.0
	70歳以上	470 100.0	59 12.6	16 3.4	109 23.2	21 4.5	61 13.0	0 0.0	187 39.8	12 2.6	5 1.1
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	18 8.7	69 33.2	24 11.5	29 13.9	24 11.5	4 1.9	34 16.3	5 2.4	1 0.5
	西淡地区	324 100.0	51 15.7	76 23.5	43 13.3	41 12.7	30 9.3	9 2.8	63 19.4	6 1.9	5 1.5
	三原地区	514 100.0	55 10.7	165 32.1	92 17.9	72 14.0	42 8.2	8 1.6	65 12.6	15 2.9	0 0.0
	南淡地区	496 100.0	60 12.1	140 28.2	72 14.5	60 12.1	60 12.1	10 2.0	84 16.9	10 2.0	0 0.0

問6 居住の状況

(SA)

【全体】

- 「市外で居住したことがある。(出身は南あわじ市内であり、市外での居住経験がある)」33.2%が最も多く、次いで「生まれてからずっと市内の同じ場所に住んでいる。」22.7%、「他の市町村より転入してきた。(出身は南あわじ市以外)」22.2%となっています。

【性別】

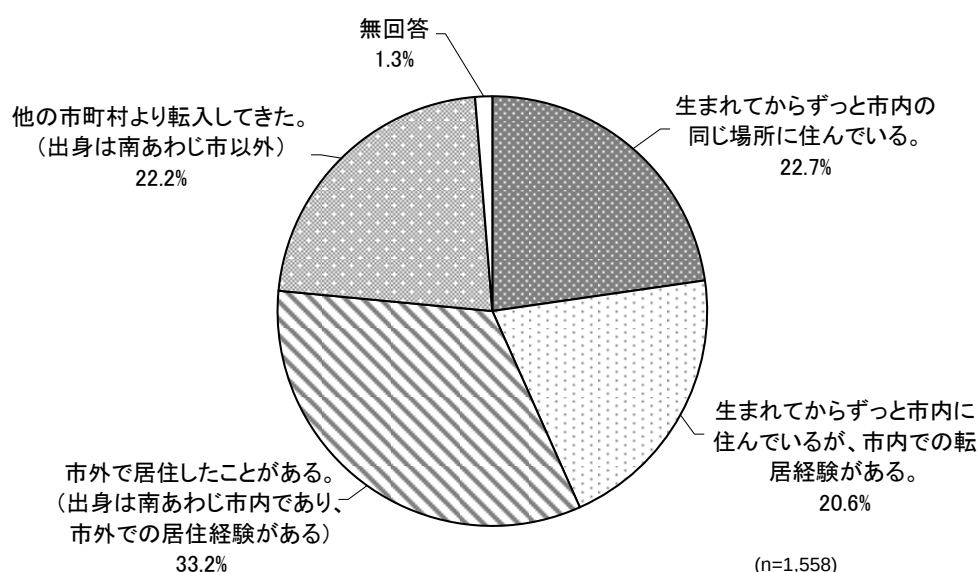
- “男性”では“女性”に比べて、「生まれてからずっと市内の同じ場所に住んでいる。」(31.6%)が15.3ポイント高くなっています。
- “女性”では“男性”に比べて、「生まれてからずっと市内に住んでいるが、市内での転居経験がある。」(25.8%)、「他の市町村より転入してきた。(出身は南あわじ市以外)」(27.1%)が10ポイント以上高くなっており、結婚等のライフイベントを背景に、女性の方が転居経験が多いことが伺えます。

【年齢】

- 10歳・20歳代～60歳代では「市外で居住したことがある。(出身は南あわじ市内であり、市外での居住経験がある)」、「70歳以上」では「生まれてからずっと市内の同じ場所に住んでいる。」が最も多くなっています。
- “30歳代”では「市外で居住したことがある。(出身は南あわじ市内であり、市外での居住経験がある)」(46.7%)が全体と比べて13.5ポイント高くなっており、Uターンで戻ってきた人の割合が多いことが伺えます。

【居住地区別】

- “緑地区”では「他の市町村より転入してきた。(出身は南あわじ市以外)」、「西淡地区」「三原地区」「南淡地区」では「市外で居住したことがある。(出身は南あわじ市内であり、市外での居住経験がある)」が最も多くなっています。
- “緑地区”では、「他の市町村より転入してきた。(出身は南あわじ市以外)」(35.6%)が全体と比べて13.4ポイント高くなっており、転入者の割合が多いことがわかります。



上段:人 下段:%		合計	問 6 居住の状況				
			生まれてからずっと市内の同じ場所に住んでいる。	生まれてからずっと市内に住んでいるが、市内での転居経験がある。	市外で居住したことがある。（出身は南あわじ市内であり、市外での居住経験がある）	他の市町村より転入してきた。（出身は南あわじ市以外）	無回答
全 体		1,558 100.0	354 22.7	321 20.6	517 33.2	346 22.2	20 1.3
性 別	男性	645 100.0	204 31.6	90 14.0	248 38.4	101 15.7	2 0.3
	女性	886 100.0	144 16.3	229 25.8	266 30.0	240 27.1	7 0.8
	1, 2 に当てはまらない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	31 30.7	13 12.9	34 33.7	23 22.8	0 0.0
	30歳代	152 100.0	21 13.8	19 12.5	71 46.7	41 27.0	0 0.0
	40歳代	233 100.0	33 14.2	48 20.6	93 39.9	59 25.3	0 0.0
	50歳代	245 100.0	50 20.4	57 23.3	79 32.2	58 23.7	1 0.4
	60歳代	342 100.0	80 23.4	76 22.2	111 32.5	74 21.6	1 0.3
	70歳以上	470 100.0	137 29.1	107 22.8	128 27.2	91 19.4	7 1.5
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	40 19.2	34 16.3	59 28.4	74 35.6	1 0.5
	西淡地区	324 100.0	83 25.6	75 23.1	92 28.4	72 22.2	2 0.6
	三原地区	514 100.0	118 23.0	103 20.0	182 35.4	108 21.0	3 0.6
	南淡地区	496 100.0	112 22.6	108 21.8	184 37.1	90 18.1	2 0.4

・南あわじ市の暮らしや今後の居住意向について

問7 南あわじ市の住みよさ

(SA)

【全体】

○「どちらかといえば住みよい」52.1%が最も多く、次いで「住みよい」34.1%、「どちらかといえば住みにくい」10.1%となっています。

○「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい』は86.2%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』は12.6%となっています。

【年齢別】

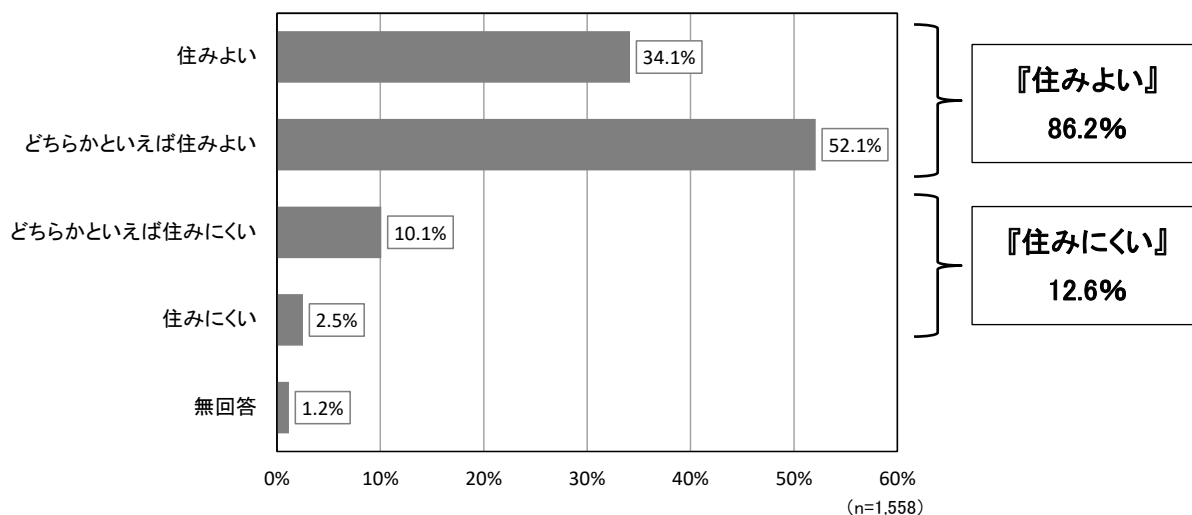
○『住みよい』については、“30歳代”が93.4%と高い一方、“50歳代”が82.9%と低くなっています。

○上記に伴い、『住みにくい』については、“30歳代”が6.5%と低い一方、“50歳代”が16.8%と多くなっています。

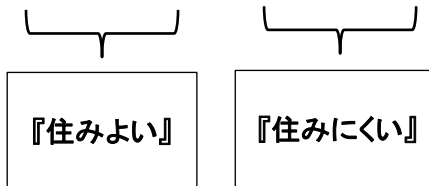
【居住地区別】

○『住みよい』については、“三原地区”が91.4%と高い一方、“南淡地区”が84.1%、“西淡地区”が84.9%と若干低くなっています。

○上記に伴い、『住みにくい』については、“南淡地区”が15.5%、“西淡地区”が14.2%が多くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問7 南あわじ市の住みよさ				
			住みよい	どちらか といえ ば住み よい	どちらか といえ ば住み にくい	住みにく い	無回答
全 体		1,558 100.0	532 34.1	812 52.1	157 10.1	39 2.5	18 1.2
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	28 27.7	61 60.4	8 7.9	3 3.0	1 1.0
	30歳代	152 100.0	61 40.1	81 53.3	6 3.9	4 2.6	0 0.0
	40歳代	233 100.0	84 36.1	116 49.8	25 10.7	7 3.0	1 0.4
	50歳代	245 100.0	58 23.7	145 59.2	33 13.5	8 3.3	1 0.4
	60歳代	342 100.0	114 33.3	180 52.6	36 10.5	10 2.9	2 0.6
	70歳以上	470 100.0	185 39.4	229 48.7	47 10.0	7 1.5	2 0.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	78 37.5	102 49.0	24 11.5	3 1.4	1 0.5
	西淡地区	324 100.0	84 25.9	191 59.0	40 12.3	6 1.9	3 0.9
	三原地区	514 100.0	196 38.1	274 53.3	31 6.0	13 2.5	0 0.0
	南淡地区	496 100.0	172 34.7	245 49.4	60 12.1	17 3.4	2 0.4



問 8 南あわじ市の居留意向

(SA)

【全体】

○「できれば、これからもずっと南あわじ市に住み続けたい」74.5%が最も多く、次いで「どちらともいえない」15.7%、「できれば南あわじ市以外に転居したい」6.0%となっています。

【年齢別】

○「できれば、これからもずっと南あわじ市に住み続けたい」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

○“10歳・20歳代”では、「できれば、これからもずっと南あわじ市に住み続けたい」が全体に比べて低く、「できれば南あわじ市以外に転居したい」が他の年代に比べて高くなっていることから、若い年代の居留意向が低いことが伺えます。

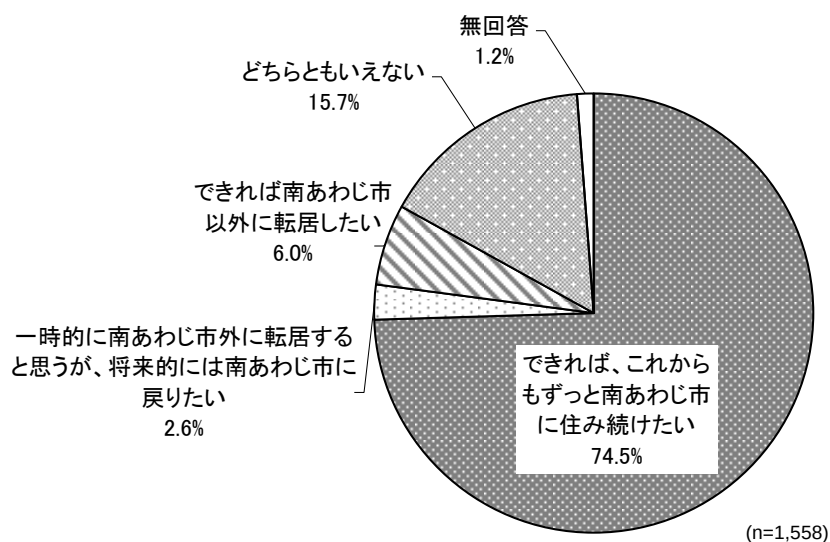
【居住地区別】

○すべての居住地区で「できれば、これからもずっと南あわじ市に住み続けたい」が、最も多くなっています。

【住みよさ別】

○『住みよい』では「できれば、これからもずっと南あわじ市に住み続けたい」、「どちらかといえば住みにくい」では「どちらともいえない」、「住みにくい」では「できれば南あわじ市以外に転居したい」が最も多くなっています。

○『住みよい』と感じている人の居留意向は高く、『住みにくい』と感じている人の居留意向は低いことがわかります。



		合計	問 8 南あわじ市の居住意向				
			できれば、これからもずっと南あわじ市に住み続けたい	一時的に南あわじ市外に転居すると思うが、将来的には南あわじ市に戻りたい	できれば南あわじ市以外に転居したい	どちらともいえない	無回答
全 体		1,558 100.0	1,161 74.5	40 2.6	93 6.0	245 15.7	19 1.2
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	41 40.6	19 18.8	19 18.8	21 20.8	1 1.0
	30歳代	152 100.0	102 67.1	6 3.9	15 9.9	28 18.4	1 0.7
	40歳代	233 100.0	155 66.5	9 3.9	15 6.4	54 23.2	0 0.0
	50歳代	245 100.0	173 70.6	1 0.4	19 7.8	51 20.8	1 0.4
	60歳代	342 100.0	276 80.7	4 1.2	15 4.4	45 13.2	2 0.6
	70歳以上	470 100.0	411 87.4	1 0.2	10 2.1	45 9.6	3 0.6
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	148 71.2	7 3.4	16 7.7	36 17.3	1 0.5
	西淡地区	324 100.0	250 77.2	3 0.9	15 4.6	55 17.0	1 0.3
	三原地区	514 100.0	407 79.2	9 1.8	33 6.4	63 12.3	2 0.4
	南淡地区	496 100.0	354 71.4	21 4.2	29 5.8	88 17.7	4 0.8
住 み よ さ	住みよい	532 100.0	492 92.5	14 2.6	3 0.6	21 3.9	2 0.4
	どちらかとい えば住みよい	812 100.0	609 75.0	19 2.3	35 4.3	146 18.0	3 0.4
	どちらかとい えば住みにく	157 100.0	50 31.8	6 3.8	34 21.7	65 41.4	2 1.3
	住みにくい	39 100.0	6 15.4	1 2.6	21 53.8	10 25.6	1 2.6

問 8－（１）住み続けたいと思う主な理由

（MA/〇は３つまで）

※問 8 で「１．」を選択された方のみ

【全体】

○「むかしからずっと住んでいるから」51.9%が最も多く、次いで「家族と一緒に住みたいから」41.7%、「安心して生活することができるから」25.0%となっています。

【性別】

○“女性”では“男性”に比べて、「買い物や通勤に便利だから」（18.0%）が 9.1 ポイント高くなっています。

【年齢別】

○“30 歳代”以外は「むかしからずっと住んでいるから」、「30 歳代」では「家族と一緒に住みたいから」が最も多くなっています。

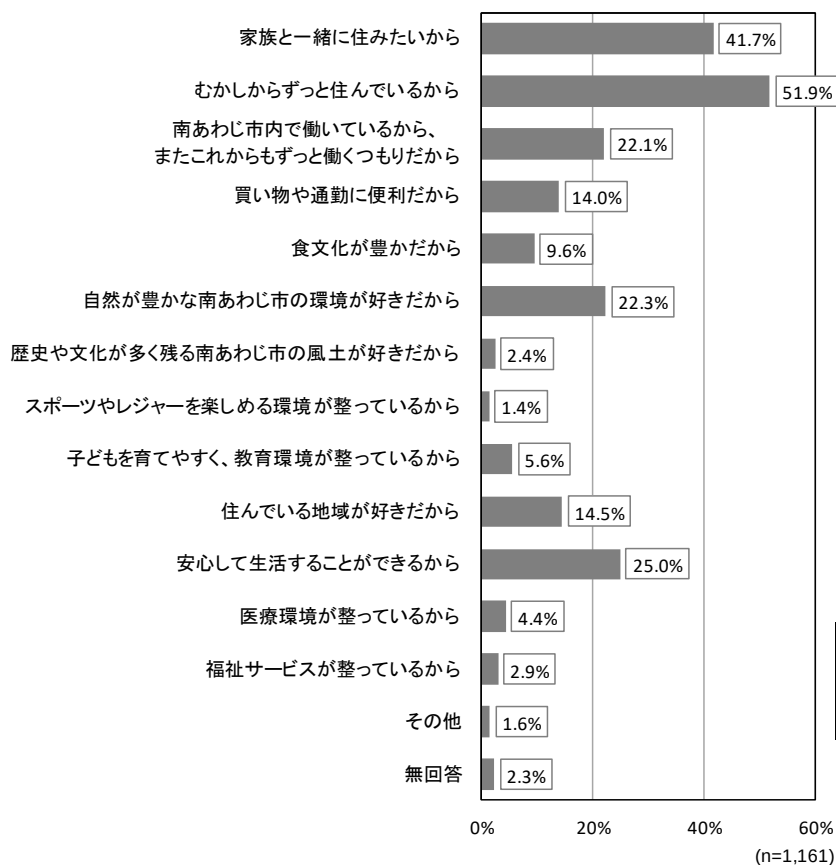
○“30 歳代”では「子どもを育てやすく、教育環境が整っているから」（20.6%）が、全体と比べて 15.0 ポイント高くなっています。

○“10 歳・20 歳代”では「住んでいる地域が好きだから」（26.8%）が、全体と比べて 12.3 ポイント高くなっており、郷土愛が育まれていることが伺えます。

○30 歳代～50 歳代では、「南あわじ市内で働いているから、またこれからもずっと働くつもりだから」が全他と比べて 10 ポイント以上高くなっており、生産年齢人口の定住促進には、働く場の創出が重要となることがわかります。

【居住地区別】

○“緑地区”では「住んでいる地域が好きだから」（22.3%）が、全体と比べて 7.8 ポイント高くなっています。



問8(1) 具体的理由(例)	回答数(件)
家・土地があるから	6
自身の都合のため	2

上段:人 下段:%		合計	問8-(1) 住み続けたいと思う主な理由							
			家族と一緒に住みたいから	むかしからずっと住んでいるから	南あわじ市内で働いているから、またこれからもずっと働きつづけるから	買い物や通勤に便利だから	食文化が豊かなから	自然が豊かな南あわじ市の環境が好きだから	歴史や文化が多く残る南あわじ市の風土が好きだから	スポーツやレジャーを楽しめる環境が整っているから
全 体		1,161 100.0	484 41.7	602 51.9	257 22.1	162 14.0	111 9.6	259 22.3	28 2.4	16 1.4
性 別	男性	503 100.0	202 40.2	285 56.7	130 25.8	45 8.9	40 8.0	104 20.7	15 3.0	10 2.0
	女性	645 100.0	280 43.4	312 48.4	127 19.7	116 18.0	69 10.7	151 23.4	12 1.9	6 0.9
	1, 2に当てはまらない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	41 100.0	14 34.1	18 43.9	12 29.3	4 9.8	3 7.3	8 19.5	0 0.0	3 7.3
	30歳代	102 100.0	51 50.0	39 38.2	40 39.2	17 16.7	8 7.8	15 14.7	1 1.0	1 1.0
	40歳代	155 100.0	69 44.5	78 50.3	55 35.5	25 16.1	17 11.0	35 22.6	3 1.9	2 1.3
	50歳代	173 100.0	66 38.2	95 54.9	61 35.3	23 13.3	12 6.9	34 19.7	0 0.0	2 1.2
	60歳代	276 100.0	121 43.8	151 54.7	56 20.3	33 12.0	22 8.0	65 23.6	8 2.9	2 0.7
	70歳以上	411 100.0	162 39.4	218 53.0	32 7.8	60 14.6	49 11.9	102 24.8	16 3.9	6 1.5
居 住 地 区	緑地区	148 100.0	60 40.5	64 43.2	24 16.2	25 16.9	5 3.4	31 20.9	5 3.4	2 1.4
	西淡地区	250 100.0	109 43.6	130 52.0	61 24.4	25 10.0	23 9.2	65 26.0	4 1.6	6 2.4
	三原地区	407 100.0	171 42.0	200 49.1	90 22.1	76 18.7	38 9.3	84 20.6	11 2.7	6 1.5
	南淡地区	354 100.0	144 40.7	207 58.5	82 23.2	36 10.2	45 12.7	79 22.3	8 2.3	2 0.6

上段:人 下段:%		合計	問8-(1) 住み続けたいと思う主な理由						
			子どもを育てやすく、教育環境が整っているから	住んでいる地域が好きだから	安心して生活することができるから	医療環境が整っているから	福祉サービスが整っているから	具体的な理由	無回答
全 体		1,161 100.0	65 5.6	168 14.5	290 25.0	51 4.4	34 2.9	18 1.6	27 2.3
性 別	男性	503 100.0	13 2.6	94 18.7	113 22.5	24 4.8	11 2.2	11 2.2	10 2.0
	女性	645 100.0	50 7.8	73 11.3	173 26.8	25 3.9	22 3.4	7 1.1	16 2.5
	1, 2に当てはまらない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	41 100.0	6 14.6	11 26.8	10 24.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4
	30歳代	102 100.0	21 20.6	17 16.7	18 17.6	2 2.0	1 1.0	1 1.0	4 3.9
	40歳代	155 100.0	18 11.6	22 14.2	31 20.0	2 1.3	5 3.2	2 1.3	3 1.9
	50歳代	173 100.0	7 4.0	22 12.7	34 19.7	1 0.6	3 1.7	2 1.2	3 1.7
	60歳代	276 100.0	8 2.9	40 14.5	76 27.5	10 3.6	7 2.5	5 1.8	5 1.8
	70歳以上	411 100.0	4 1.0	56 13.6	121 29.4	36 8.8	18 4.4	8 1.9	11 2.7
居 住 地 区	緑地区	148 100.0	14 9.5	33 22.3	40 27.0	5 3.4	3 2.0	2 1.4	1 0.7
	西淡地区	250 100.0	7 2.8	29 11.6	53 21.2	4 1.6	11 4.4	4 1.6	8 3.2
	三原地区	407 100.0	24 5.9	53 13.0	115 28.3	31 7.6	10 2.5	6 1.5	12 2.9
	南淡地区	354 100.0	19 5.4	53 15.0	81 22.9	11 3.1	10 2.8	6 1.7	6 1.7

問 8－（２）住み続けたくないと思う主な理由（MA/○は３つまで）

※問 8 で「２．」または「３．」を選択された方のみ

【全体】

- 「買い物や通勤に不便だから」30.8%が最も多く、次いで「仕事の事情（転勤など）から」21.8%、「住んでいる地域に愛着がもてないから」21.1%となっています。

【性別】

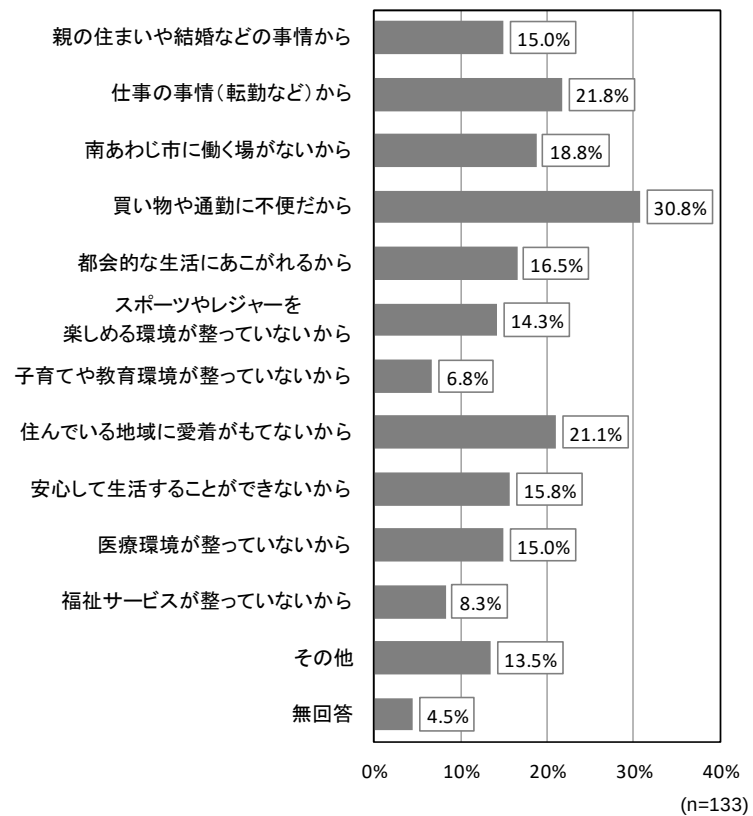
- “男性”では“女性”に比べて、「南あわじ市に働く場がないから」（25.5%）が10.9ポイント高くなっており、男性の定住促進には、働く場の確保が重要となることがわかります。
- “女性”では“男性”に比べて、「親の住まいや結婚などの事情から」（18.3%）が8.5ポイント高くなっており、女性は男性に比べ、結婚等のライフイベントに伴う転出が多いことが伺えます。

【年齢別】

- “10 歳・20 歳代”“40 歳代”では、「仕事の事情（転勤など）から」が最も多くなっています。
- “30 歳代”“50 歳代”“70 歳以上”で、「買い物や通勤に不便だから」が最も多く、“70 歳以上”では過半数となっています。
- “10 歳・20 歳代”“30 歳代”の若い年代では、「都会的な生活にあこがれるから」が他の世代に比べて高くなっています。
- 「住んでいる地域に愛着がもてないから」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、“60 歳代”では最も多くなっています。
- 「安心して生活することができないから」は年代が上がるにつれて高くなっており、“70 歳以上”では過半数となっています。
- “50 歳代”では「医療環境が整っていないから」が全体と比べて25.0ポイント高くなっており、これから高齢期を迎えるにあたって、医療環境に不安を感じていることが伺えます。

【地域別】

- “緑地区”では「安心して生活することができないから」、「西淡地区」“南淡地区”では「買い物や通勤に不便だから」、「三原地区」では「住んでいる地域に愛着がもてないから」が最も多くなっています。
- “三原地区”では「住んでいる地域に愛着がもてないから」が全体と比べて約 10 ポイント高くなっており、地域コミュニティの活性化等に向けた取り組みの推進が課題として考えられます。



問8(2) 具体的理由(例)	回答数(件)
通学の理由	3
災害が不安なため	3
交通アクセスが不便であるため	3
家族の都合	2
自身の都合	2

上段:人 下段:%		合計	問 8－(2) 住み続けたくないと思う主な理由						
			親の住まいや結婚などの事情から	仕事の事情（転勤など）から	南あわじ市に働く場がないから	買い物や通勤に不便だから	都会的な生活にあらがれるから	スポーツやレジャーを楽しめる環境が整っていないから	子育てや教育環境が整っていないから
全 体		133 100.0	20 15.0	29 21.8	25 18.8	41 30.8	22 16.5	19 14.3	9 6.8
性 別	男性	51 100.0	5 9.8	10 19.6	13 25.5	14 27.5	7 13.7	8 15.7	3 5.9
	女性	82 100.0	15 18.3	19 23.2	12 14.6	27 32.9	15 18.3	11 13.4	6 7.3
	1， 2 に当てはまらない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	38 100.0	6 15.8	14 36.8	10 26.3	10 26.3	12 31.6	5 13.2	1 2.6
	30歳代	21 100.0	4 19.0	5 23.8	3 14.3	6 28.6	5 23.8	4 19.0	5 23.8
	40歳代	24 100.0	6 25.0	9 37.5	4 16.7	5 20.8	2 8.3	3 12.5	1 4.2
	50歳代	20 100.0	3 15.0	1 5.0	5 25.0	9 45.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0
	60歳代	19 100.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	5 26.3	1 5.3	5 26.3	0 0.0
	70歳以上	11 100.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	6 54.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0
居 住 地 区	緑地区	23 100.0	4 17.4	5 21.7	5 21.7	5 21.7	4 17.4	2 8.7	3 13.0
	西淡地区	18 100.0	3 16.7	2 11.1	4 22.2	7 38.9	1 5.6	5 27.8	0 0.0
	三原地区	42 100.0	8 19.0	10 23.8	7 16.7	11 26.2	9 21.4	6 14.3	3 7.1
	南淡地区	50 100.0	5 10.0	12 24.0	9 18.0	18 36.0	8 16.0	6 12.0	3 6.0

上段:人 下段:%		合計	問 8－(2) 住み続けたくないと思う主な理由					
			住んでいる地域に愛着がもてないから	安心して生活することができないから	医療環境が整っていないから	福祉サービスが整っていないから	具体的な理由	無回答
全 体		133 100.0	28 21.1	21 15.8	20 15.0	11 8.3	18 13.5	6 4.5
性 別	男性	51 100.0	11 21.6	10 19.6	6 11.8	5 9.8	11 21.6	2 3.9
	女性	82 100.0	17 20.7	11 13.4	14 17.1	6 7.3	7 8.5	4 4.9
	1， 2 に当てはまらない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	38 100.0	2 5.3	1 2.6	2 5.3	0 0.0	2 5.3	4 10.5
	30歳代	21 100.0	4 19.0	1 4.8	1 4.8	1 4.8	3 14.3	0 0.0
	40歳代	24 100.0	4 16.7	4 16.7	3 12.5	0 0.0	4 16.7	2 8.3
	50歳代	20 100.0	7 35.0	4 20.0	8 40.0	5 25.0	3 15.0	0 0.0
	60歳代	19 100.0	7 36.8	5 26.3	4 21.1	3 15.8	5 26.3	0 0.0
	70歳以上	11 100.0	4 36.4	6 54.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	0 0.0
居 住 地 区	緑地区	23 100.0	4 17.4	6 26.1	3 13.0	2 8.7	1 4.3	1 4.3
	西淡地区	18 100.0	3 16.7	2 11.1	3 16.7	1 5.6	4 22.2	1 5.6
	三原地区	42 100.0	13 31.0	6 14.3	7 16.7	5 11.9	5 11.9	0 0.0
	南淡地区	50 100.0	8 16.0	7 14.0	7 14.0	3 6.0	8 16.0	4 8.0

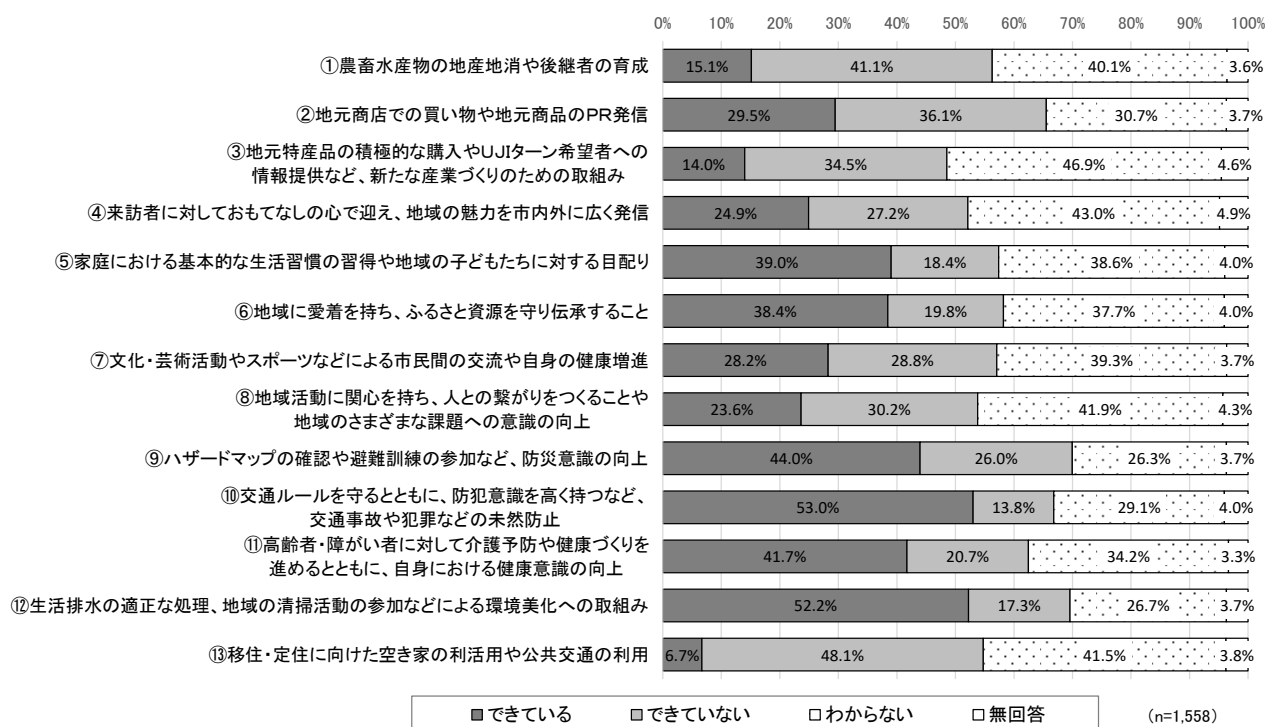
問 9 総合計画に掲げる市民の役割の実践度

(SA)

【全体】

○「できている」と回答した人の割合は、「⑩交通ルールを守るとともに、防犯意識を高く持つなど、交通事故や犯罪などの未然防止」53.0%が最も多く、次いで「⑫生活排水の適正な処理、地域の清掃活動の参加などによる環境美化への取組み」52.2%、「⑨ハザードマップの確認や避難訓練の参加など、防災意識の向上」44.0%となっています。

○「できていない」と回答した人の割合は、「⑬移住・定住に向けた空き家の利活用や公共交通の利用」48.1%が最も多く、次いで「①農畜水産物の地産地消や後継者の育成」41.1%、「②地元商店での買い物や地元商品のPR発信」36.1%となっています。



【年齢別】

- “10歳・20歳代”では、13項目中10項目で「わからない」が最も多くなっており、総合計画の内容の周知が課題として考えられます。
- “30歳代”では、「①農畜水産物の地産地消や後継者の育成」については「わからない」、「②地元商店での買い物や地元商品のPR発信」については「できている」が最も多くなっています。
- “40歳代”では、「②地元商店での買い物や地元商品のPR発信」については「できている」、「⑪高齢者・障がい者に対して介護予防や健康づくりを進めるとともに、自身における健康意識の向上」については「わからない」が最も多く、全体と比べて高くなっています。
- “50歳代”では、「⑤家庭における基本的な生活習慣の習得や地域の子どもたちに対する目配り」「⑥地域に愛着を持ち、ふるさと資源を守り伝承すること」「⑪高齢者・障がい者に対して介護予防や健康づくりを進めるとともに、自身における健康意識の向上」については「わからない」が最も多く、全体と比べて高くなっています。
- “60歳代”では「③地元特産品の積極的な購入やUJIターン希望者への情報提供など、新たな産業づくりのための取組み」については「できていない」、「⑤家庭における基本的な生活習慣の習得や地域の子どもたちに対する目配り」「⑥地域に愛着を持ち、ふるさと資源を守り伝承すること」については「わからない」が最も多く、全体と比べて高くなっています。
- “70歳以上”では「①農畜水産物の地産地消や後継者の育成」について「わからない」が最も多くなっています。

【居住地区別】

- “緑地区”では「⑤家庭における基本的な生活習慣の習得や地域の子どもたちに対する目配り」については「わからない」が最も多く、全体と比べて高くなっています。
- “西淡地区”では「①農畜水産物の地産地消や後継者の育成」「⑤家庭における基本的な生活習慣の習得や地域の子どもたちに対する目配り」「⑥地域に愛着を持ち、ふるさと資源を守り伝承すること」「⑪高齢者・障がい者に対して介護予防や健康づくりを進めるとともに、自身における健康意識の向上」については「わからない」が最も多くなっています。

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問9①農畜水産物の地産地消や後継者の育成			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	236 15.1	641 41.1	625 40.1	56 3.6
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	18 17.8	21 20.8	62 61.4	0 0.0
	30歳代	152 100.0	27 17.8	61 40.1	64 42.1	0 0.0
	40歳代	233 100.0	43 18.5	94 40.3	93 39.9	3 1.3
	50歳代	245 100.0	40 16.3	112 45.7	93 38.0	0 0.0
	60歳代	342 100.0	39 11.4	168 49.1	120 35.1	15 4.4
	70歳以上	470 100.0	67 14.3	178 37.9	190 40.4	35 7.4
	70歳以上	470 100.0	67 14.3	178 37.9	190 40.4	35 7.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	29 13.9	91 43.8	81 38.9	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	47 14.5	130 40.1	136 42.0	11 3.4
	三原地区	514 100.0	74 14.4	220 42.8	203 39.5	17 3.3
	南淡地区	496 100.0	84 16.9	193 38.9	200 40.3	19 3.8

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問9②地元商店での買い物や地元商品のPR発信			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	459 29.5	562 36.1	479 30.7	58 3.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	37 36.6	20 19.8	44 43.6	0 0.0
	30歳代	152 100.0	67 44.1	41 27.0	44 28.9	0 0.0
	40歳代	233 100.0	81 34.8	79 33.9	69 29.6	4 1.7
	50歳代	245 100.0	63 25.7	106 43.3	76 31.0	0 0.0
	60歳代	342 100.0	87 25.4	146 42.7	95 27.8	14 4.1
	70歳以上	470 100.0	121 25.7	164 34.9	148 31.5	37 7.9
	70歳以上	470 100.0	121 25.7	164 34.9	148 31.5	37 7.9
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	43 20.7	97 46.6	61 29.3	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	103 31.8	106 32.7	99 30.6	16 4.9
	三原地区	514 100.0	154 30.0	181 35.2	162 31.5	17 3.3
	南淡地区	496 100.0	154 31.0	171 34.5	155 31.3	16 3.2

上段:人 下段:%		合計	問 9 ③地元特産品の積極的な購入やU J I ターン希望者への情報提供など、 新たな産業づくりのための取組み			
			できてい る	できてい ない	わからな い	無回答
全 体		1,558 100.0	218 14.0	538 34.5	731 46.9	71 4.6
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	17 16.8	22 21.8	62 61.4	0 0.0
	30歳代	152 100.0	33 21.7	46 30.3	73 48.0	0 0.0
	40歳代	233 100.0	34 14.6	76 32.6	118 50.6	5 2.1
	50歳代	245 100.0	37 15.1	94 38.4	113 46.1	1 0.4
	60歳代	342 100.0	46 13.5	144 42.1	140 40.9	12 3.5
	70歳以上	470 100.0	48 10.2	154 32.8	218 46.4	50 10.6
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	21 10.1	87 41.8	88 42.3	12 5.8
	西淡地区	324 100.0	45 13.9	92 28.4	167 51.5	20 6.2
	三原地区	514 100.0	84 16.3	173 33.7	240 46.7	17 3.3
	南淡地区	496 100.0	65 13.1	183 36.9	228 46.0	20 4.0

上段:人 下段:%		合計	問 9 ④来訪者に対しておもてなしの心 で迎え、地域の魅力を市内外に広く発信			
			できてい る	できてい ない	わからな い	無回答
全 体		1,558 100.0	388 24.9	424 27.2	670 43.0	76 4.9
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	34 33.7	21 20.8	45 44.6	1 1.0
	30歳代	152 100.0	52 34.2	39 25.7	60 39.5	1 0.7
	40歳代	233 100.0	70 30.0	61 26.2	99 42.5	3 1.3
	50歳代	245 100.0	62 25.3	75 30.6	106 43.3	2 0.8
	60歳代	342 100.0	71 20.8	108 31.6	149 43.6	14 4.1
	70歳以上	470 100.0	95 20.2	116 24.7	208 44.3	51 10.9
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	53 25.5	56 26.9	92 44.2	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	70 21.6	77 23.8	157 48.5	20 6.2
	三原地区	514 100.0	117 22.8	151 29.4	223 43.4	23 4.5
	南淡地区	496 100.0	144 29.0	135 27.2	194 39.1	23 4.6

上段:人 下段:%		合計	問 9 ⑤家庭における基本的な生活習慣 の習得や地域の子どもたちに対する目 配り			
			できてい る	できてい ない	わからな い	無回答
全 体		1,558 100.0	608 39.0	286 18.4	602 38.6	62 4.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	50 49.5	16 15.8	35 34.7	0 0.0
	30歳代	152 100.0	72 47.4	25 16.4	55 36.2	0 0.0
	40歳代	233 100.0	102 43.8	41 17.6	86 36.9	4 1.7
	50歳代	245 100.0	85 34.7	42 17.1	117 47.8	1 0.4
	60歳代	342 100.0	107 31.3	80 23.4	141 41.2	14 4.1
	70歳以上	470 100.0	185 39.4	79 16.8	166 35.3	40 8.5
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	72 34.6	37 17.8	91 43.8	8 3.8
	西淡地区	324 100.0	118 36.4	63 19.4	125 38.6	18 5.6
	三原地区	514 100.0	217 42.2	86 16.7	195 37.9	16 3.1
	南淡地区	496 100.0	194 39.1	95 19.2	189 38.1	18 3.6

上段:人 下段:%		合計	問 9 ⑥地域に愛着を持ち、ふるさと資源 を守り伝承すること			
			できてい る	できてい ない	わからな い	無回答
全 体		1,558 100.0	599 38.4	308 19.8	588 37.7	63 4.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	51 50.5	10 9.9	40 39.6	0 0.0
	30歳代	152 100.0	64 42.1	37 24.3	50 32.9	1 0.7
	40歳代	233 100.0	98 42.1	48 20.6	84 36.1	3 1.3
	50歳代	245 100.0	85 34.7	51 20.8	109 44.5	0 0.0
	60歳代	342 100.0	118 34.5	75 21.9	137 40.1	12 3.5
	70歳以上	470 100.0	179 38.1	84 17.9	163 34.7	44 9.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	80 38.5	42 20.2	79 38.0	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	115 35.5	65 20.1	126 38.9	18 5.6
	三原地区	514 100.0	204 39.7	95 18.5	199 38.7	16 3.1
	南淡地区	496 100.0	197 39.7	102 20.6	177 35.7	20 4.0

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問 9 ⑦文化・芸術活動やスポーツなど による市民間の交流や自身の健康増進			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	440 28.2	449 28.8	612 39.3	57 3.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	27 26.7	25 24.8	49 48.5	0 0.0
	30歳代	152 100.0	52 34.2	41 27.0	59 38.8	0 0.0
	40歳代	233 100.0	70 30.0	65 27.9	95 40.8	3 1.3
	50歳代	245 100.0	58 23.7	84 34.3	101 41.2	2 0.8
	60歳代	342 100.0	75 21.9	121 35.4	134 39.2	12 3.5
	70歳以上	470 100.0	156 33.2	108 23.0	169 36.0	37 7.9
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	63 30.3	56 26.9	83 39.9	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	77 23.8	92 28.4	139 42.9	16 4.9
	三原地区	514 100.0	156 30.4	145 28.2	197 38.3	16 3.1
	南淡地区	496 100.0	142 28.6	150 30.2	187 37.7	17 3.4

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問9⑧地域活動に関心を持ち、人との 繋がりをつくることや地域のさまざまな 課題への意識の向上			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	368 23.6	470 30.2	653 41.9	67 4.3
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	18 17.8	30 29.7	52 51.5	1 1.0
	30歳代	152 100.0	46 30.3	45 29.6	61 40.1	0 0.0
	40歳代	233 100.0	66 28.3	67 28.8	96 41.2	4 1.7
	50歳代	245 100.0	48 19.6	79 32.2	116 47.3	2 0.8
	60歳代	342 100.0	68 19.9	127 37.1	136 39.8	11 3.2
	70歳以上	470 100.0	120 25.5	118 25.1	186 39.6	46 9.8
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	50 24.0	57 27.4	93 44.7	8 3.8
	西淡地区	324 100.0	60 18.5	104 32.1	139 42.9	21 6.5
	三原地区	514 100.0	128 24.9	156 30.4	213 41.4	17 3.3
	南淡地区	496 100.0	128 25.8	147 29.6	202 40.7	19 3.8

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問9⑨ハザードマップの確認や避難訓練の参加など、防災意識の向上			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	685 44.0	405 26.0	410 26.3	58 3.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	35 34.7	24 23.8	42 41.6	0 0.0
	30歳代	152 100.0	65 42.8	44 28.9	43 28.3	0 0.0
	40歳代	233 100.0	112 48.1	55 23.6	62 26.6	4 1.7
	50歳代	245 100.0	106 43.3	67 27.3	71 29.0	1 0.4
	60歳代	342 100.0	164 48.0	89 26.0	77 22.5	12 3.5
	70歳以上	470 100.0	199 42.3	123 26.2	110 23.4	38 8.1
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	94 45.2	57 27.4	52 25.0	5 2.4
	西淡地区	324 100.0	136 42.0	80 24.7	87 26.9	21 6.5
	三原地区	514 100.0	205 39.9	144 28.0	151 29.4	14 2.7
	南淡地区	496 100.0	245 49.4	120 24.2	115 23.2	16 3.2

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問 9 ⑩交通ルールを守るとともに、防 犯意識を高く持つなど、交通事故や犯 罪などの未然防止			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	826 53.0	215 13.8	454 29.1	63 4.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	48 47.5	14 13.9	38 37.6	1 1.0
	30歳代	152 100.0	86 56.6	21 13.8	45 29.6	0 0.0
	40歳代	233 100.0	134 57.5	35 15.0	62 26.6	2 0.9
	50歳代	245 100.0	120 49.0	38 15.5	83 33.9	4 1.6
	60歳代	342 100.0	173 50.6	56 16.4	103 30.1	10 2.9
	70歳以上	470 100.0	257 54.7	49 10.4	121 25.7	43 9.1
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	111 53.4	35 16.8	56 26.9	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	166 51.2	43 13.3	96 29.6	19 5.9
	三原地区	514 100.0	281 54.7	71 13.8	144 28.0	18 3.5
	南淡地区	496 100.0	260 52.4	64 12.9	154 31.0	18 3.6

上段:人 下段:%		合計	問9⑪高齢者・障がい者に対して介護 予防や健康づくりを進めるとともに、 自身における健康意識の向上			
			できてい る	できてい ない	わからな い	無回答
全 体		1,558 100.0	650 41.7	323 20.7	533 34.2	52 3.3
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	31 30.7	21 20.8	48 47.5	1 1.0
	30歳代	152 100.0	60 39.5	36 23.7	56 36.8	0 0.0
	40歳代	233 100.0	83 35.6	47 20.2	100 42.9	3 1.3
	50歳代	245 100.0	80 32.7	49 20.0	115 46.9	1 0.4
	60歳代	342 100.0	147 43.0	82 24.0	102 29.8	11 3.2
	70歳以上	470 100.0	244 51.9	84 17.9	109 23.2	33 7.0
	緑地区	208 100.0	84 40.4	43 20.7	75 36.1	6 2.9
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	117 36.1	68 21.0	121 37.3	18 5.6
	三原地区	514 100.0	223 43.4	103 20.0	174 33.9	14 2.7
	南淡地区	496 100.0	220 44.4	104 21.0	160 32.3	12 2.4

上段:人 下段:%		合計	問9 ⑫生活排水の適正な処理、地域の清掃活動の参加などによる環境美化への取組み			
			できている	できていない	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	814 52.2	270 17.3	416 26.7	58 3.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	37 36.6	16 15.8	46 45.5	2 2.0
	30歳代	152 100.0	68 44.7	32 21.1	52 34.2	0 0.0
	40歳代	233 100.0	116 49.8	41 17.6	72 30.9	4 1.7
	50歳代	245 100.0	120 49.0	46 18.8	77 31.4	2 0.8
	60歳代	342 100.0	194 56.7	61 17.8	75 21.9	12 3.5
	70歳以上	470 100.0	272 57.9	72 15.3	91 19.4	35 7.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	114 54.8	38 18.3	50 24.0	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	150 46.3	65 20.1	88 27.2	21 6.5
	三原地区	514 100.0	266 51.8	87 16.9	146 28.4	15 2.9
	南淡地区	496 100.0	276 55.6	77 15.5	129 26.0	14 2.8

上段:人 下段:%		合計	問9 ⑬移住・定住に向けた空き家の利 活用や公共交通の利用			
			できてい る	できてい ない	わからな い	無回答
全 体		1,558 100.0	104 6.7	749 48.1	646 41.5	59 3.8
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	4 4.0	42 41.6	54 53.5	1 1.0
	30歳代	152 100.0	20 13.2	74 48.7	58 38.2	0 0.0
	40歳代	233 100.0	23 9.9	116 49.8	91 39.1	3 1.3
	50歳代	245 100.0	11 4.5	124 50.6	109 44.5	1 0.4
	60歳代	342 100.0	22 6.4	180 52.6	129 37.7	11 3.2
	70歳以上	470 100.0	23 4.9	210 44.7	198 42.1	39 8.3
	緑地区	208 100.0	15 7.2	98 47.1	87 41.8	8 3.8
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	17 5.2	166 51.2	124 38.3	17 5.2
	三原地区	514 100.0	33 6.4	235 45.7	232 45.1	14 2.7
	南淡地区	496 100.0	38 7.7	246 49.6	195 39.3	17 3.4

問 10 まちづくりの参画に関する考え

(SA)

【全体】

○「まちづくりは市民自ら行うべきという意識を持っている」45.0%が最も多く、次いで「まちづくりを市民自ら行うべきという意識はあまりない」25.2%、「まちづくりは行政が行うべきだ」18.2%となっています。

【年齢別】

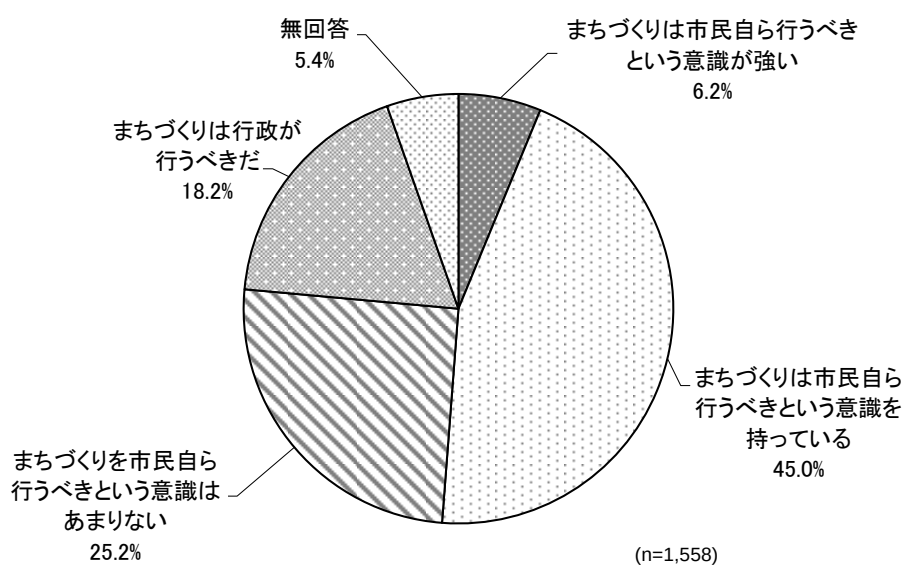
○すべての年代で「まちづくりは市民自ら行うべきという意識を持っている」が最も多くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「まちづくりは市民自ら行うべきという意識を持っている」が最も多くなっています。

【居住の状況別】

○「まちづくりは行政が行うべきだ」は“生まれてからずっと市内の同じ場所に住んでいる”(23.2%)が他の居住の状況に比べてやや高く、“市外で居住したことがある”と比べると8.3ポイント高くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問10 まちづくりの参画に関する考え				
			まちづくりは市民自ら行うべきという意識が強い	まちづくりは市民自ら行うべきという意識を持っている	まちづくりを市民自ら行うべきという意識はあまりない	まちづくりは行政が行うべきだ	無回答
全 体		1,558 100.0	97 6.2	701 45.0	393 25.2	283 18.2	84 5.4
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	9 8.9	49 48.5	30 29.7	12 11.9	1 1.0
	30歳代	152 100.0	10 6.6	77 50.7	41 27.0	21 13.8	3 2.0
	40歳代	233 100.0	16 6.9	105 45.1	72 30.9	38 16.3	2 0.9
	50歳代	245 100.0	12 4.9	112 45.7	63 25.7	47 19.2	11 4.5
	60歳代	342 100.0	24 7.0	137 40.1	91 26.6	76 22.2	14 4.1
	70歳以上	470 100.0	26 5.5	215 45.7	93 19.8	87 18.5	49 10.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	13 6.3	100 48.1	50 24.0	39 18.8	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	24 7.4	144 44.4	81 25.0	53 16.4	22 6.8
	三原地区	514 100.0	31 6.0	217 42.2	137 26.7	104 20.2	25 4.9
	南淡地区	496 100.0	28 5.6	233 47.0	121 24.4	85 17.1	29 5.8
居 住 の 状 況	生まれてからずっと市内の同じ場所に住んでいる	354 100.0	24 6.8	143 40.4	84 23.7	82 23.2	21 5.9
	生まれてからずっと市内に住んでいるが、市内での転居経験がある	321 100.0	17 5.3	137 42.7	84 26.2	64 19.9	19 5.9
	市外で居住したことがある	517 100.0	43 8.3	250 48.4	123 23.8	77 14.9	24 4.6
	他の市町村より転入してきた	346 100.0	13 3.8	161 46.5	98 28.3	58 16.8	16 4.6

・まちづくりへの評価について

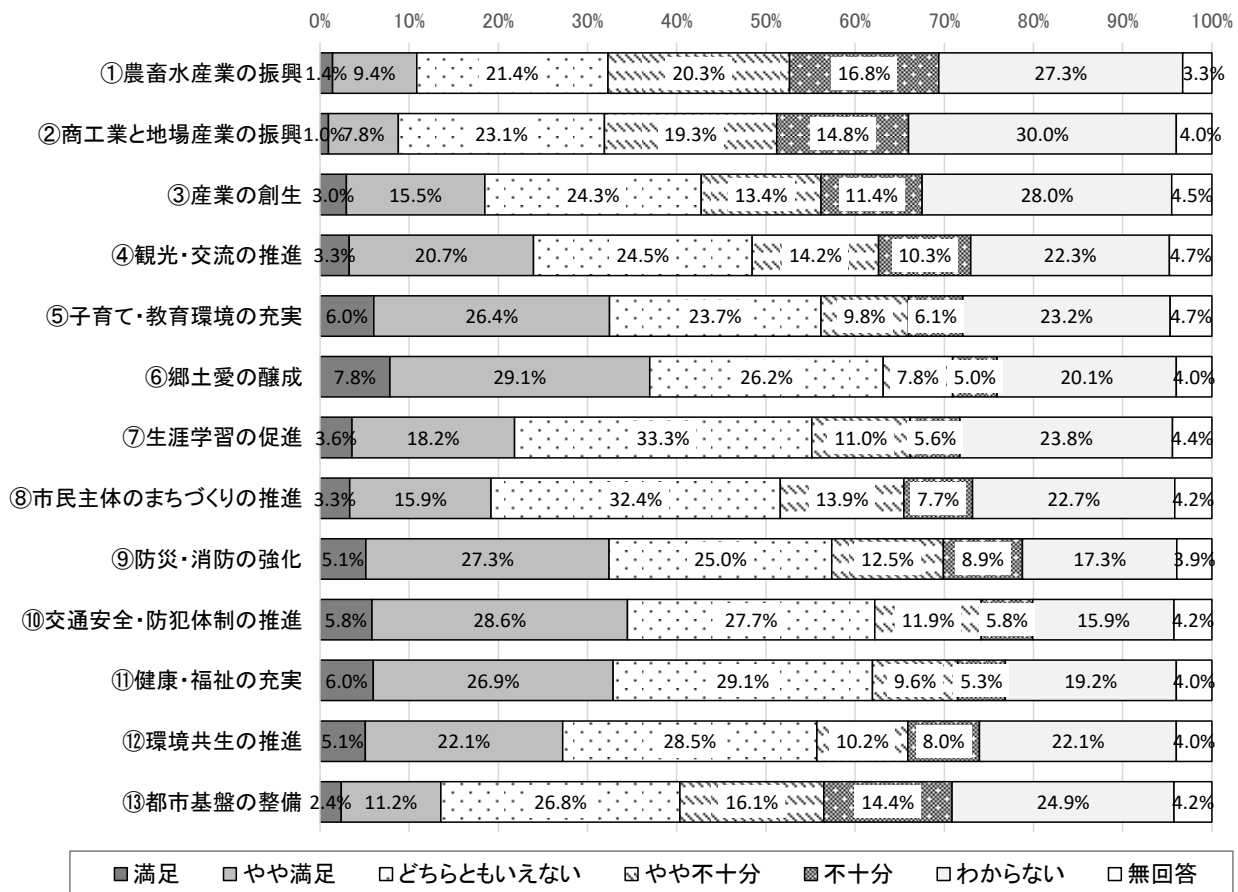
問 11 総合計画に掲げる取組内容に関する満足度

(SA)

【全体】

○「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「⑥郷土愛の醸成」36.9%が最も多く、次いで「⑩交通安全・防犯体制の推進」34.4%、「⑪健康・福祉の充実」32.9%となっています。

○「やや不十分」「不十分」を合わせた『不十分』は、「①農畜水産業の振興」37.1%が最も多く、次いで「②商工業と地場産業の振興」34.1%、「⑬都市基盤の整備」30.5%となっています。



n=1,558

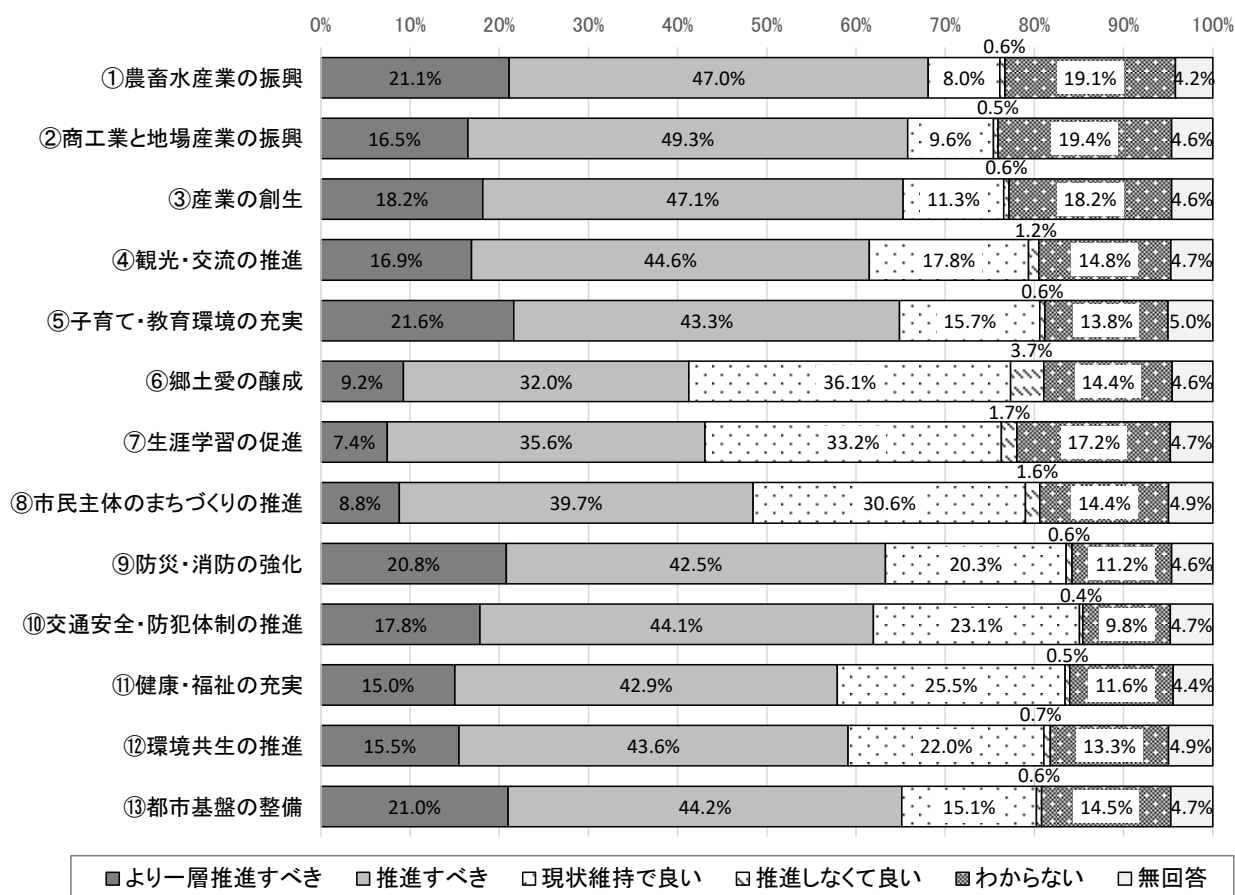
問 12 総合計画に掲げる取組内容で今後推進すべき事項 (SA)

【全体】

○「より一層推進すべき」と「推進すべき」を合わせた『推進すべき』は、「①農畜水産業の振興」68.1%が最も多く、次いで「②商工業と地場産業の振興」65.8%、「③産業の創生」65.3%となっています。

○「現状維持で良い」は、「⑥郷土愛の醸成」36.1%が最も多く、次いで「⑦生涯学習の促進」33.2%、「⑧市民主体のまちづくりの推進」30.6%となっています。

○「推進しなくて良い」はすべての取組内容で少ない割合となっており、最も多いのは「⑥郷土愛の醸成」3.7%となっています。



n=1,558

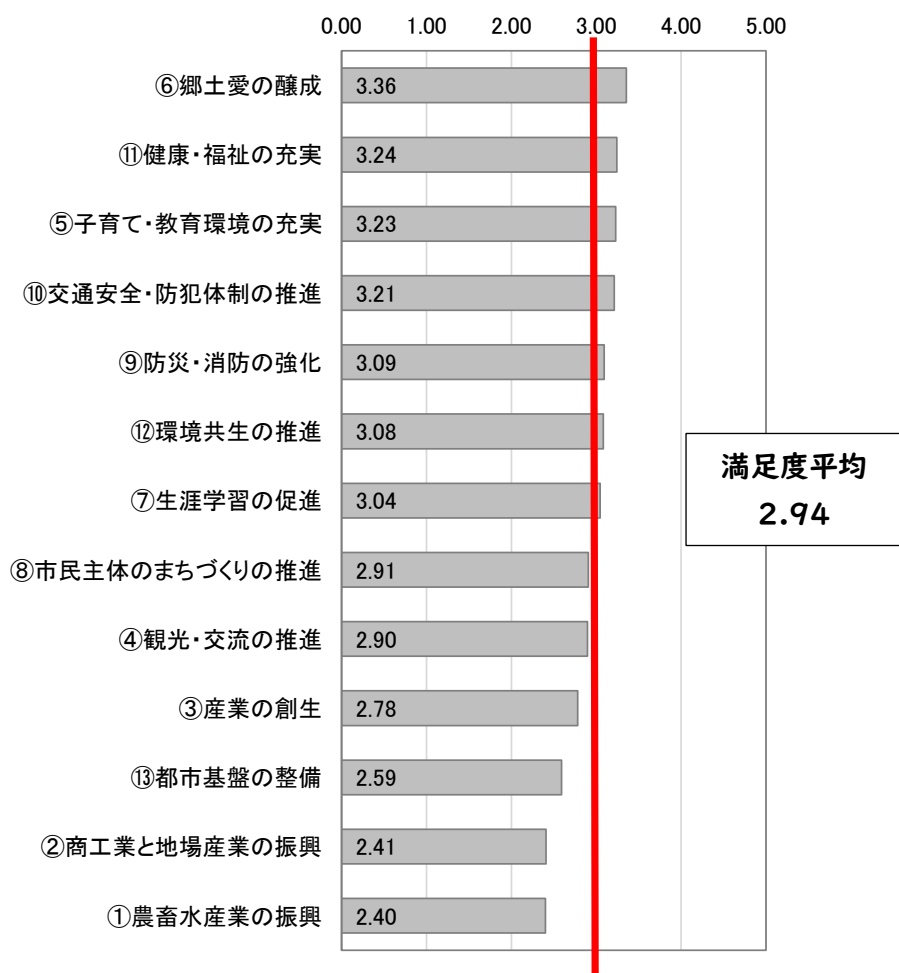
【満足度と推進度の相関関係】

①満足度の点数化

○満足度を次の通り得点化し、順位づけを行ったものが下記の表となります。

○全体の満足度の平均は「2.94」となっています。

『満足』×5+『やや満足』×4+『どちらともいえない』×3+
『やや不十分』×2+『不十分』×1（わからない、無回答は除く）

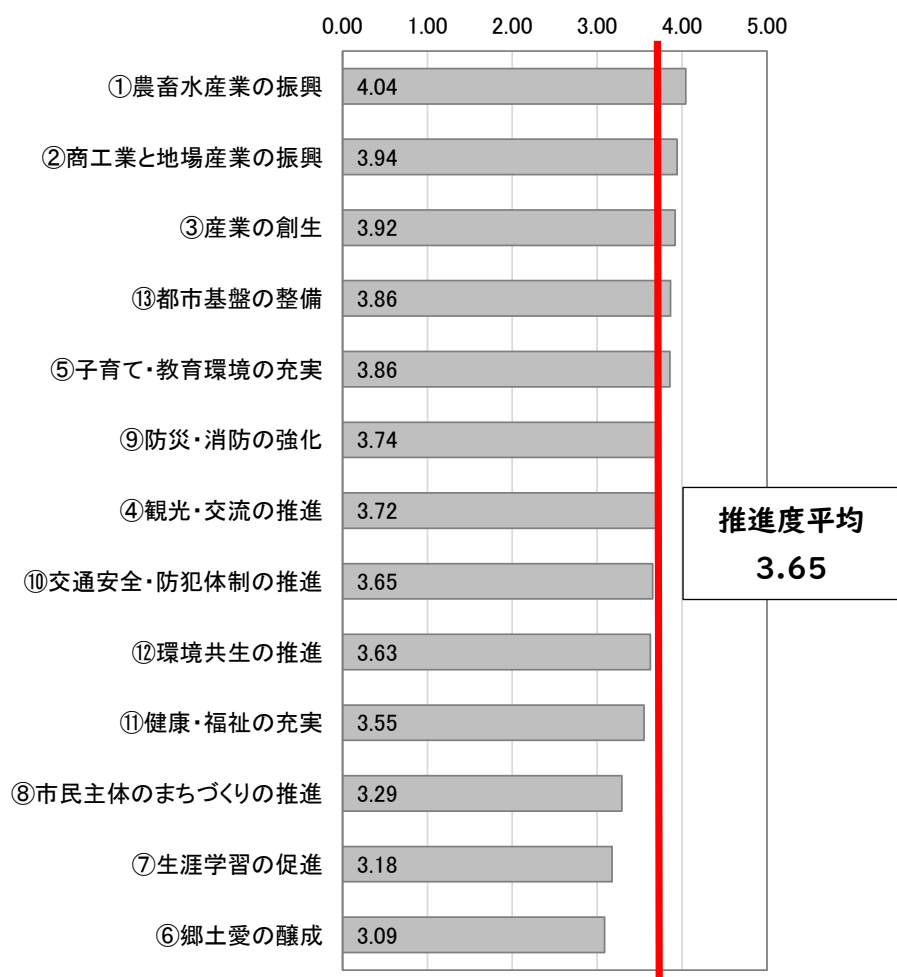


②推進度の点数化

○推進度を次の通り得点化し、順位づけを行ったものが下記の表となります。

○全体の推進度の平均は「3.65」となっています。

『より一層推進すべき』×5+『推進すべき』×4+
『現状維持で良い』×2+『推進しなくて良い』×1（わからない、無回答は除く）

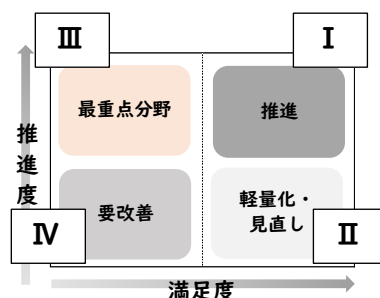


③満足度と推進度の相関関係

○点数化した満足度・推進度を、満足度を横軸、推進度を縦軸にとり、それぞれの項目をプロットしたものが以下の図となります。

○中央のラインは、満足度と推進度の平均点を示しており、4象限のどこの位置かにより相対評価としての関係がみられるものです。

- I：満足度が高く、推進度も高い項目【推進】
 II：満足度は高いが、推進度は低い項目【軽量化・見直し】
 III：満足度は低いが、推進度は高い項目【最重点分野】
 IV：満足度は低いが、推進度は低い項目【要改善】

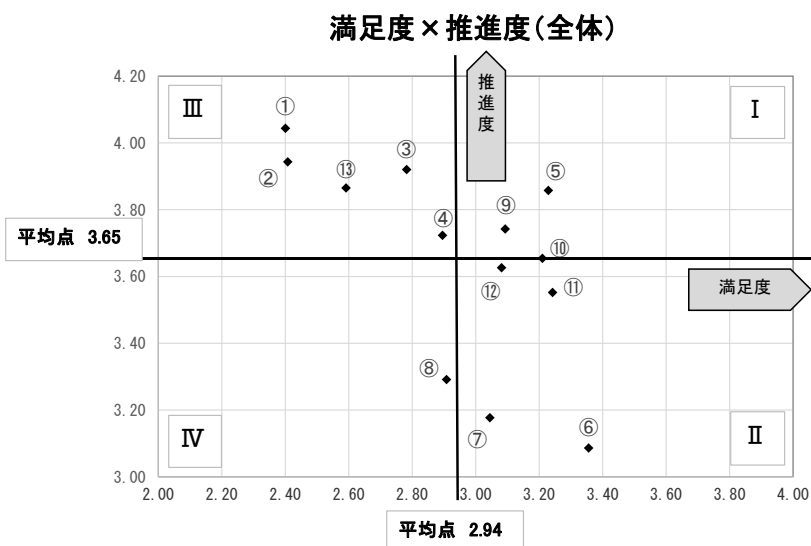


【全体】

○III【最重点分野】に分類された取組は以下の5つとなり、今後特に重点的な対策が必要とされます。

- ①農畜水産業の振興
- ②商工業と地場産業の振興
- ③産業の創生
- ④観光・交流の推進
- ⑬都市基盤の整備

	満足度	進捗度
①農畜水産業の振興	2.40	4.04
②商工業と地場産業の振興	2.41	3.94
③産業の創生	2.78	3.92
④観光・交流の推進	2.90	3.72
⑤子育て・教育環境の充実	3.23	3.86
⑥郷土愛の醸成	3.36	3.09
⑦生涯学習の促進	3.04	3.18
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.91	3.29
⑨防災・消防の強化	3.09	3.74
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.21	3.65
⑪健康・福祉の充実	3.24	3.55
⑫環境共生の推進	3.08	3.63
⑬都市基盤の整備	2.59	3.86
平均	2.94	3.65



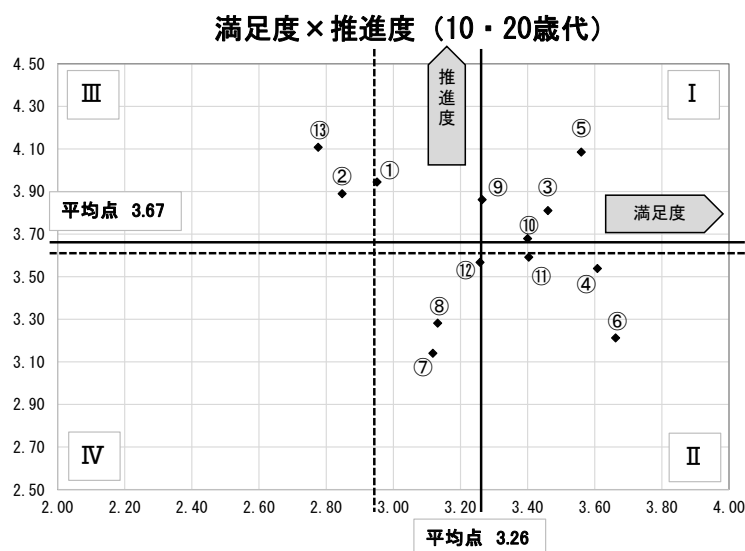
<年齢別>

【10歳・20歳代】

○満足度の平均は 3.26、推進度の平均は 3.67 となり、満足度は全体と比べて高い結果となっています。

○Ⅲ【最重点分野】に分類された取組は全体に比べて少なく、「①農畜水産業の振興」「②商工業と地場産業の振興」「③都市基盤の整備」の3つとなっています。

	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.95	3.95
②商工業と地場産業の振興	2.85	3.89
③産業の創生	3.46	3.81
④観光・交流の推進	3.61	3.54
⑤子育て・教育環境の充実	3.56	4.09
⑥郷土愛の醸成	3.66	3.21
⑦生涯学習の促進	3.12	3.14
⑧市民主体のまちづくりの推進	3.13	3.28
⑨防災・消防の強化	3.26	3.86
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.40	3.68
⑪健康・福祉の充実	3.40	3.59
⑫環境共生の推進	3.26	3.57
⑬都市基盤の整備	2.78	4.11
平均	3.26	3.67

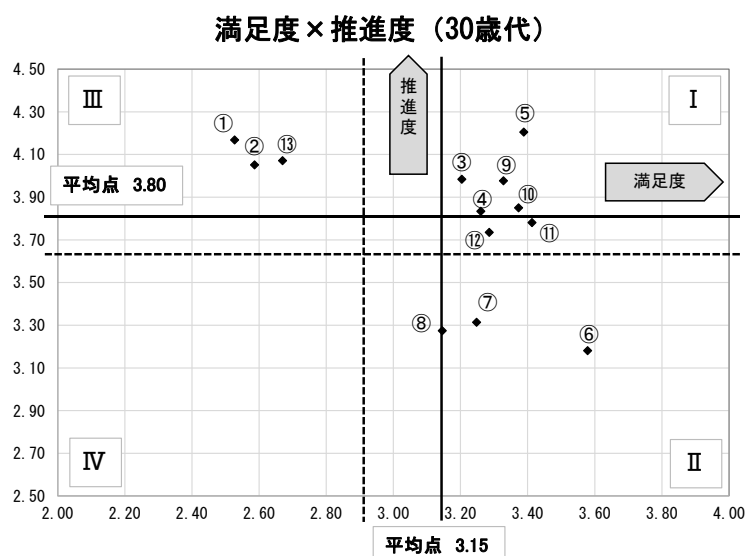


【30歳代】

○満足度の平均は 3.15、推進度の平均は 3.80 となり、満足度、推進度ともに全体と比べて高い結果となっています。

○Ⅲ【最重点分野】に分類された取組は全体に比べて少なく、「①農畜水産業の振興」「②商工業と地場産業の振興」「③都市基盤の整備」の3つとなっています。

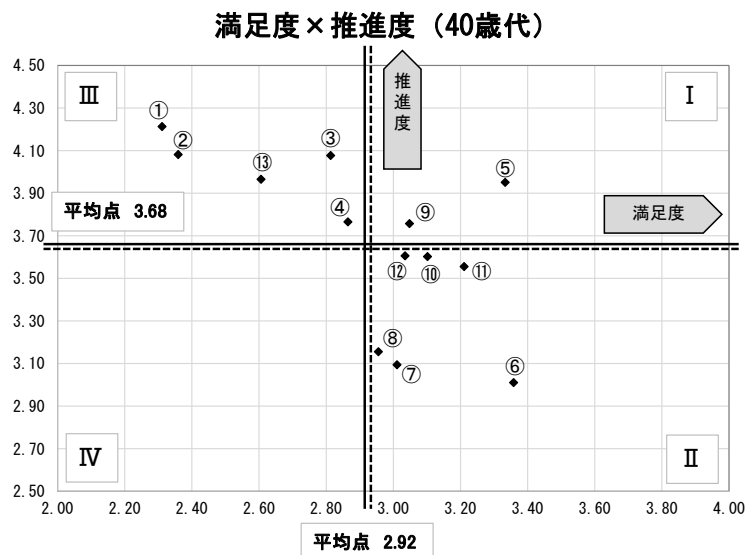
	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.53	4.17
②商工業と地場産業の振興	2.59	4.05
③産業の創生	3.20	3.98
④観光・交流の推進	3.26	3.83
⑤子育て・教育環境の充実	3.39	4.20
⑥郷土愛の醸成	3.58	3.18
⑦生涯学習の促進	3.25	3.31
⑧市民主体のまちづくりの推進	3.15	3.27
⑨防災・消防の強化	3.33	3.98
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.37	3.85
⑪健康・福祉の充実	3.41	3.78
⑫環境共生の推進	3.29	3.74
⑬都市基盤の整備	2.67	4.07
平均	3.15	3.80



【40 歳代】

○満足度の平均は 2.92、推進度の平均は 3.68 となり、全体と比べて大きな差はありません。

	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.31	4.21
②商工業と地場産業の振興	2.36	4.08
③産業の創生	2.81	4.08
④観光・交流の推進	2.86	3.77
⑤子育て・教育環境の充実	3.33	3.95
⑥郷土愛の醸成	3.36	3.01
⑦生涯学習の促進	3.01	3.09
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.96	3.16
⑨防災・消防の強化	3.05	3.76
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.10	3.60
⑪健康・福祉の充実	3.21	3.56
⑫環境共生の推進	3.04	3.61
⑬都市基盤の整備	2.61	3.97
平均	2.92	3.68

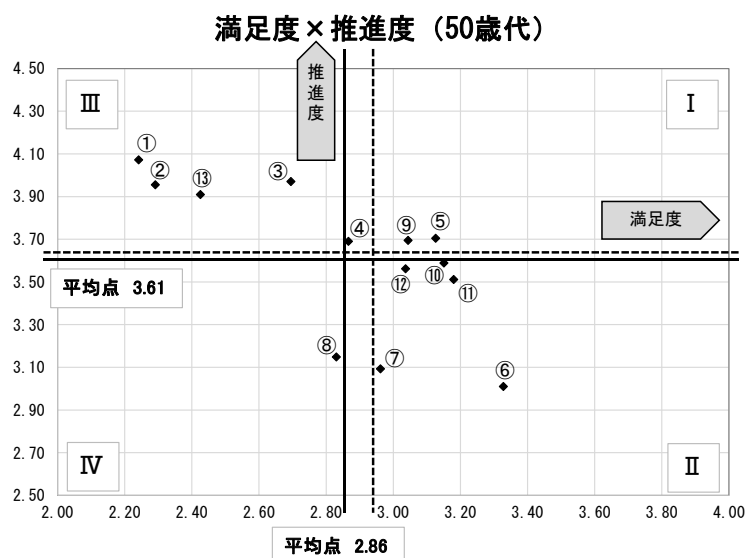


【50 歳代】

○満足度の平均は 2.86、推進度の平均は 3.61 となり、満足度は全体と比べて低い結果となっています。

○Ⅲ【最重点分野】に分類された取組は全体に比べて少なく、「①農畜水産業の振興」「②商工業と地場産業の振興」「③産業の創生」「⑬都市基盤の整備」の4つとなっています。

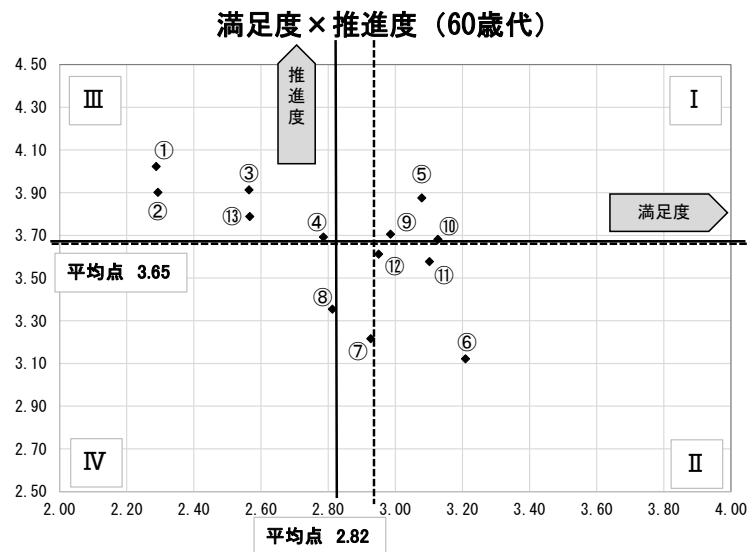
	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.24	4.07
②商工業と地場産業の振興	2.29	3.96
③産業の創生	2.70	3.97
④観光・交流の推進	2.87	3.69
⑤子育て・教育環境の充実	3.13	3.70
⑥郷土愛の醸成	3.33	3.01
⑦生涯学習の促進	2.96	3.09
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.83	3.15
⑨防災・消防の強化	3.04	3.69
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.15	3.59
⑪健康・福祉の充実	3.18	3.51
⑫環境共生の推進	3.04	3.56
⑬都市基盤の整備	2.43	3.91
平均	2.86	3.61



【60 歳代】

○満足度の平均は 2.82、推進度の平均は 3.65 となり、満足度は全体と比べて低い結果となっています。

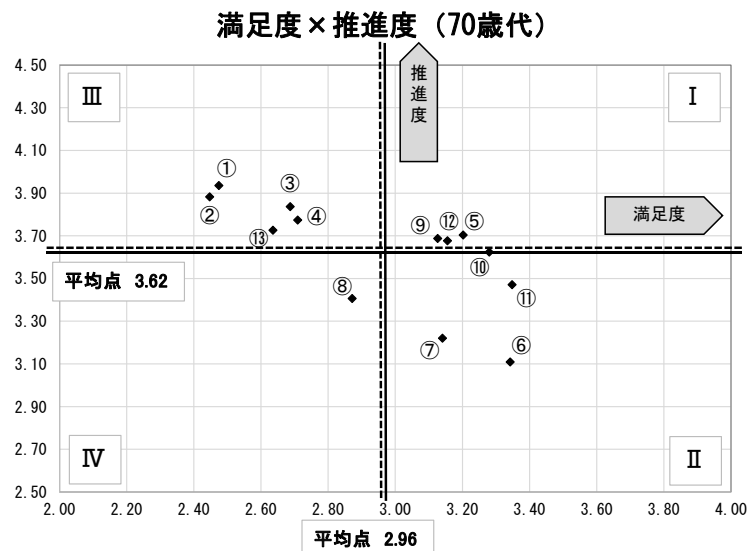
	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.29	4.02
②商工業と地場産業の振興	2.29	3.90
③産業の創生	2.56	3.91
④観光・交流の推進	2.79	3.69
⑤子育て・教育環境の充実	3.08	3.87
⑥郷土愛の醸成	3.21	3.12
⑦生涯学習の促進	2.93	3.22
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.81	3.35
⑨防災・消防の強化	2.99	3.71
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.13	3.68
⑪健康・福祉の充実	3.10	3.58
⑫環境共生の推進	2.95	3.61
⑬都市基盤の整備	2.57	3.79
平均	2.82	3.65



【70 歳以上】

○満足度の平均は 2.96、推進度の平均は 3.62 となり、全体と比べて大きな差はありません。

	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.47	3.94
②商工業と地場産業の振興	2.45	3.88
③産業の創生	2.69	3.84
④観光・交流の推進	2.71	3.77
⑤子育て・教育環境の充実	3.20	3.70
⑥郷土愛の醸成	3.34	3.11
⑦生涯学習の促進	3.14	3.22
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.87	3.41
⑨防災・消防の強化	3.13	3.69
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.28	3.62
⑪健康・福祉の充実	3.35	3.47
⑫環境共生の推進	3.16	3.68
⑬都市基盤の整備	2.64	3.73
平均	2.96	3.62

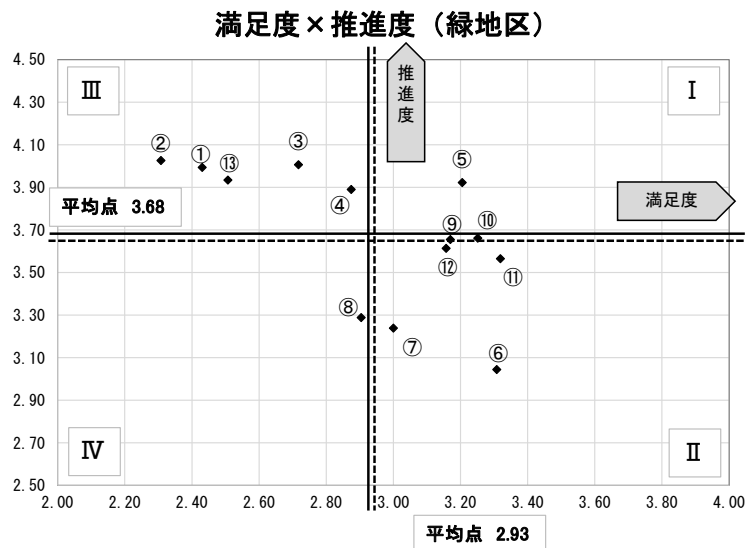


<居住地区別>

【緑地区】

○満足度の平均は 2.93、推進度の平均は 3.68 となり、全体と比べて大きな差はありません。

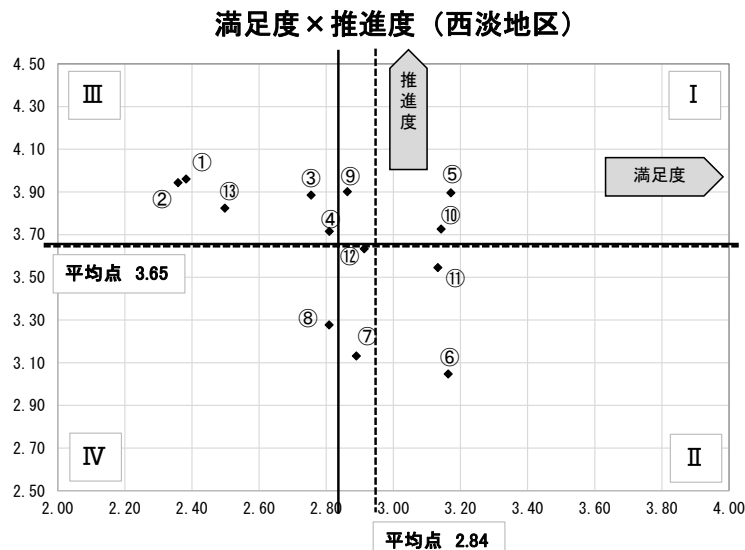
	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.43	3.99
②商工業と地場産業の振興	2.31	4.03
③産業の創生	2.72	4.01
④観光・交流の推進	2.87	3.89
⑤子育て・教育環境の充実	3.20	3.92
⑥郷土愛の醸成	3.31	3.04
⑦生涯学習の促進	3.00	3.24
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.90	3.29
⑨防災・消防の強化	3.17	3.65
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.25	3.66
⑪健康・福祉の充実	3.32	3.56
⑫環境共生の推進	3.16	3.61
⑬都市基盤の整備	2.51	3.93
平均	2.93	3.68



【西淡地区】

○満足度の平均は 2.84、推進度の平均は 3.65 となり、満足度は全体と比べて低い結果となっています。

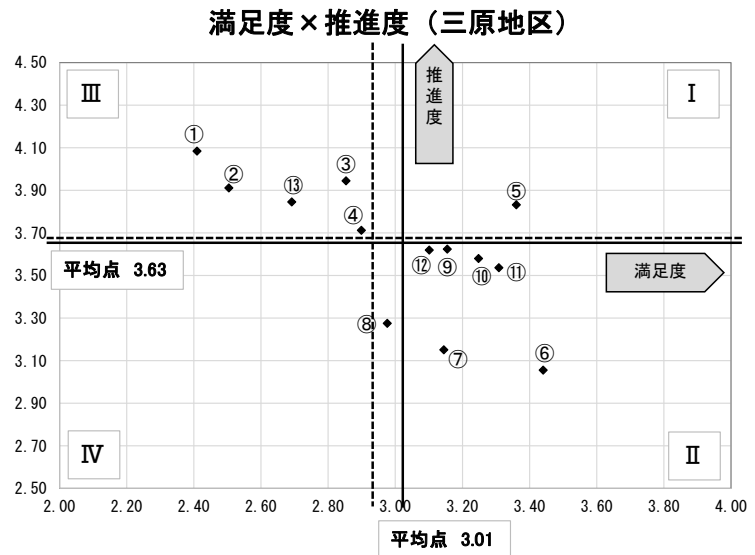
	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.38	3.96
②商工業と地場産業の振興	2.36	3.94
③産業の創生	2.75	3.88
④観光・交流の推進	2.81	3.71
⑤子育て・教育環境の充実	3.17	3.90
⑥郷土愛の醸成	3.16	3.05
⑦生涯学習の促進	2.89	3.13
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.81	3.28
⑨防災・消防の強化	2.86	3.90
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.14	3.73
⑪健康・福祉の充実	3.13	3.54
⑫環境共生の推進	2.91	3.63
⑬都市基盤の整備	2.50	3.82
平均	2.84	3.65



【三原地区】

○満足度の平均は 3.01、推進度の平均は 3.63 となり、満足度は全体と比べて高い結果となっています。

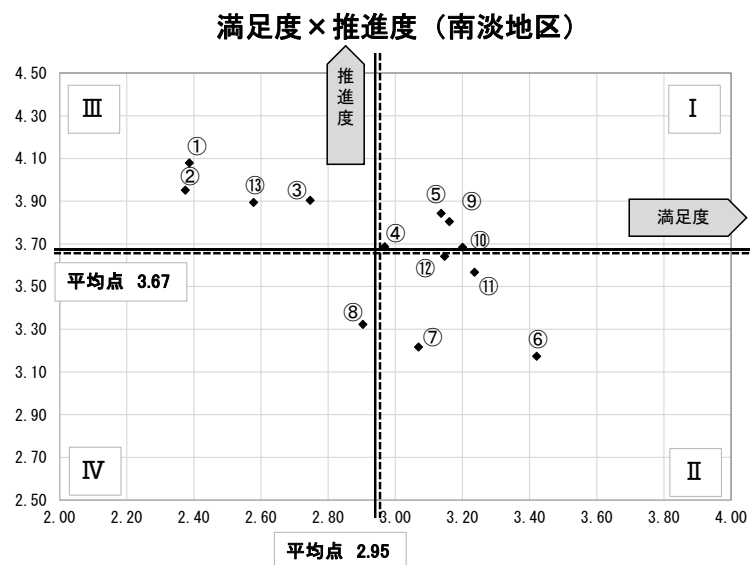
	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.41	4.08
②商工業と地場産業の振興	2.50	3.91
③産業の創生	2.85	3.94
④観光・交流の推進	2.90	3.71
⑤子育て・教育環境の充実	3.36	3.83
⑥郷土愛の醸成	3.44	3.06
⑦生涯学習の促進	3.14	3.15
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.98	3.28
⑨防災・消防の強化	3.16	3.62
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.25	3.58
⑪健康・福祉の充実	3.31	3.54
⑫環境共生の推進	3.10	3.62
⑬都市基盤の整備	2.69	3.84
平均	3.01	3.63



【南淡地区】

○満足度の平均は 2.95、推進度の平均は 3.67 となり、全体と比べて大きな差はありません。

	満足度	推進度
①農畜水産業の振興	2.39	4.08
②商工業と地場産業の振興	2.37	3.95
③産業の創生	2.75	3.90
④観光・交流の推進	2.97	3.69
⑤子育て・教育環境の充実	3.14	3.84
⑥郷土愛の醸成	3.42	3.17
⑦生涯学習の促進	3.07	3.22
⑧市民主体のまちづくりの推進	2.90	3.32
⑨防災・消防の強化	3.16	3.80
⑩交通安全・防犯体制の推進	3.20	3.68
⑪健康・福祉の充実	3.24	3.57
⑫環境共生の推進	3.15	3.64
⑬都市基盤の整備	2.58	3.89
平均	2.95	3.67



・ 男女共同参画について

問 13 男女共同参画社会についての認知度

(SA)

【全体】

○「聞いたことはあるが、人に説明できない」50.3%が最も多く、次いで「聞いたことがない(知らない)」25.4%、「少しは知っており、ある程度は人に説明できる」18.8%となっています。

【性別】

○“男性”では“女性”に比べて「少しは知っており、ある程度は人に説明できる」(24.0%)が 9.1ポイント高くなっています。

○「聞いたことがない(知らない)」は“女性”が 28.3%で、“男性”に比べて多くなっています。

【年齢別】

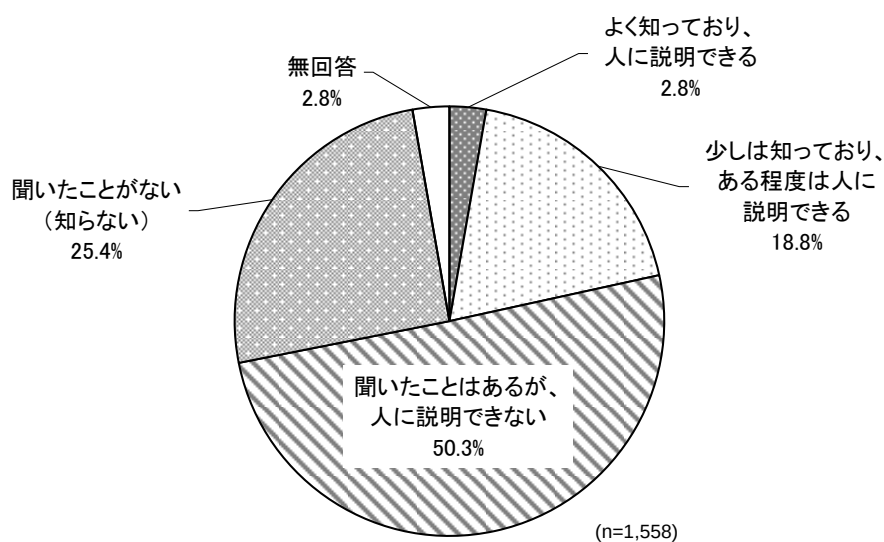
○“10 歳・20 歳代”では「少しは知っており、ある程度は人に説明できる」が他の年代に比べて高く、認知度の高さが伺えます。

○「聞いたことがない(知らない)」は“30 歳代”が 32.9%で最も多くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「聞いたことはあるが、人に説明できない」が最も多くなっています。

○「少しは知っており、ある程度は人に説明できる」は“緑地区”が 23.1%で多い一方で、「聞いたことがない(知らない)」でも 27.9%で最も多くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問13 男女共同参画社会についての認知度				
			よく知っており、人に説明できる	少しは知っており、ある程度は人に説明できる	聞いたことはあるが、人に説明できない	聞いたことがない(知らない)	無回答
全 体		1,558 100.0	43 2.8	293 18.8	784 50.3	395 25.4	43 2.8
性 別	男性	645 100.0	31 4.8	155 24.0	301 46.7	140 21.7	18 2.8
	女性	886 100.0	12 1.4	132 14.9	470 53.0	251 28.3	21 2.4
	1, 2 に当てはまらない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	4 4.0	31 30.7	44 43.6	22 21.8	0 0.0
	30歳代	152 100.0	8 5.3	29 19.1	65 42.8	50 32.9	0 0.0
	40歳代	233 100.0	6 2.6	37 15.9	122 52.4	67 28.8	1 0.4
	50歳代	245 100.0	11 4.5	49 20.0	113 46.1	70 28.6	2 0.8
	60歳代	342 100.0	1 0.3	74 21.6	188 55.0	70 20.5	9 2.6
	70歳以上	470 100.0	12 2.6	69 14.7	246 52.3	113 24.0	30 6.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	5 2.4	48 23.1	93 44.7	58 27.9	4 1.9
	西淡地区	324 100.0	7 2.2	50 15.4	176 54.3	80 24.7	11 3.4
	三原地区	514 100.0	16 3.1	103 20.0	254 49.4	133 25.9	8 1.6
	南淡地区	496 100.0	15 3.0	88 17.7	252 50.8	122 24.6	19 3.8

問 14 女性活躍を推進する上での重要項目

(SA)

【全体】

○「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」24.5%が最も多く、次いで「高齢者施設や病院、介護サービス等の充実」19.4%、「保育の施設・サービスの充実」15.9%となっています。

【性別】

○男女とも「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」が最も多くなっています。このことから、社会全体として家事・育児・介護について協力し合う関係づくりが重要視されていることが伺えます。

【年齢別】

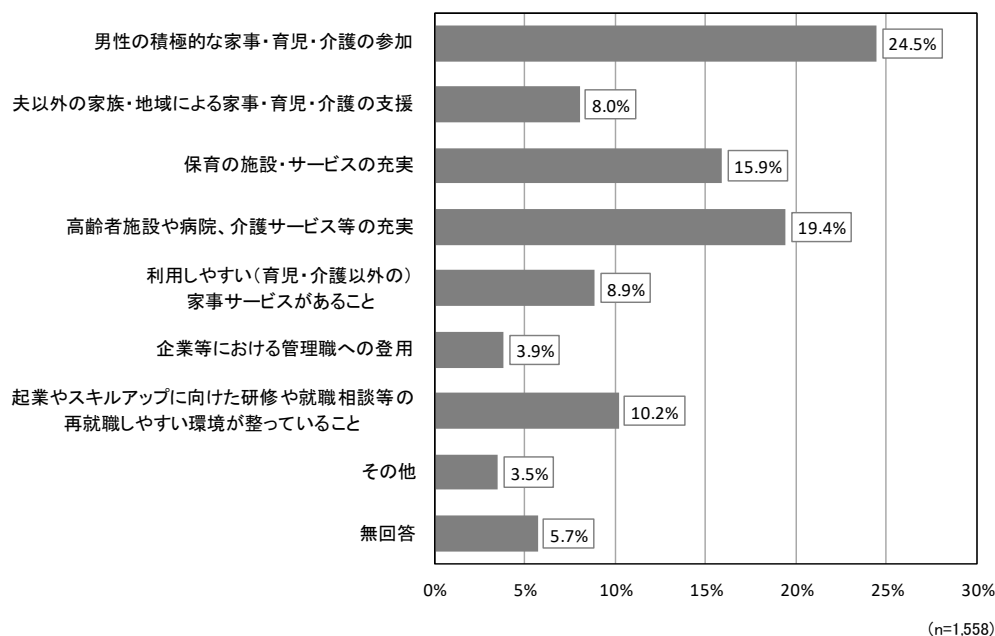
○10・20歳代～60歳代では「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」、「70歳以上」では「高齢者施設や病院、介護サービス等の充実」が最も多くなっています。

○“10歳・20歳代”“30歳代”では、「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」、「保育の施設・サービスの充実」が他の世代に比べて高くなっており、特に若い世代では共働き家庭の増加等を背景に、仕事と家庭の両立に向けた取り組みの推進が求められていることが伺えます。」

○「高齢者施設や病院、介護サービス等の充実」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」が最も多くなっています。



問 14 その他の回答例	回答数(件)
意識の問題	14
社会、勤め先の理解・サポート	11
社会の構造の問題	7
法制度の問題	2

上段:人 下段:%		合計	問14 女性活躍を推進する上での重要項目								無回答
			男性の積極的な家事・育児・介護の参加	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護の支援	保育の施設・サービスの充実	高齢者施設や病院、介護サービス等の充実	利用しやすい（育児・介護以外の）家事サービスがあること	企業等における管理職への登用	起業やスキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	その他	
全 体		1,558 100.0	381 24.5	125 8.0	248 15.9	303 19.4	138 8.9	60 3.9	159 10.2	55 3.5	89 5.7
性別	男性	645 100.0	147 22.8	62 9.6	114 17.7	106 16.4	55 8.5	32 5.0	56 8.7	30 4.7	43 6.7
	女性	886 100.0	230 26.0	60 6.8	130 14.7	191 21.6	79 8.9	27 3.0	101 11.4	25 2.8	43 4.9
	1, 2に当てはまらない	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢	10歳・20歳代	101 100.0	37 36.6	5 5.0	30 29.7	5 5.0	5 5.0	5 5.0	13 12.9	1 1.0	0 0.0
	30歳代	152 100.0	52 34.2	15 9.9	39 25.7	6 3.9	16 10.5	3 2.0	14 9.2	4 2.6	3 2.0
	40歳代	233 100.0	67 28.8	24 10.3	45 19.3	16 6.9	15 6.4	12 5.2	33 14.2	16 6.9	5 2.1
	50歳代	245 100.0	53 21.6	19 7.8	39 15.9	39 15.9	25 10.2	18 7.3	32 13.1	9 3.7	11 4.5
	60歳代	342 100.0	90 26.3	28 8.2	54 15.8	64 18.7	32 9.4	10 2.9	34 9.9	10 2.9	20 5.8
	70歳以上	470 100.0	81 17.2	33 7.0	38 8.1	171 36.4	41 8.7	11 2.3	32 6.8	15 3.2	48 10.2
居住地区	緑地区	208 100.0	59 28.4	9 4.3	36 17.3	40 19.2	18 8.7	9 4.3	18 8.7	11 5.3	8 3.8
	西淡地区	324 100.0	70 21.6	30 9.3	52 16.0	67 20.7	28 8.6	9 2.8	32 9.9	9 2.8	27 8.3
	三原地区	514 100.0	120 23.3	46 8.9	88 17.1	99 19.3	45 8.8	22 4.3	56 10.9	14 2.7	24 4.7
	南淡地区	496 100.0	129 26.0	38 7.7	70 14.1	96 19.4	43 8.7	19 3.8	51 10.3	21 4.2	29 5.8

問 15 男女共同参画推進のための市の取組（MA/〇は3つまで）

【全体】

○「女性が安心して妊娠や出産、子育てができる環境の整備」49.4%が最も多く、次いで「保育や介護サービスの充実」41.6%、「企業や事業所への育児・介護・看護のための休業制度等の普及」32.1%となっています。

【性別】

○“女性”では“男性”に比べて「企業や事業所への育児・介護・看護のための休業制度等の普及」（35.8%）が8.2ポイント高くなっています。

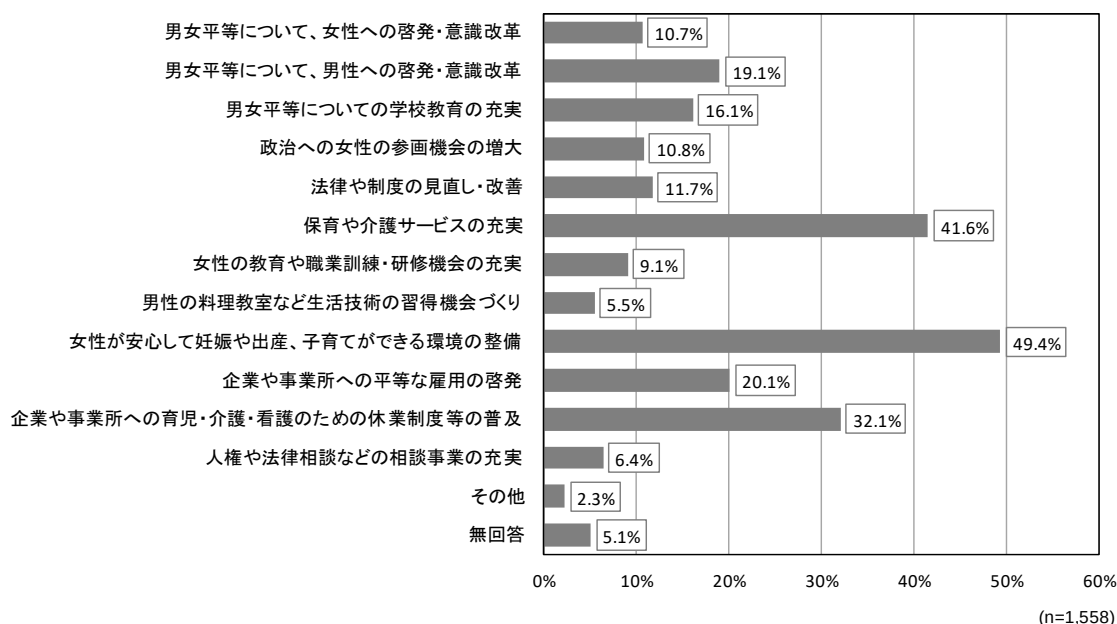
【年齢別】

○10歳・20歳代～60歳代では「女性が安心して妊娠や出産、子育てができる環境の整備」、
“70歳以上”では「保育や介護サービスの充実」が最も多くなっています。

○“30歳代”では「保育や介護サービスの充実」が過半数となっていることや、“10歳・20歳代”
“30歳代”では「女性が安心して妊娠や出産、子育てができる環境の整備」が6割以上となっていることから、若い年代では特に仕事と生活を両立するための子育て環境の整備が求められていることが伺えます。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「女性が安心して妊娠や出産、子育てができる環境の整備」が最も多くなっています。



問 15 その他の回答例	回答数(件)
勤め先の理解・サポート	5
社会の構造の問題	5
市政の問題	2

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問15 男女共同参画推進のための市の取り組み						
			男女平等 について、女性 への啓 発・意識 改革	男女平等 について、男性 への啓 発・意識 改革	男女平等 についての学 校教育の充 実	政治への 女性の参 画機会の 増大	法律や制 度の見直 し・改善	保育や介 護サービ スの充実	女性の教 育や職業 訓練・研 修機会の 充実
全 体		1,558 100.0	166 10.7	297 19.1	251 16.1	169 10.8	183 11.7	648 41.6	142 9.1
性 別	男性	645 100.0	80 12.4	129 20.0	125 19.4	90 14.0	71 11.0	258 40.0	53 8.2
	女性	886 100.0	84 9.5	164 18.5	123 13.9	78 8.8	112 12.6	377 42.6	88 9.9
	1, 2に当て はまらない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	14 13.9	21 20.8	16 15.8	7 6.9	8 7.9	38 37.6	5 5.0
	30歳代	152 100.0	15 9.9	29 19.1	23 15.1	15 9.9	22 14.5	77 50.7	16 10.5
	40歳代	233 100.0	21 9.0	47 20.2	45 19.3	29 12.4	31 13.3	94 40.3	23 9.9
	50歳代	245 100.0	13 5.3	46 18.8	32 13.1	26 10.6	37 15.1	113 46.1	23 9.4
	60歳代	342 100.0	36 10.5	84 24.6	46 13.5	31 9.1	34 9.9	138 40.4	31 9.1
	70歳以上	470 100.0	64 13.6	65 13.8	86 18.3	61 13.0	51 10.9	182 38.7	43 9.1
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	27 13.0	46 22.1	35 16.8	23 11.1	17 8.2	90 43.3	13 6.3
	西淡地区	324 100.0	31 9.6	58 17.9	54 16.7	29 9.0	52 16.0	137 42.3	30 9.3
	三原地区	514 100.0	45 8.8	98 19.1	89 17.3	62 12.1	57 11.1	220 42.8	41 8.0
	南淡地区	496 100.0	60 12.1	91 18.3	71 14.3	54 10.9	57 11.5	194 39.1	58 11.7

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問15 男女共同参画推進のための市の取り組み						
			男性の料 理教室な ど生活技 術の習得 機会づく り	女性が安 心して妊 娠や出 産、子育 てができ る環境の 整備	企業や事 業所への 平等な雇 用の啓発	企業や事 業所への 育児・介 護・看護 のための 休業制度 等の普及	人権や法 律相談な どの相談 事業の充 実	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	86 5.5	769 49.4	313 20.1	500 32.1	100 6.4	36 2.3	79 5.1
性 別	男性	645 100.0	35 5.4	308 47.8	132 20.5	178 27.6	39 6.0	15 2.3	31 4.8
	女性	886 100.0	51 5.8	449 50.7	177 20.0	317 35.8	60 6.8	21 2.4	43 4.9
	1, 2に当て はまらない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	10 9.9	62 61.4	19 18.8	39 38.6	5 5.0	1 1.0	2 2.0
	30歳代	152 100.0	8 5.3	96 63.2	28 18.4	54 35.5	3 2.0	3 2.0	0 0.0
	40歳代	233 100.0	14 6.0	116 49.8	59 25.3	89 38.2	15 6.4	5 2.1	5 2.1
	50歳代	245 100.0	10 4.1	131 53.5	58 23.7	82 33.5	16 6.5	8 3.3	4 1.6
	60歳代	342 100.0	15 4.4	180 52.6	70 20.5	125 36.5	15 4.4	7 2.0	17 5.0
	70歳以上	470 100.0	29 6.2	177 37.7	77 16.4	109 23.2	46 9.8	12 2.6	48 10.2
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	13 6.3	113 54.3	33 15.9	68 32.7	9 4.3	5 2.4	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	20 6.2	150 46.3	65 20.1	95 29.3	29 9.0	6 1.9	20 6.2
	三原地区	514 100.0	24 4.7	267 51.9	116 22.6	186 36.2	30 5.8	15 2.9	18 3.5
	南淡地区	496 100.0	29 5.8	230 46.4	96 19.4	148 29.8	32 6.5	10 2.0	32 6.5

・新型コロナウイルス感染症について

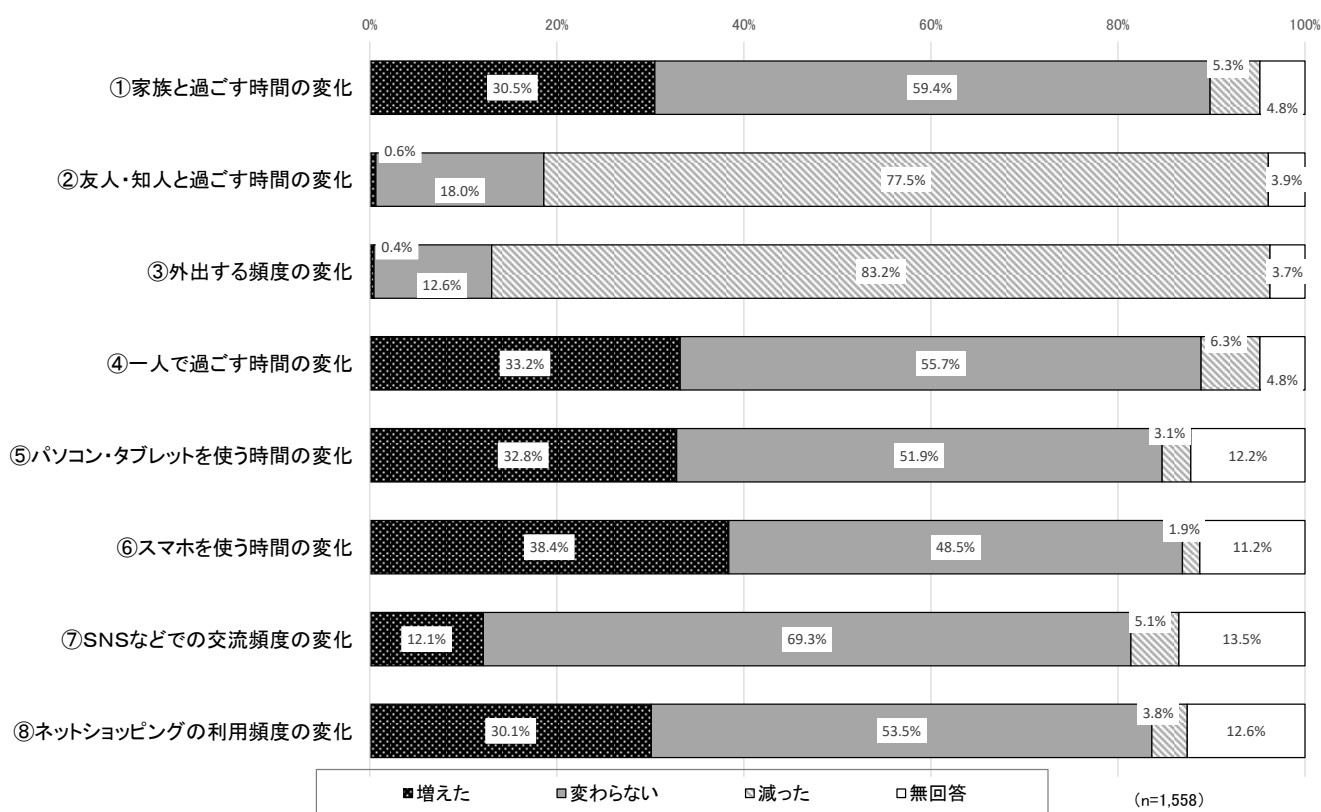
問 16 新型コロナウイルスによる生活の変化

(SA)

【全体】

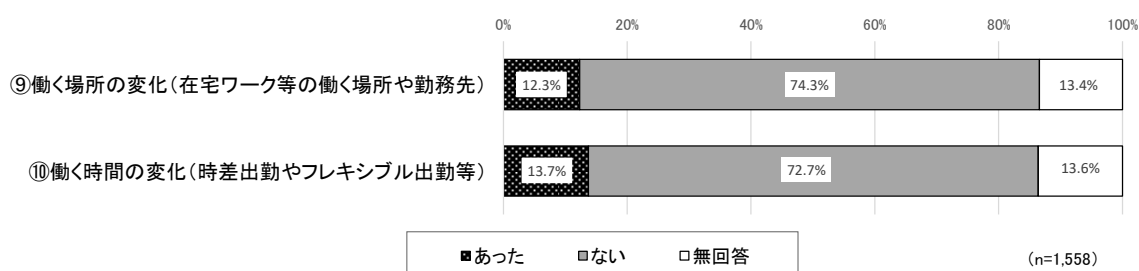
○「増えた」については、「⑥スマホを使う時間の变化」38.4%が最も多く、次いで「④一人で過ごす時間の变化」33.2%、「⑤パソコン・タブレットを使う時間の变化」32.8%となっています。

○「減った」については、「③外出する頻度の变化」83.2%が最も多く、「②友人・知人と過ごす時間の变化」77.5%、「④一人で過ごす時間の变化」6.3%となっています。



○「⑨働く場所の変化(在宅ワーク等の働く場所や勤務先)」については、「あった」が 12.3%となっています。

○「⑩働く時間の変化(時差出勤やフレキシブル出勤等)」については、「あった」が 13.7%となっています。



【年齢別】

- 「①家族と過ごす時間の変化」については、「増えた」と回答した人の割合は、40 歳代以下が全体に比べて高くなっており、特に“30 歳代”では過半数となり、全体を大きく上回っています。
- 「②友人・知人と過ごす時間の変化」「③外出する頻度の変化」について、「変わらない」と回答した人の割合は、いずれも“70 歳以上”が最も多くなっています。
- 「④一人で過ごす時間の変化」については、“10 歳・20 歳代”以外では「変わらない」が最も多いのに対し、“10 歳・20 歳代”では「増えた」が 61.4%となり、全体を大きく上回っています。
- 「⑤パソコン・タブレットを使う時間の変化」「⑥スマホを使う時間の変化」「⑦SNSなどでの交流頻度の変化」「⑧ネットショッピングの利用頻度の変化」といったデジタル活用時間が「増えた」と回答した人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあり、特に“10 歳・20 歳代”“30 歳代”の若い年代が全体を大きく上回っています。
- 「⑨働く場所の変化（在宅ワーク等の働く場所や勤務先）」「⑩働く時間の変化（時差出勤やフレキシブル出勤等）」について、「あった」と回答した人の割合は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあります。

【居住地区別】

- 全体と比べて大きな違いはありません。

上段:人 下段:%		合計	問16 ①家族と過ごす時間の変化			
			増えた	変わらない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	475 30.5	925 59.4	83 5.3	75 4.8
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	43 42.6	47 46.5	11 10.9	0 0.0
	30歳代	152 100.0	85 55.9	65 42.8	1 0.7	1 0.7
	40歳代	233 100.0	95 40.8	124 53.2	10 4.3	4 1.7
	50歳代	245 100.0	73 29.8	154 62.9	13 5.3	5 2.0
	60歳代	342 100.0	88 25.7	221 64.6	17 5.0	16 4.7
	70歳以上	470 100.0	86 18.3	307 65.3	31 6.6	46 9.8
	緑地区	208 100.0	79 38.0	116 55.8	8 3.8	5 2.4
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	86 26.5	200 61.7	20 6.2	18 5.6
	三原地区	514 100.0	152 29.6	320 62.3	23 4.5	19 3.7
	南淡地区	496 100.0	153 30.8	282 56.9	31 6.3	30 6.0
	緑地区	208 100.0	79 38.0	116 55.8	8 3.8	5 2.4

上段:人 下段:%		合計	問16 ②友人・知人と過ごす時間の変化			
			増えた	変わらない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	10 0.6	280 18.0	1207 77.5	61 3.9
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	0 0.0	11 10.9	90 89.1	0 0.0
	30歳代	152 100.0	2 1.3	8 5.3	141 92.8	1 0.7
	40歳代	233 100.0	2 0.9	43 18.5	185 79.4	3 1.3
	50歳代	245 100.0	1 0.4	44 18.0	196 80.0	4 1.6
	60歳代	342 100.0	1 0.3	66 19.3	266 77.8	9 2.6
	70歳以上	470 100.0	4 0.9	104 22.1	321 68.3	41 8.7
	緑地区	208 100.0	0 0.0	29 13.9	176 84.6	3 1.4
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	1 0.3	53 16.4	256 79.0	14 4.3
	三原地区	514 100.0	3 0.6	100 19.5	394 76.7	17 3.3
	南淡地区	496 100.0	6 1.2	94 19.0	372 75.0	24 4.8
	緑地区	208 100.0	0 0.0	29 13.9	176 84.6	3 1.4

上段:人 下段:%		合計	問16 ③外出する頻度の変化			
			増えた	変わらない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	7 0.4	196 12.6	1297 83.2	58 3.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	0 0.0	8 7.9	93 92.1	0 0.0
	30歳代	152 100.0	1 0.7	6 3.9	145 95.4	0 0.0
	40歳代	233 100.0	0 0.0	24 10.3	205 88.0	4 1.7
	50歳代	245 100.0	0 0.0	25 10.2	214 87.3	6 2.4
	60歳代	342 100.0	2 0.6	44 12.9	291 85.1	5 1.5
	70歳以上	470 100.0	4 0.9	87 18.5	339 72.1	40 8.5
	緑地区	208 100.0	0 0.0	20 9.6	185 88.9	3 1.4
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	0 0.0	48 14.8	263 81.2	13 4.0
	三原地区	514 100.0	1 0.2	63 12.3	434 84.4	16 3.1
	南淡地区	496 100.0	6 1.2	63 12.7	404 81.5	23 4.6

上段:人 下段:%		合計	問16 ④一人で過ごす時間の変化			
			増えた	変わらない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	517 33.2	868 55.7	98 6.3	75 4.8
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	62 61.4	32 31.7	7 6.9	0 0.0
	30歳代	152 100.0	41 27.0	77 50.7	33 21.7	1 0.7
	40歳代	233 100.0	63 27.0	143 61.4	24 10.3	3 1.3
	50歳代	245 100.0	89 36.3	141 57.6	9 3.7	6 2.4
	60歳代	342 100.0	124 36.3	194 56.7	10 2.9	14 4.1
	70歳以上	470 100.0	134 28.5	275 58.5	14 3.0	47 10.0
	緑地区	208 100.0	73 35.1	116 55.8	16 7.7	3 1.4
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	104 32.1	181 55.9	22 6.8	17 5.2
	三原地区	514 100.0	170 33.1	294 57.2	29 5.6	21 4.1
	南淡地区	496 100.0	164 33.1	271 54.6	31 6.3	30 6.0

上段:人 下段:%		合計	問16 ⑤パソコン・タブレットを使う時間の変化			
			増えた	変わらない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	511 32.8	809 51.9	48 3.1	190 12.2
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	71 70.3	29 28.7	1 1.0	0 0.0
	30歳代	152 100.0	87 57.2	61 40.1	3 2.0	1 0.7
	40歳代	233 100.0	111 47.6	118 50.6	1 0.4	3 1.3
	50歳代	245 100.0	90 36.7	143 58.4	6 2.4	6 2.4
	60歳代	342 100.0	89 26.0	217 63.5	8 2.3	28 8.2
	70歳以上	470 100.0	61 13.0	237 50.4	28 6.0	144 30.6
	緑地区	208 100.0	88 42.3	99 47.6	5 2.4	16 7.7
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	95 29.3	169 52.2	14 4.3	46 14.2
	三原地区	514 100.0	164 31.9	289 56.2	13 2.5	48 9.3
	南淡地区	496 100.0	161 32.5	246 49.6	15 3.0	74 14.9

上段:人 下段:%		合計	問16 ⑥スマホを使う時間の変化			
			増えた	変わらない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	598 38.4	756 48.5	29 1.9	175 11.2
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	78 77.2	22 21.8	1 1.0	0 0.0
	30歳代	152 100.0	97 63.8	54 35.5	1 0.7	0 0.0
	40歳代	233 100.0	115 49.4	113 48.5	1 0.4	4 1.7
	50歳代	245 100.0	110 44.9	125 51.0	2 0.8	8 3.3
	60歳代	342 100.0	116 33.9	193 56.4	3 0.9	30 8.8
	70歳以上	470 100.0	79 16.8	245 52.1	20 4.3	126 26.8
	緑地区	208 100.0	98 47.1	91 43.8	3 1.4	16 7.7
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	119 36.7	155 47.8	8 2.5	42 13.0
	三原地区	514 100.0	195 37.9	267 51.9	6 1.2	46 8.9
	南淡地区	496 100.0	182 36.7	237 47.8	11 2.2	66 13.3

上段:人 下段:%		合計	問16 ⑦SNSなどでの交流頻度の変化			
			増えた	変わら ない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	189 12.1	1079 69.3	80 5.1	210 13.5
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	44 43.6	51 50.5	6 5.9	0 0.0
	30歳代	152 100.0	34 22.4	110 72.4	8 5.3	0 0.0
	40歳代	233 100.0	36 15.5	182 78.1	11 4.7	4 1.7
	50歳代	245 100.0	36 14.7	187 76.3	12 4.9	10 4.1
	60歳代	342 100.0	25 7.3	271 79.2	10 2.9	36 10.5
	70歳以上	470 100.0	12 2.6	274 58.3	31 6.6	153 32.6
	緑地区	208 100.0	35 16.8	142 68.3	10 4.8	21 10.1
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	33 10.2	222 68.5	18 5.6	51 15.7
	三原地区	514 100.0	57 11.1	373 72.6	29 5.6	55 10.7
	南淡地区	496 100.0	62 12.5	335 67.5	21 4.2	78 15.7

上段:人 下段:%		合計	問16 ⑧ネットショッピングの利用頻度の変化			
			増えた	変わら ない	減った	無回答
全 体		1,558 100.0	469 30.1	834 53.5	59 3.8	196 12.6
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	55 54.5	43 42.6	2 2.0	1 1.0
	30歳代	152 100.0	100 65.8	47 30.9	4 2.6	1 0.7
	40歳代	233 100.0	103 44.2	120 51.5	6 2.6	4 1.7
	50歳代	245 100.0	79 32.2	156 63.7	3 1.2	7 2.9
	60歳代	342 100.0	79 23.1	223 65.2	8 2.3	32 9.4
	70歳以上	470 100.0	50 10.6	241 51.3	35 7.4	144 30.6
	緑地区	208 100.0	80 38.5	100 48.1	9 4.3	19 9.1
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	91 28.1	175 54.0	12 3.7	46 14.2
	三原地区	514 100.0	153 29.8	287 55.8	16 3.1	58 11.3
	南淡地区	496 100.0	141 28.4	266 53.6	21 4.2	68 13.7

上段:人 下段:%		合計	問16 ⑨働く場所の変化（在宅ワーク等の働く場所や勤務先）		
			あった	ない	無回答
全 体		1,558 100.0	192 12.3	1157 74.3	209 13.4
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	30 29.7	70 69.3	1 1.0
	30歳代	152 100.0	28 18.4	124 81.6	0 0.0
	40歳代	233 100.0	37 15.9	192 82.4	4 1.7
	50歳代	245 100.0	46 18.8	192 78.4	7 2.9
	60歳代	342 100.0	34 9.9	271 79.2	37 10.8
	70歳以上	470 100.0	14 3.0	303 64.5	153 32.6
	緑地区	208 100.0	29 13.9	160 76.9	19 9.1
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	45 13.9	226 69.8	53 16.4
	三原地区	514 100.0	61 11.9	395 76.8	58 11.3
	南淡地区	496 100.0	54 10.9	368 74.2	74 14.9

上段:人 下段:%		合計	問16 ⑩働く時間の変化（時差出勤やフレキシブル出勤等）		
			あった	ない	無回答
全 体		1,558 100.0	214 13.7	1132 72.7	212 13.6
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	22 21.8	78 77.2	1 1.0
	30歳代	152 100.0	35 23.0	117 77.0	0 0.0
	40歳代	233 100.0	46 19.7	183 78.5	4 1.7
	50歳代	245 100.0	44 18.0	194 79.2	7 2.9
	60歳代	342 100.0	47 13.7	257 75.1	38 11.1
	70歳以上	470 100.0	17 3.6	298 63.4	155 33.0
	緑地区	208 100.0	29 13.9	159 76.4	20 9.6
居 住 地 区	西淡地区	324 100.0	57 17.6	213 65.7	54 16.7
	三原地区	514 100.0	64 12.5	391 76.1	59 11.5
	南淡地区	496 100.0	61 12.3	361 72.8	74 14.9

問 17 新型コロナウイルスにより影響があったこと

(MA/○は3つまで)

【全体】

- 「外食の機会の減少」55.3%が最も多く、次いで「精神的なストレスの増加」29.8%、「地域での付き合い・交流の減少」27.7%となっています。

【年齢別】

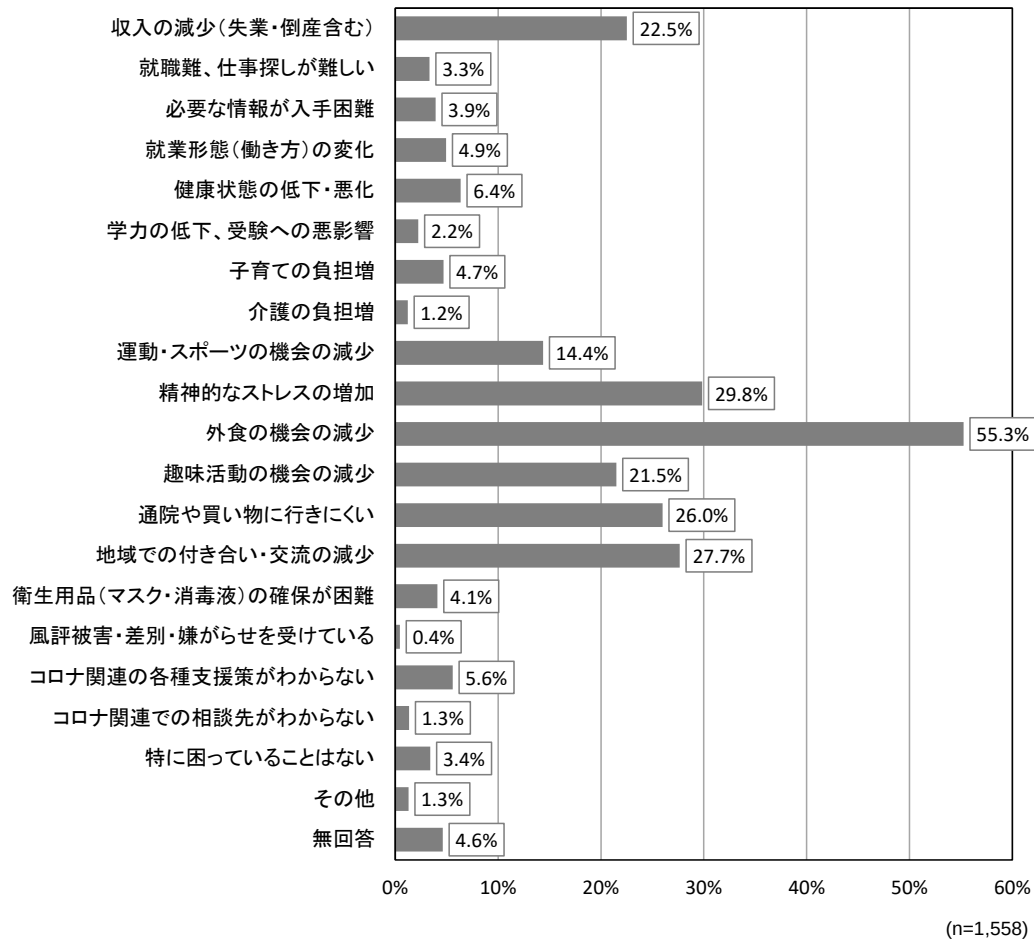
- “10 歳・20 歳代”では「就職難、仕事探しが難しい」「精神的なストレスの増加」が、全体と比べて高くなっています。
- “30 歳代”では「子育ての負担増」(23.0%)が、全体と比べて 18.3 ポイント 高くなっています。
- 「地域での付き合い・交流の減少」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、“60 歳代”“70 歳以上”では3割以上となっています。

【居住地区別】

- すべての居住地区で「外食の機会の減少」が最も多くなっています。
- “緑地区”と“西淡地区”で、「通院や買い物に行きにくい」が全体平均に比べてやや高くなっています。

【職業別】

- “自営業・自由業”“農林漁業”では「収入の減少(失業・倒産含む)」が4割以上で、全体を大きく上回っており、他の職業に比べて収入面で影響が大きいことが伺えます。
- “学生”では「就職難、仕事探しが難しい」「学力の低下、受験への悪影響」「運動・スポーツの機会の減少」が他の職業に比べて高い他、「精神的なストレスの増加」が過半数となり、他の職業に比べてストレスを強く感じている様子が伺えます。
- “主婦(夫)”では「通院や買い物に行きにくい」(35.3%)が、全体と比べて 9.3 ポイント高くなっています。
- “農林漁業”では「地域での付き合い・交流の減少」(48.3%)が、全体と比べて 20.6 ポイント高くなっています。



問 17 その他の回答例	回答数(件)
入院施設・介護施設にいる家族・親戚に会えない	2
イベントが減少した	2
仕事の増加・仕事の影響	2
国内外の移動の制限	2

上段:人 下段:%		合計	問17 新型コロナウイルスにより影響があったこと										
			収入の減少 (失業・倒産 含む)	就職難、 仕事探し が難しい	必要な情 報が入手 困難	就業形態 (働き方) の変化	健康状態 の低下・ 悪化	学力の低 下、受験 への悪影 響	子育ての 負担増	介護の負 担増	運動・ス ポーツの 機会の減 少	精神的な ストレス の増加	外食の機 会の減少
全 体		1,558 100.0	351 22.5	52 3.3	61 3.9	77 4.9	99 6.4	35 2.2	73 4.7	19 1.2	224 14.4	465 29.8	861 55.3
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	13 12.9	13 12.9	4 4.0	11 10.9	4 4.0	8 7.9	4 4.0	0 0.0	22 21.8	40 39.6	59 58.4
	30歳代	152 100.0	39 25.7	5 3.3	5 3.3	10 6.6	8 5.3	0 0.0	35 23.0	1 0.7	25 16.4	53 34.9	94 61.8
	40歳代	233 100.0	48 20.6	7 3.0	7 3.0	17 7.3	9 3.9	13 5.6	24 10.3	1 0.4	47 20.2	74 31.8	132 56.7
	50歳代	245 100.0	62 25.3	8 3.3	10 4.1	18 7.3	14 5.7	8 3.3	7 2.9	5 2.0	27 11.0	86 35.1	147 60.0
	60歳代	342 100.0	94 27.5	9 2.6	18 5.3	12 3.5	16 4.7	2 0.6	2 0.6	5 1.5	40 11.7	109 31.9	202 59.1
	70歳以上	470 100.0	92 19.6	9 1.9	17 3.6	9 1.9	47 10.0	3 0.6	1 0.2	6 1.3	59 12.6	99 21.1	223 47.4
	居 住 地 区	緑地区	208 100.0	30 14.4	6 2.9	13 6.3	10 4.8	16 7.7	9 4.3	12 5.8	1 0.5	29 13.9	62 29.8
西淡地区		324 100.0	90 27.8	6 1.9	14 4.3	21 6.5	20 6.2	9 2.8	15 4.6	3 0.9	45 13.9	82 25.3	181 55.9
三原地区		514 100.0	106 20.6	19 3.7	15 2.9	27 5.3	32 6.2	3 0.6	29 5.6	7 1.4	76 14.8	170 33.1	287 55.8
南淡地区		496 100.0	123 24.8	19 3.8	18 3.6	19 3.8	29 5.8	13 2.6	17 3.4	7 1.4	70 14.1	145 29.2	270 54.4
職 業	自営業・自由業	186 100.0	91 48.9	4 2.2	5 2.7	11 5.9	10 5.4	1 0.5	9 4.8	1 0.5	27 14.5	55 29.6	99 53.2
	会社員・公務員など (給与所得者)	451 100.0	69 15.3	15 3.3	14 3.1	40 8.9	14 3.1	11 2.4	30 6.7	8 1.8	86 19.1	154 34.1	293 65.0
	農林漁業	232 100.0	93 40.1	1 0.4	13 5.6	5 2.2	14 6.0	3 1.3	4 1.7	1 0.4	27 11.6	44 19.0	113 48.7
	パートタイマー・ アルバイト	202 100.0	51 25.2	8 4.0	10 5.0	15 7.4	12 5.9	4 2.0	19 9.4	3 1.5	14 6.9	74 36.6	129 63.9
	主婦(夫)	156 100.0	20 12.8	3 1.9	4 2.6	4 2.6	13 8.3	3 1.9	10 6.4	1 0.6	20 12.8	48 30.8	84 53.8
	学生	31 100.0	3 9.7	5 16.1	2 6.5	0 0.0	1 3.2	8 25.8	0 0.0	0 0.0	8 25.8	16 51.6	16 51.6
	無職	247 100.0	16 6.5	13 5.3	9 3.6	1 0.4	29 11.7	4 1.6	0 0.0	4 1.6	35 14.2	57 23.1	108 43.7
	その他	36 100.0	5 13.9	2 5.6	3 8.3	1 2.8	5 13.9	0 0.0	1 2.8	0 0.0	4 11.1	11 30.6	14 38.9

上段:人 下段:%		合計	問17 新型コロナウイルスにより影響があったこと									
			趣味活動 の機会の 減少	通院や買 物に行き にくい	地域での 付き合い ・交流の 減少	衛生用品 (マスク・ 消毒液)の 確保が困 難	風評被害 ・差別・嫌 がっている	コロナ関 連の各種 支援策が わからない	コロナ関 連での相 談先がわ からない	特に困っ ているこ とはない	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	335 21.5	405 26.0	431 27.7	64 4.1	7 0.4	87 5.6	21 1.3	53 3.4	20 1.3	72 4.6
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	27 26.7	32 31.7	11 10.9	5 5.0	1 1.0	2 2.0	0 0.0	4 4.0	0 0.0	1 1.0
	30歳代	152 100.0	36 23.7	47 30.9	15 9.9	5 3.3	2 1.3	2 1.3	0 0.0	4 2.6	2 1.3	4 2.6
	40歳代	233 100.0	45 19.3	58 24.9	47 20.2	15 6.4	1 0.4	14 6.0	3 1.3	8 3.4	5 2.1	6 2.6
	50歳代	245 100.0	50 20.4	64 26.1	54 22.0	14 5.7	0 0.0	17 6.9	6 2.4	7 2.9	3 1.2	8 3.3
	60歳代	342 100.0	75 21.9	96 28.1	117 34.2	14 4.1	0 0.0	20 5.8	3 0.9	10 2.9	3 0.9	8 2.3
	70歳以上	470 100.0	101 21.5	106 22.6	180 38.3	11 2.3	3 0.6	31 6.6	9 1.9	20 4.3	7 1.5	41 8.7
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	54 26.0	66 31.7	51 24.5	9 4.3	0 0.0	14 6.7	4 1.9	6 2.9	1 0.5	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	51 15.7	99 30.6	97 29.9	10 3.1	0 0.0	13 4.0	2 0.6	8 2.5	2 0.6	18 5.6
	三原地区	514 100.0	113 22.0	107 20.8	146 28.4	27 5.3	3 0.6	31 6.0	9 1.8	19 3.7	12 2.3	23 4.5
	南淡地区	496 100.0	116 23.4	131 26.4	132 26.6	18 3.6	4 0.8	27 5.4	6 1.2	19 3.8	5 1.0	22 4.4
職 業	自営業・自由業	186 100.0	29 15.6	36 19.4	47 25.3	7 3.8	0 0.0	16 8.6	3 1.6	4 2.2	2 1.1	12 6.5
	会社員・公務員など (給与所得者)	451 100.0	122 27.1	114 25.3	101 22.4	25 5.5	4 0.9	20 4.4	4 0.9	15 3.3	6 1.3	12 2.7
	農林漁業	232 100.0	35 15.1	61 26.3	112 48.3	6 2.6	0 0.0	16 6.9	2 0.9	3 1.3	3 1.3	12 5.2
	パートタイマー・ アルバイト	202 100.0	40 19.8	58 28.7	39 19.3	6 3.0	0 0.0	9 4.5	2 1.0	3 1.5	1 0.5	2 1.0
	主婦(夫)	156 100.0	38 24.4	55 35.3	41 26.3	7 4.5	0 0.0	10 6.4	3 1.9	4 2.6	2 1.3	6 3.8
	学生	31 100.0	7 22.6	7 22.6	5 16.1	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 6.5	0 0.0	0 0.0
	無職	247 100.0	55 22.3	58 23.5	72 29.1	9 3.6	3 1.2	10 4.0	7 2.8	21 8.5	3 1.2	24 9.7
	その他	36 100.0	6 16.7	11 30.6	9 25.0	1 2.8	0 0.0	5 13.9	0 0.0	1 2.8	3 8.3	1 2.8

問 18 新型コロナウイルスと共存していく上で重要な項目 (SA)

【全体】

○「手洗い、手指消毒、咳エチケット・マスク着用、3密（密集、密接、密閉）の回避」60.4%が最も多く、次いで「医療体制の強化やワクチン接種」26.1%、「働き方の変容と対応（テレワーク、時差出勤など）」2.4%となっています。

【年齢別】

○“10 歳・20 歳代”では「働き方の変容と対応（テレワーク、時差出勤など）」（12.9%）が、全体と比べて 10.5 ポイント高くなっています。

○“50 歳代”では「医療体制の強化やワクチン接種」（34.3%）が、全体と比べて 8.2 ポイント高くなっています。

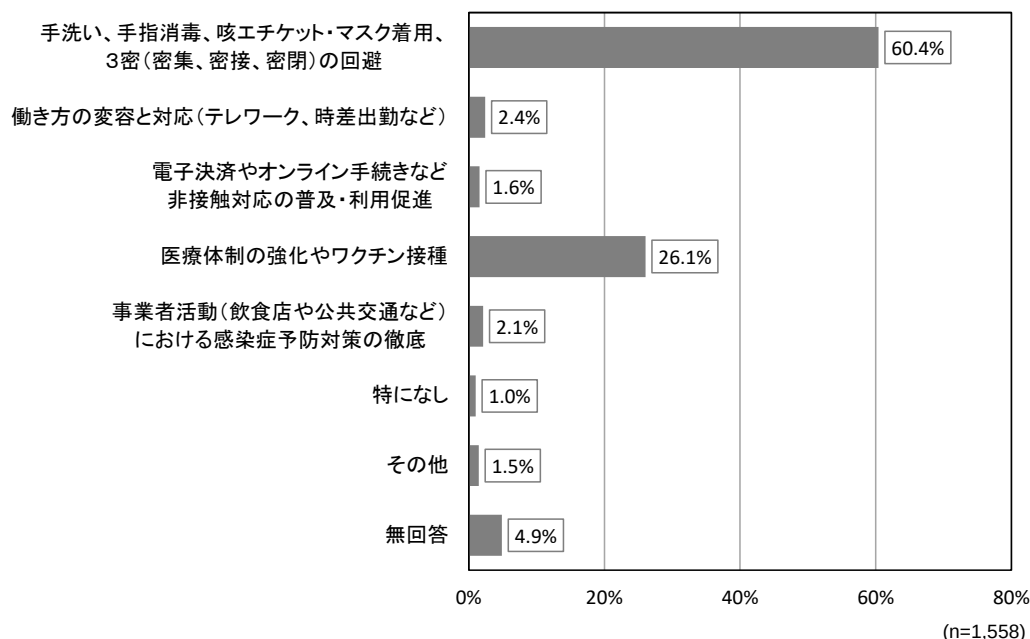
【居住地区別】

○すべての居住地区で「手洗い、手指消毒、咳エチケット・マスク着用、3密（密集、密接、密閉）の回避」が最も多くなっています。

【職業別】

○“学生”では「手洗い、手指消毒、咳エチケット・マスク着用、3密（密集、密接、密閉）の回避」（38.7%）が全体と比べて 21.7 ポイント低い一方、「働き方の変容と対応（テレワーク、時差出勤など）」（16.1%）が 13.7 ポイント高くなっています。

○“会社員・公務員など（給与所得者）”“農林漁業”“学生”では「医療体制の強化やワクチン接種」が他の職業に比べてやや高く、約3割となっています。



問 18 その他の回答例	回答数(件)
健康管理・意識	6
風評被害への対策・偏見をなくす	5
正確な情報を得る	3
各種支援の拡充	2

		合計	問18 新型コロナウイルスと共存していく上で重要な項目							
			手洗い、手指消毒、咳エチケット・マスク着用、3密（密集、密接、密閉）の回避	働き方の変容と対応（テレワーク、時差出勤など）	電子決済やオンライン手続きなど非接触対応の普及・利用促進	医療体制の強化やワクチン接種	事業者活動（飲食店や公共交通など）における感染症予防対策の徹底	特になし	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	941 60.4	38 2.4	25 1.6	406 26.1	33 2.1	16 1.0	23 1.5	76 4.9
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	54 53.5	13 12.9	3 3.0	23 22.8	3 3.0	1 1.0	4 4.0	0 0.0
	30歳代	152 100.0	83 54.6	9 5.9	7 4.6	34 22.4	7 4.6	3 2.0	5 3.3	4 2.6
	40歳代	233 100.0	136 58.4	5 2.1	5 2.1	59 25.3	6 2.6	3 1.3	3 1.3	16 6.9
	50歳代	245 100.0	136 55.5	6 2.4	2 0.8	84 34.3	4 1.6	1 0.4	2 0.8	10 4.1
	60歳代	342 100.0	208 60.8	3 0.9	4 1.2	101 29.5	6 1.8	1 0.3	6 1.8	13 3.8
	70歳以上	470 100.0	316 67.2	2 0.4	4 0.9	102 21.7	6 1.3	7 1.5	3 0.6	30 6.4
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	123 59.1	6 2.9	3 1.4	61 29.3	4 1.9	1 0.5	2 1.0	8 3.8
	西淡地区	324 100.0	202 62.3	7 2.2	6 1.9	82 25.3	7 2.2	3 0.9	5 1.5	12 3.7
	三原地区	514 100.0	299 58.2	14 2.7	8 1.6	144 28.0	13 2.5	4 0.8	5 1.0	27 5.3
	南淡地区	496 100.0	308 62.1	11 2.2	8 1.6	116 23.4	8 1.6	8 1.6	11 2.2	26 5.2
職 業	自営業・自由業	186 100.0	118 63.4	5 2.7	1 0.5	41 22.0	6 3.2	1 0.5	2 1.1	12 6.5
	会社員・公務員など（給与所得者）	451 100.0	241 53.4	15 3.3	13 2.9	144 31.9	9 2.0	2 0.4	9 2.0	18 4.0
	農林漁業	232 100.0	135 58.2	3 1.3	2 0.9	71 30.6	3 1.3	2 0.9	3 1.3	13 5.6
	パートタイマー・アルバイト	202 100.0	137 67.8	5 2.5	1 0.5	43 21.3	7 3.5	4 2.0	1 0.5	4 2.0
	主婦（夫）	156 100.0	107 68.6	0 0.0	3 1.9	35 22.4	4 2.6	3 1.9	0 0.0	4 2.6
	学生	31 100.0	12 38.7	5 16.1	2 6.5	9 29.0	1 3.2	0 0.0	2 6.5	0 0.0
	無職	247 100.0	161 65.2	4 1.6	3 1.2	53 21.5	1 0.4	4 1.6	3 1.2	18 7.3
	その他	36 100.0	20 55.6	1 2.8	0 0.0	8 22.2	0 0.0	0 0.0	3 8.3	4 11.1

・南あわじ市の広報活動について

問 19 南あわじ市の情報の入手方法

(MA/○は3つまで)

【全体】

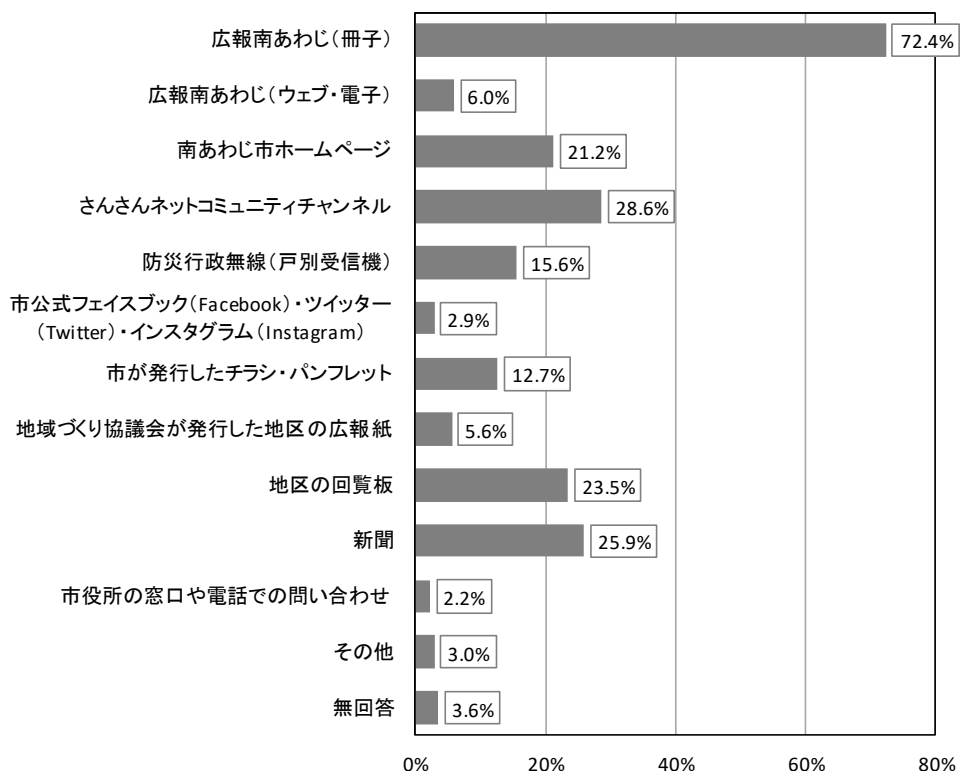
- 「広報南あわじ(冊子)」72.4%が最も多く、次いで「さんさんネットコミュニティチャンネル」28.6%、「新聞」25.9%となっています。

【年齢別】

- “10 歳・20 歳代”では「広報南あわじ(冊子)」は全体平均の 10 ポイント低くなっていることをはじめ、紙媒体全体が低くなっています。
- 「南あわじ市ホームページ」は年代が低くなるにつれて高くなる傾向にあり、“10 歳・20 歳代”“30 歳代”では3割以上で、全体と比べて 10 ポイント以上高くなっています。
- 「さんさんネットコミュニティチャンネル」は“10 歳・20 歳代”“30 歳代”では、全体平均に比べ 10 ポイント以上低くなっています。
- 「防災行政無線(戸別受信機)」「市が発行したチラシ・パンフレット」「地区の回覧板」「新聞」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

【居住地区別】

- すべての居住地区で「広報南あわじ(冊子)」が最も多くなっています。



問 19 その他の回答例	回答数(件)
家族・知人・近所の人から	13
ひょうご防災ネット(アプリ)	2
インターネット	2

(n=1,558)

上段:人 下段:%		合計	問19 南あわじ市の情報の入手方法						
			広報南あわじ（冊子）	広報南あわじ（ウェブ・電子）	南あわじ市ホームページ	さんさんネットコミュニティチャンネル	防災行政無線（戸別受信機）	市公式フェイスブック（Facebook）・ツイッター（Twitter）・インスタグラム（Instagram）	市が発行したチラシ・パンフレット
全 体		1,558 100.0	1128 72.4	93 6.0	331 21.2	446 28.6	243 15.6	45 2.9	198 12.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	63 62.4	6 5.9	32 31.7	10 9.9	5 5.0	2 2.0	8 7.9
	30歳代	152 100.0	111 73.0	16 10.5	51 33.6	27 17.8	13 8.6	11 7.2	12 7.9
	40歳代	233 100.0	160 68.7	15 6.4	65 27.9	55 23.6	23 9.9	17 7.3	20 8.6
	50歳代	245 100.0	172 70.2	13 5.3	65 26.5	47 19.2	35 14.3	8 3.3	29 11.8
	60歳代	342 100.0	274 80.1	19 5.6	73 21.3	117 34.2	69 20.2	4 1.2	47 13.7
	70歳以上	470 100.0	341 72.6	23 4.9	43 9.1	185 39.4	97 20.6	3 0.6	78 16.6
		208 100.0	140 67.3	11 5.3	35 16.8	55 26.4	25 12.0	4 1.9	36 17.3
居 住 地 区	緑地区	324 100.0	247 76.2	22 6.8	61 18.8	97 29.9	47 14.5	11 3.4	47 14.5
	西淡地区	514 100.0	378 73.5	29 5.6	115 22.4	146 28.4	81 15.8	17 3.3	64 12.5
	三原地区	496 100.0	357 72.0	30 6.0	117 23.6	144 29.0	88 17.7	13 2.6	49 9.9
	南淡地区								

上段:人 下段:%		合計	問19 南あわじ市の情報の入手方法				
			地域づくり協議会が発行した地区の広報紙	地区の回覧板	新聞	市役所の窓口や電話での問い合わせ	その他
全 体		1,558 100.0	87 5.6	366 23.5	404 25.9	35 2.2	46 3.0
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	1 1.0	6 5.9	18 17.8	0 0.0	3 3.0
	30歳代	152 100.0	9 5.9	15 9.9	28 18.4	9 5.9	2 1.3
	40歳代	233 100.0	16 6.9	51 21.9	52 22.3	5 2.1	7 3.0
	50歳代	245 100.0	5 2.0	52 21.2	67 27.3	6 2.4	6 2.4
	60歳代	342 100.0	26 7.6	106 31.0	92 26.9	8 2.3	6 1.8
	70歳以上	470 100.0	29 6.2	134 28.5	142 30.2	7 1.5	29 6.2
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	9 4.3	54 26.0	71 34.1	4 1.9	4 1.9
	西淡地区	324 100.0	28 8.6	72 22.2	82 25.3	2 0.6	14 4.3
	三原地区	514 100.0	25 4.9	108 21.0	129 25.1	11 2.1	18 3.5
	南淡地区	496 100.0	23 4.6	130 26.2	116 23.4	18 3.6	17 3.4

問 19- (1) 情報の入手方法を選んだ理由

(SA)

※問 19- (1) で 1 つでも選択された方のみ

【全体】

- 「自宅など自分の手元に届けられる」36.8%が最も多く、次いで「曜日や時間に関わらず、いつでも情報を得ることができる」17.6%、「内容が分かりやすく、すぐに理解することができる」16.6%となっています。

【年齢別】

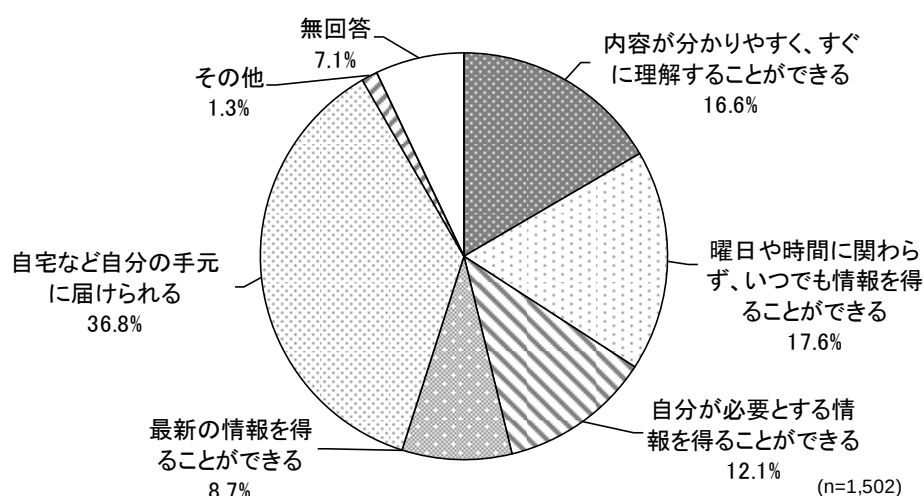
- “30 歳代”では「曜日や時間に関わらず、いつでも情報を得ることができる」(22.7%)が、全体に比べて 5.1 ポイント高くなっています。
- “70 歳以上”では「内容が分かりやすく、すぐに理解することができる」(22.4%)が、全体に比べて 5.8 ポイント高くなっています。

【居住地区別】

- すべての居住地区で「自宅など自分の手元に届けられる」が多くなっています。

【情報の入手方法別】

- ネット媒体(“広報南あわじ(ウェブ・電子)”“南あわじ市ホームページ”“市公式フェイスブック(Facebook)・ツイッター(Twitter)・インスタグラム(Instagram)”)では、「曜日や時間に関わらず、いつでも情報を得ることができる」が最も多く、いつでもどこでも情報にアクセスできる利便性により選ばれていることがわかります。
- 紙媒体(“広報南あわじ(冊子)”“市が発行したチラシ・パンフレット”“地域づくり協議会が発行した地区の広報紙”“地区の回覧板”“新聞”)、“さんさんネットコミュニティチャンネル”“防災行政無線(戸別受信機)”では、「自宅など自分の手元に届けられる」が最も多く、その確実性により選ばれていることがわかります。
- ネット環境は、「最新の情報を得ることができる」の理由で選ばれる傾向にあります。
- “市役所の窓口や電話での問い合わせ”では、「自分が必要とする情報を得ることができる」が最も多くなっています。



問 19(1) その他の回答例	回答数(件)
電子機器の使用方法が分からない・難しいため	3

上段:人 下段:%		合計	19- (1) 情報の入手方法を選んだ理由						
			内容が分かりやすく、すぐに理解することができる	曜日や時間に関わらず、いつでも情報を得ることができる	自分が必要とする情報を得ることができる	最新の情報を得ることができる	自宅など自分の手元に届けられる	その他	無回答
全 体		1,502 100.0	249 16.6	264 17.6	181 12.1	131 8.7	552 36.8	19 1.3	106 7.1
年 齢	10歳・20歳代	98 100.0	13 13.3	17 17.3	9 9.2	7 7.1	44 44.9	0 0.0	8 8.2
	30歳代	150 100.0	23 15.3	34 22.7	24 16.0	12 8.0	46 30.7	2 1.3	9 6.0
	40歳代	226 100.0	29 12.8	41 18.1	26 11.5	22 9.7	87 38.5	4 1.8	17 7.5
	50歳代	239 100.0	35 14.6	44 18.4	35 14.6	14 5.9	93 38.9	5 2.1	13 5.4
	60歳代	336 100.0	48 14.3	56 16.7	40 11.9	30 8.9	138 41.1	3 0.9	21 6.3
	70歳以上	441 100.0	99 22.4	71 16.1	47 10.7	44 10.0	140 31.7	5 1.1	35 7.9
	居 住 地 区	緑地区	204 100.0	35 17.2	36 17.6	22 10.8	17 8.3	68 33.3	3 1.5
西淡地区		310 100.0	53 17.1	57 18.4	37 11.9	20 6.5	120 38.7	3 1.0	20 6.5
三原地区		496 100.0	82 16.5	78 15.7	57 11.5	47 9.5	199 40.1	6 1.2	27 5.4
南淡地区		479 100.0	77 16.1	93 19.4	64 13.4	44 9.2	160 33.4	7 1.5	34 7.1
情 報 の 入 手 方 法	広報南あわじ（冊子）	1128 100.0	213 18.9	155 13.7	125 11.1	94 8.3	488 43.3	7 0.6	46 4.1
	広報南あわじ（ウェブ・電子）	93 100.0	11 11.8	36 38.7	15 16.1	12 12.9	10 10.8	2 2.2	7 7.5
	南あわじ市ホームページ	331 100.0	41 12.4	117 35.3	71 21.5	33 10.0	45 13.6	2 0.6	22 6.6
	さんさんネット	446 100.0	89 20.0	110 24.7	53 11.9	47 10.5	113 25.3	3 0.7	31 7.0
	コミュニティチャンネル	243 100.0	41 16.9	42 17.3	28 11.5	25 10.3	93 38.3	2 0.8	12 4.9
	防災行政無線（戸別受信機）	45 100.0	10 22.2	13 28.9	4 8.9	9 20.0	6 13.3	0 0.0	3 6.7
	市公式フェイスブック（Facebook）・ ツイッター（Twitter）・インスタグラム	198 100.0	29 14.6	29 14.6	23 11.6	16 8.1	85 42.9	1 0.5	15 7.6
	市が発行したチラシ・ パンフレット	87 100.0	13 14.9	15 17.2	9 10.3	8 9.2	38 43.7	0 0.0	4 4.6
	地域づくり協議会が発行した地区の広報紙	366 100.0	61 16.7	44 12.0	33 9.0	23 6.3	175 47.8	4 1.1	26 7.1
	新聞	404 100.0	72 17.8	40 9.9	47 11.6	48 11.9	169 41.8	9 2.2	19 4.7
	市役所の窓口や電話での問い合わせ	35 100.0	7 20.0	4 11.4	15 42.9	2 5.7	4 11.4	0 0.0	3 8.6
	その他	46 100.0	5 10.9	4 8.7	6 13.0	1 2.2	7 15.2	9 19.6	14 30.4

問 20 広報南あわじの利用状況

(SA)

【全体】

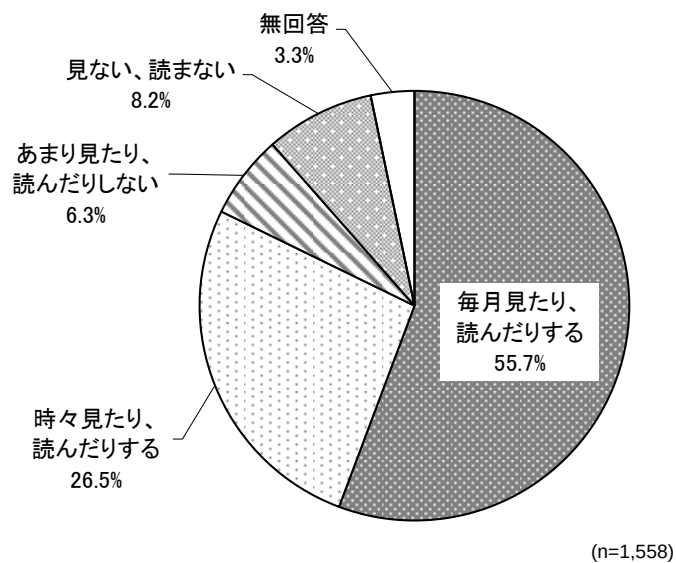
- 「毎月見たり、読んだりする」55.7%が最も多く、次いで「時々見たり、読んだりする」26.5%、「見ない、読まない」8.2%となっています。

【年齢別】

- 30 歳代以上では「毎月見たり、読んだりする」が最も多く、“60 歳代”“70 歳以上”では6割以上となっており、特に高い年代で定期的に読まれていることがわかります。
- “10 歳・20 歳代”では「時々見たり、読んだりする」が最も多く、「見ない、読まない」(21.8%)についても、全体に比べて13.6ポイント高くなっています。
- 低い年齢ほど「見ない、読まない」割合が高くなっており、若い世代での広報誌離れが伺えます。

【居住地区別】

- すべての地区で「毎月見たり、読んだりする」が最も多くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問20 広報南あわじの利用状況				
			毎月見たり、読んだりする	時々見たり、読んだりする	あまり見たり、読んだりしない	見ない、読まない	無回答
全 体		1,558 100.0	868 55.7	413 26.5	98 6.3	128 8.2	51 3.3
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	24 23.8	43 42.6	11 10.9	22 21.8	1 1.0
	30歳代	152 100.0	76 50.0	48 31.6	9 5.9	19 12.5	0 0.0
	40歳代	233 100.0	114 48.9	60 25.8	22 9.4	34 14.6	3 1.3
	50歳代	245 100.0	117 47.8	83 33.9	25 10.2	16 6.5	4 1.6
	60歳代	342 100.0	214 62.6	85 24.9	16 4.7	15 4.4	12 3.5
	70歳以上	470 100.0	316 67.2	90 19.1	15 3.2	21 4.5	28 6.0
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	102 49.0	63 30.3	15 7.2	24 11.5	4 1.9
	西淡地区	324 100.0	177 54.6	92 28.4	24 7.4	18 5.6	13 4.0
	三原地区	514 100.0	297 57.8	132 25.7	27 5.3	42 8.2	16 3.1
	南淡地区	496 100.0	286 57.7	121 24.4	32 6.5	42 8.5	15 3.0

問 20- (1) 広報南あわじ市を見たり、読んだりしない理由 (SA)

※問 20 で「3.」または「4.」を選択された方のみ

【全体】

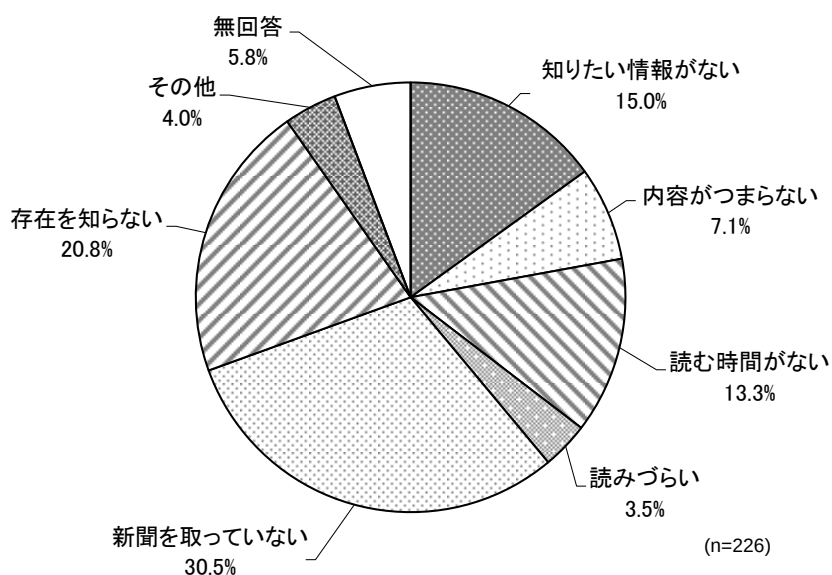
- 「新聞を取っていない」30.5%が最も多く、次いで「存在を知らない」20.8%、「知りたい情報がない」15.0%となっています。
- 「新聞を取っていない」を選んだ方はウェブ・電子版を知らない可能性が考えられるため、様々な媒体で発信していることの周知が必要と思われます。

【年齢別】

- 40 歳代以上では「新聞を取っていない」が最も多くなっています。
- “10 歳・20 歳代”“30 歳代”では「存在を知らない」が最も多くなっており、若い年代に向けては、そもそもの存在周知が課題であると考えられます。
- “10 歳・20 歳代”では「知りたい情報がない」(24.2%)が他の年代に比べて 9.2 ポイント高くなっており、住民のニーズに即した情報発信も必要と思われます。

【居住地区別】

- すべての居住地区で「新聞を取っていない」が最も多くなっています。
- “緑地区”では全体に比べて、「知りたい情報がない」(7.7%)が 7.3 ポイント低い一方、「存在を知らない」(28.2%)が 7.4 ポイント高くなっており、存在周知が課題であると考えられます。



上段:人 下段:%		合計	問20－(1) 広報南あわじ市を見たり、読んだりしない理由							
			知りたい 情報がな い	内容が つ まらない	読む時間 がない	読みづ ら い	新聞を 取って いない	存在を 知 らない	その他	無回答
全 体		226 100.0	34 15.0	16 7.1	30 13.3	8 3.5	69 30.5	47 20.8	9 4.0	13 5.8
年 齢	10歳・20歳代	33 100.0	8 24.2	2 6.1	3 9.1	0 0.0	8 24.2	10 30.3	1 3.0	1 3.0
	30歳代	28 100.0	5 17.9	1 3.6	5 17.9	1 3.6	6 21.4	8 28.6	1 3.6	1 3.6
	40歳代	56 100.0	11 19.6	4 7.1	7 12.5	0 0.0	17 30.4	11 19.6	2 3.6	4 7.1
	50歳代	41 100.0	2 4.9	6 14.6	5 12.2	1 2.4	15 36.6	7 17.1	4 9.8	1 2.4
	60歳代	31 100.0	5 16.1	3 9.7	3 9.7	1 3.2	9 29.0	7 22.6	1 3.2	2 6.5
	70歳以上	36 100.0	3 8.3	0 0.0	7 19.4	5 13.9	13 36.1	4 11.1	0 0.0	4 11.1
居 住 地 区	緑地区	39 100.0	3 7.7	3 7.7	5 12.8	0 0.0	13 33.3	11 28.2	1 2.6	3 7.7
	西淡地区	42 100.0	8 19.0	3 7.1	4 9.5	4 9.5	12 28.6	6 14.3	0 0.0	5 11.9
	三原地区	69 100.0	12 17.4	2 2.9	11 15.9	1 1.4	23 33.3	15 21.7	2 2.9	3 4.3
	南淡地区	74 100.0	11 14.9	8 10.8	10 13.5	3 4.1	20 27.0	14 18.9	6 8.1	2 2.7

問 21 南あわじ市ホームページの閲覧状況

(SA)

【全体】

○「必要な情報を得たい時だけ見ている」43.7%が最も多く、次いで「見たことがない」22.1%、「ほとんど見ない」21.8%となっています。

【年齢別】

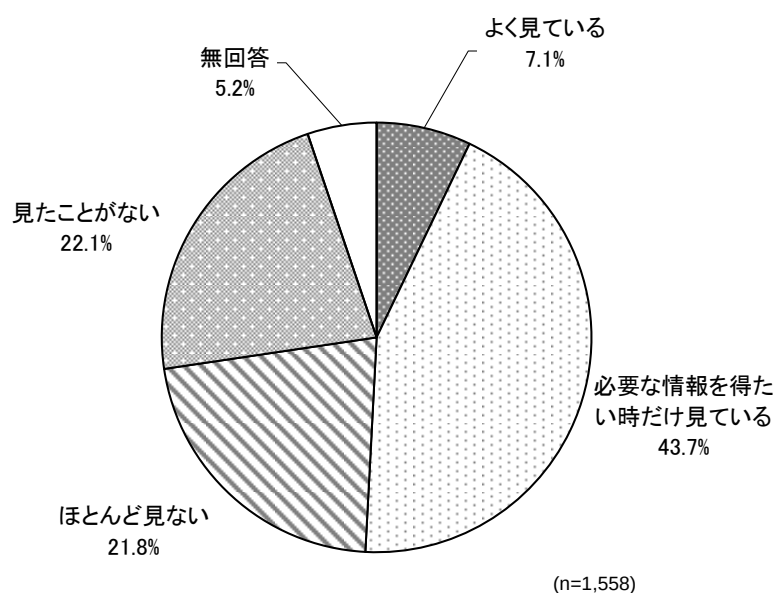
○60 歳代以下では「必要な情報を得たい時だけ見ている」が最も多くなっています。

○“70 歳以上”では「見たことがない」(31.1%)が最も多く、全体と比べて 9.0 ポイント高くなっています。また、“10 歳・20 歳代”でも比較的高くなっています。

○“30 歳代”では「必要な情報を得たい時だけみている」が6割を超える一方で、「見たことがない」(9.9%)が全体に比べて 12.2 ポイント低くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「必要な情報を得たい時だけ見ている」が最も多くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問21 南あわじ市ホームページの閲覧状況				
			よく見て いる	必要な情 報を得た い時だけ 見ている	ほとんど 見ない	見たこと がない	無回答
全 体		1,558 100.0	111 7.1	681 43.7	340 21.8	345 22.1	81 5.2
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	2 2.0	47 46.5	30 29.7	21 20.8	1 1.0
	30歳代	152 100.0	4 2.6	95 62.5	35 23.0	15 9.9	3 2.0
	40歳代	233 100.0	10 4.3	121 51.9	66 28.3	33 14.2	3 1.3
	50歳代	245 100.0	10 4.1	127 51.8	70 28.6	34 13.9	4 1.6
	60歳代	342 100.0	21 6.1	147 43.0	70 20.5	90 26.3	14 4.1
	70歳以上	470 100.0	62 13.2	143 30.4	66 14.0	146 31.1	53 11.3
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	7 3.4	95 45.7	48 23.1	51 24.5	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	18 5.6	144 44.4	66 20.4	78 24.1	18 5.6
	三原地区	514 100.0	33 6.4	237 46.1	110 21.4	108 21.0	26 5.1
	南淡地区	496 100.0	50 10.1	202 40.7	115 23.2	102 20.6	27 5.4

問 21- (1) 南あわじ市ホームページを見ない理由

(SA)

※問 21 で「3.」または「4.」を選択された方のみ

【全体】

○「インターネット環境がない」29.2%が最も多く、次いで「知りたい情報がない」19.7%、「存在を知らない」13.3%となっています。

【年齢別】

○50 歳代以下では「知りたい情報がない」が最も多く、住民のニーズに即した情報発信が課題とされます。

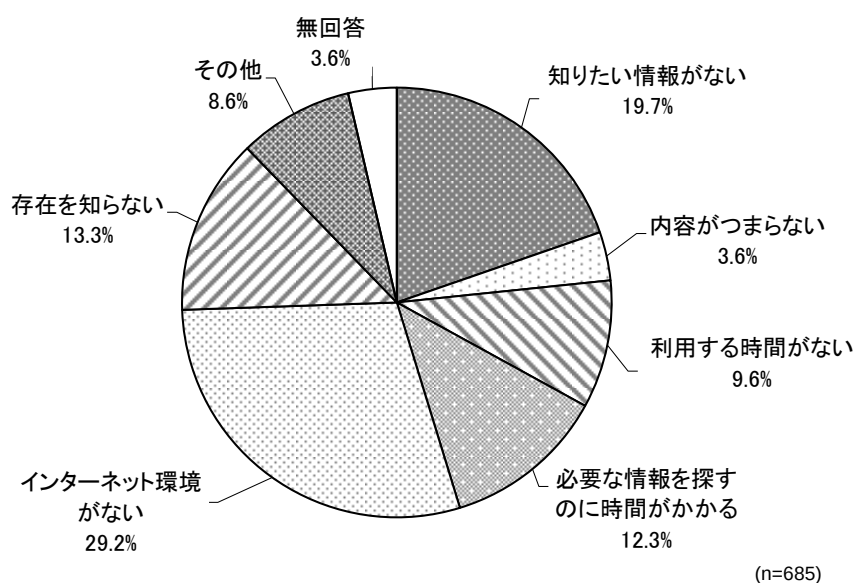
○50 歳代以下では「利用する時間がない」が多い傾向にあり、生産年齢層はホームページを利用する時間の確保が難しいことがわかります。

○“60 歳代”“70 歳以上”では「インターネット環境がない」が最も多く、特に“70 歳以上”では過半数となっています。このことから、インターネットを使わない高齢者への配慮も求められます。

○“10 歳・20 歳代”では「存在を知らない」(25.5%)が他の年代に比べて高く、若い年代に向けては、そもそもの存在周知も必要と思われます。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「インターネット環境がない」が最も多くなっています。



問 21 (1) その他の回答例	回答数 (件)
必要が無い・興味が無いため	18
パソコンが使えない・ホームページの使い方がわからないため	13
広報・他の情報の方が便利である	9

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問21－(1) 南あわじ市ホームページを見ない理由							
			知りたい 情報がな い	内容が つ まらない	利用する 時間 がな い	必要な情 報を探 すの に時間 がかか る	インター ネット環 境がない	存在を知 らない	その他	無回答
全 体		685 100.0	135 19.7	25 3.6	66 9.6	84 12.3	200 29.2	91 13.3	59 8.6	25 3.6
年 齢	10歳・20歳代	51 100.0	21 41.2	0 0.0	10 19.6	2 3.9	0 0.0	13 25.5	4 7.8	1 2.0
	30歳代	50 100.0	16 32.0	3 6.0	9 18.0	10 20.0	1 2.0	5 10.0	5 10.0	1 2.0
	40歳代	99 100.0	28 28.3	9 9.1	15 15.2	14 14.1	8 8.1	15 15.2	8 8.1	2 2.0
	50歳代	104 100.0	28 26.9	7 6.7	16 15.4	11 10.6	13 12.5	9 8.7	13 12.5	7 6.7
	60歳代	160 100.0	28 17.5	4 2.5	9 5.6	24 15.0	59 36.9	17 10.6	13 8.1	6 3.8
	70歳以上	212 100.0	13 6.1	2 0.9	7 3.3	22 10.4	115 54.2	30 14.2	16 7.5	7 3.3
	居住地区	緑地区	99 100.0	23 23.2	5 5.1	6 6.1	8 8.1	26 26.3	19 19.2	9 9.1
西淡地区	144 100.0	25 17.4	2 1.4	10 6.9	14 9.7	54 37.5	20 13.9	14 9.7	5 3.5	
三原地区	218 100.0	42 19.3	10 4.6	24 11.0	30 13.8	54 24.8	31 14.2	17 7.8	10 4.6	
南淡地区	217 100.0	44 20.3	8 3.7	26 12.0	32 14.7	62 28.6	19 8.8	19 8.8	7 3.2	

問 22 さんさんネットコミュニティチャンネルの視聴状況 (SA)

【全体】

○「ほとんど見ない」38.3%が最も多く、次いで「時々見る」38.2%、「あまり見ない」14.7%となっています。

【年齢別】

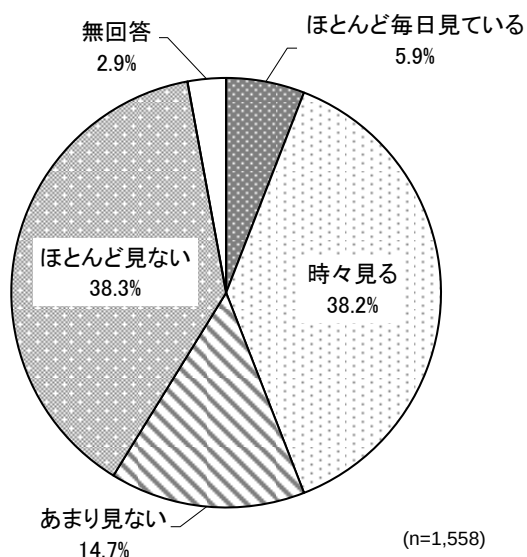
○50歳代以下では「ほとんど見ない」、「60歳代」「70歳以上」では「時々見る」が最も多くなり、高い年代の視聴率の高さが伺えます。

○「ほとんど見ない」は「10・20歳代」「50歳代」で特に高く、過半数となっています。

【居住地区別】

○“緑地区”“南淡地区”では「ほとんど見ない」、「西淡地区」「三原地区」では「時々見る」が最も多くなっています。

○「ほとんど見ない」は“緑地区”で特に高く、約半数となっています。



上段:人 下段:%		合計	問22 さんさんネットコミュニティチャンネルの視聴状況				
			ほとんど毎日見ている	時々見る	あまり見ない	ほとんど見ない	無回答
全 体		1,558 100.0	92 5.9	595 38.2	229 14.7	597 38.3	45 2.9
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	1 1.0	19 18.8	17 16.8	63 62.4	1 1.0
	30歳代	152 100.0	1 0.7	59 38.8	22 14.5	70 46.1	0 0.0
	40歳代	233 100.0	4 1.7	81 34.8	43 18.5	102 43.8	3 1.3
	50歳代	245 100.0	8 3.3	71 29.0	35 14.3	129 52.7	2 0.8
	60歳代	342 100.0	31 9.1	135 39.5	52 15.2	117 34.2	7 2.0
	70歳以上	470 100.0	45 9.6	224 47.7	59 12.6	113 24.0	29 6.2
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	10 4.8	60 28.8	29 13.9	103 49.5	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	20 6.2	143 44.1	58 17.9	93 28.7	10 3.1
	三原地区	514 100.0	30 5.8	206 40.1	79 15.4	191 37.2	8 1.6
	南淡地区	496 100.0	30 6.0	183 36.9	62 12.5	203 40.9	18 3.6

問 22- (1) さんさんネットコミュニティチャンネルを見ない理由 (SA)

※問 22 で「3.」または「4.」を選択された方のみ

【全体】

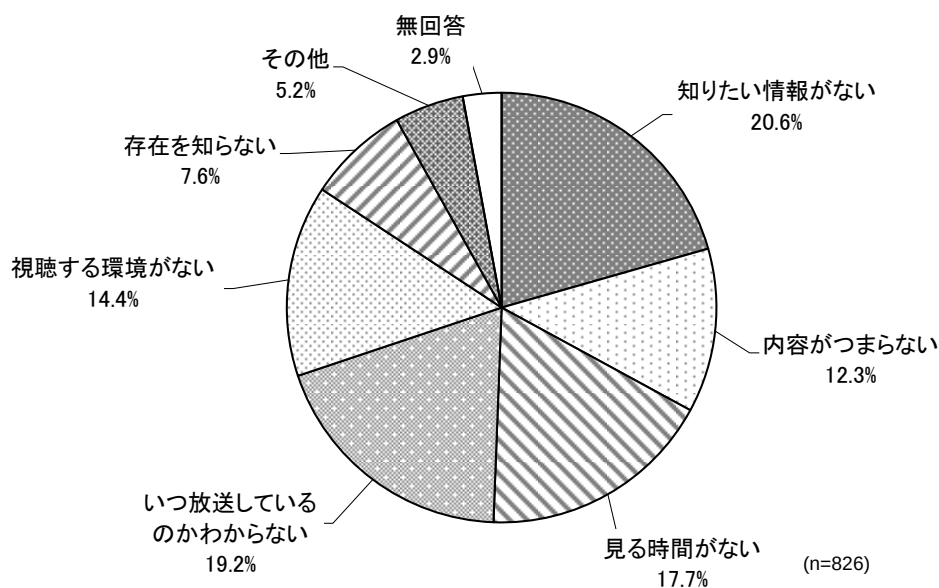
- 「知りたい情報がない」20.6%が最も多く、次いで「いつ放送しているのかわからない」19.2%、「見る時間がない」17.7%となっています。

【年齢別】

- “10 歳・20 歳代”“30 歳代”“50 歳代”では「知りたい情報がない」が最も多く、住民のニーズに即した情報発信が課題と思われます。
- “10 歳・20 歳代”“30 歳代”では、「存在を知らない」が他の年代に比べて高く、若い年代に向けては、そもそもの存在周知も必要と思われます。
- “70 歳以上”では「いつ放送しているのかわからない」(33.1%)が全体に比べて13.9ポイント高くなっており、高齢者層に向けた宣伝活動なども必要と思われます。

【居住地区別】

- “緑地区”では「知りたい情報がない」、「西淡地区”“三原地区”では「いつ放送しているのかわからない」、「南淡地区”では「視聴する環境がない」が最も多くなっています。



問 22(1) その他の回答例	回答数(件)
テレビを観る習慣が無い	7

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問22－(1) さんさんネットコミュニティチャンネルを見ない理由							
			知りたい 情報がな い	内容が つまら ない	見る時間 がない	いつ放 送して いるの かわか らない	視聴する 環境が ない	存在を知 らない	その他	無回答
全 体		826 100.0	170 20.6	102 12.3	146 17.7	159 19.2	119 14.4	63 7.6	43 5.2	24 2.9
年 齢	10歳・20歳代	80 100.0	21 26.3	7 8.8	12 15.0	12 15.0	6 7.5	19 23.8	2 2.5	1 1.3
	30歳代	92 100.0	24 26.1	6 6.5	17 18.5	15 16.3	10 10.9	14 15.2	5 5.4	1 1.1
	40歳代	145 100.0	27 18.6	22 15.2	39 26.9	19 13.1	20 13.8	4 2.8	10 6.9	4 2.8
	50歳代	164 100.0	40 24.4	30 18.3	37 22.6	27 16.5	18 11.0	6 3.7	5 3.0	1 0.6
	60歳代	169 100.0	33 19.5	24 14.2	25 14.8	28 16.6	35 20.7	10 5.9	11 6.5	3 1.8
	70歳以上	172 100.0	24 14.0	13 7.6	16 9.3	57 33.1	29 16.9	9 5.2	10 5.8	14 8.1
居 住 地 区	緑地区	132 100.0	34 25.8	19 14.4	19 14.4	19 14.4	18 13.6	13 9.8	9 6.8	1 0.8
	西淡地区	151 100.0	29 19.2	21 13.9	31 20.5	36 23.8	13 8.6	10 6.6	6 4.0	5 3.3
	三原地区	270 100.0	54 20.0	35 13.0	46 17.0	65 24.1	29 10.7	16 5.9	17 6.3	8 3.0
	南淡地区	265 100.0	50 18.9	27 10.2	50 18.9	37 14.0	58 21.9	22 8.3	11 4.2	10 3.8

問 23 南あわじ市に関して知りたい情報

(MA/○は3つまで)

【全体】

○「健康・福祉」32.8%が最も多く、次いで「年金・税・保険」32.6%、「新型コロナウイルス関連」29.8%となっています。

【年齢別】

○“10歳・20歳代”“40歳代”では「新型コロナウイルス関連」、「30歳代」では「子育て・教育」、「50歳代」では「年金・税・保険」、「60歳代」“70歳以上”では「健康・福祉」が最も多くなっています。

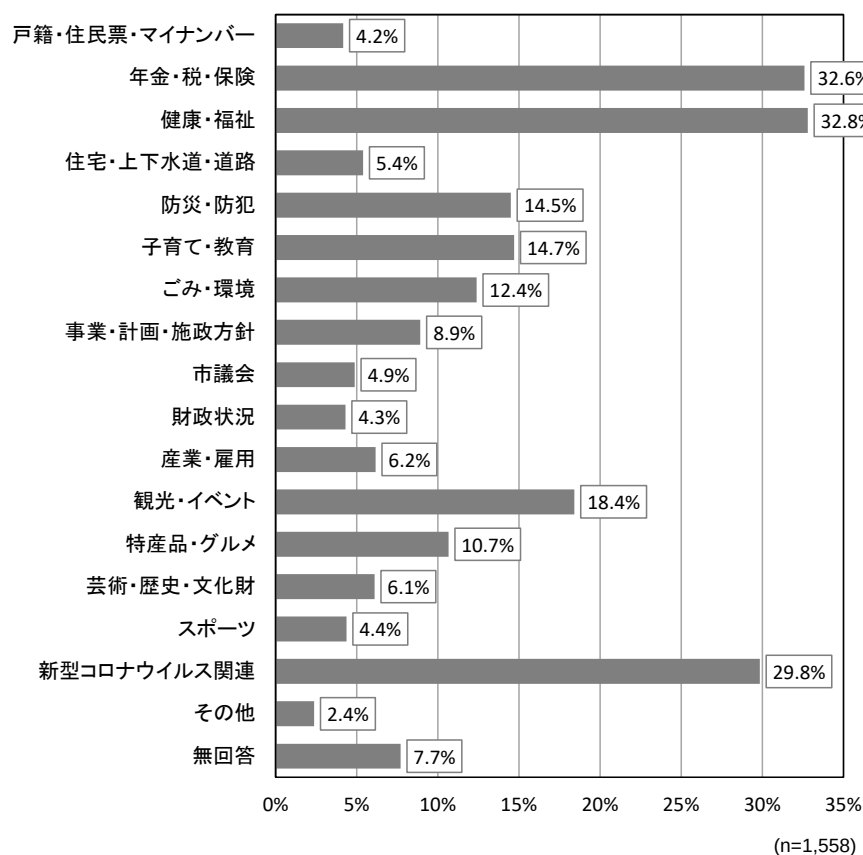
○「年金・税・保険」「新型コロナウイルス関連」は、すべての世代で20～30%前後となっており、関心の高さが伺えます。

○「健康・福祉」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。

○40歳代以下では「子育て・教育」が全体に比べて10ポイント以上高く、特に“30歳代”では過半数となっています。

【居住地区別】

○“緑地区”では「年金・税・保険」「新型コロナウイルス関連」、「西淡地区」「三原地区」では「健康・福祉」、「南淡地区」では「年金・税・保険」が最も多くなっています。



問 23 その他の回答例	回答数(件)
補助金の情報	3
地域活動の情報	2

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問23 南あわじ市に関して知りたい情報								
			戸籍・住 民票・マ イナン バー	年金・ 税・保険	健康・福 祉	住宅・上 下水道・ 道路	防災・防 犯	子育て・ 教育	ごみ・環 境	事業・計 画・施政 方針	市議会
全 体		1,558 100.0	65 4.2	508 32.6	511 32.8	84 5.4	226 14.5	229 14.7	193 12.4	139 8.9	76 4.9
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	6 5.9	26 25.7	18 17.8	7 6.9	13 12.9	28 27.7	9 8.9	9 8.9	2 2.0
	30歳代	152 100.0	10 6.6	48 31.6	30 19.7	9 5.9	19 12.5	85 55.9	17 11.2	7 4.6	2 1.3
	40歳代	233 100.0	13 5.6	73 31.3	59 25.3	9 3.9	33 14.2	75 32.2	22 9.4	21 9.0	10 4.3
	50歳代	245 100.0	13 5.3	86 35.1	63 25.7	18 7.3	32 13.1	12 4.9	33 13.5	27 11.0	7 2.9
	60歳代	342 100.0	11 3.2	130 38.0	142 41.5	17 5.0	52 15.2	16 4.7	61 17.8	36 10.5	16 4.7
	70歳以上	470 100.0	12 2.6	140 29.8	193 41.1	24 5.1	74 15.7	10 2.1	50 10.6	39 8.3	39 8.3
	居住地区	緑地区	208 100.0	10 4.8	66 31.7	58 27.9	12 5.8	32 15.4	46 22.1	24 11.5	22 10.6
	西淡地区	324 100.0	10 3.1	102 31.5	105 32.4	24 7.4	46 14.2	31 9.6	46 14.2	28 8.6	21 6.5
	三原地区	514 100.0	22 4.3	173 33.7	182 35.4	25 4.9	74 14.4	86 16.7	68 13.2	50 9.7	23 4.5
	南淡地区	496 100.0	23 4.6	161 32.5	160 32.3	23 4.6	72 14.5	62 12.5	53 10.7	39 7.9	21 4.2

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問23 南あわじ市に関して知りたい情報								
			財政状況	産業・雇 用	観光・イ ベント	特産品・ グルメ	芸術・歴 史・文化 財	スポーツ	新型コロ ナウイル ス関連	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	67 4.3	96 6.2	287 18.4	166 10.7	95 6.1	68 4.4	465 29.8	37 2.4	120 7.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	3 3.0	7 6.9	23 22.8	17 16.8	5 5.0	8 7.9	32 31.7	4 4.0	2 2.0
	30歳代	152 100.0	8 5.3	11 7.2	41 27.0	15 9.9	2 1.3	12 7.9	38 25.0	6 3.9	3 2.0
	40歳代	233 100.0	5 2.1	13 5.6	54 23.2	26 11.2	13 5.6	11 4.7	76 32.6	6 2.6	13 5.6
	50歳代	245 100.0	13 5.3	31 12.7	59 24.1	27 11.0	9 3.7	12 4.9	75 30.6	5 2.0	10 4.1
	60歳代	342 100.0	19 5.6	19 5.6	62 18.1	35 10.2	27 7.9	7 2.0	113 33.0	5 1.5	16 4.7
	70歳以上	470 100.0	19 4.0	14 3.0	44 9.4	46 9.8	39 8.3	17 3.6	127 27.0	11 2.3	72 15.3
	居住地区	緑地区	208 100.0	8 3.8	16 7.7	47 22.6	25 12.0	8 3.8	8 3.8	66 31.7	7 3.4
	西淡地区	324 100.0	17 5.2	17 5.2	56 17.3	42 13.0	17 5.2	13 4.0	95 29.3	4 1.2	29 9.0
	三原地区	514 100.0	18 3.5	26 5.1	104 20.2	49 9.5	34 6.6	26 5.1	151 29.4	13 2.5	30 5.8
	南淡地区	496 100.0	24 4.8	36 7.3	77 15.5	49 9.9	36 7.3	19 3.8	149 30.0	13 2.6	49 9.9

問 24 南あわじ市の広報活動についての満足度

(SA)

【全体】

○「どちらともいえない」37.0%が最も多く、次いで「やや満足」29.1%、「わからない」13.2%となっています。

○「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が 37.6%、「やや不十分」と「不十分」を合わせた『不十分』が 8.6%となっています。

【年齢別】

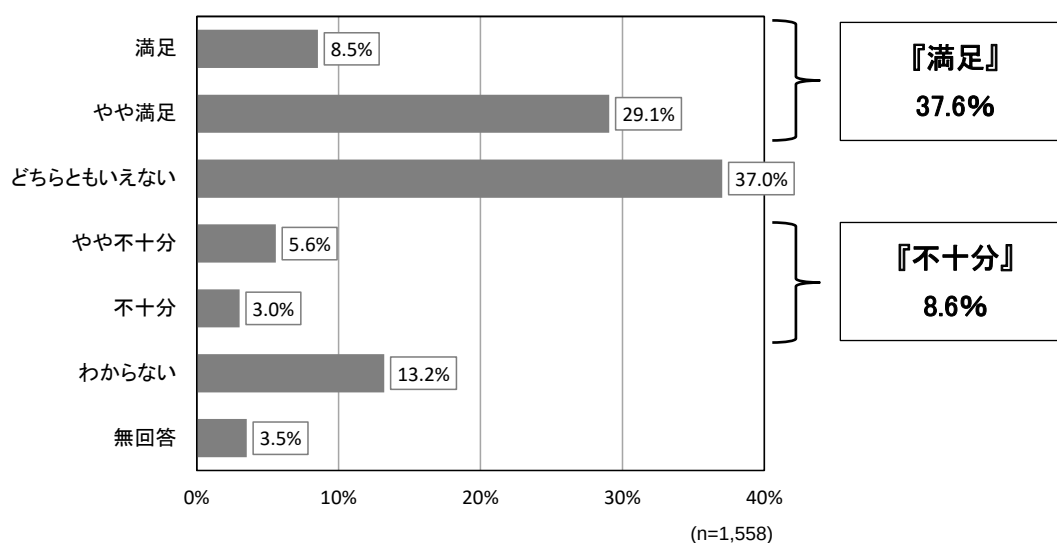
○10・20歳代～60歳代では「どちらともいえない」、「70歳以上」では「やや満足」が最も多くなっています。

○『満足』については、「70歳以上」が47.3%、『不十分』については、「40歳代」が13.3%で最も多くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「どちらともいえない」が最も多くなっています。

○『満足』については、「三原地区」が40.1%、『不十分』については、「緑地区」が10.6%で最も多くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問24 南あわじ市の広報活動についての満足度						
			満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不十分	不十分	わからない	無回答
全 体		1,558 100.0	133 8.5	453 29.1	577 37.0	87 5.6	47 3.0	206 13.2	55 3.5
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	10 9.9	26 25.7	35 34.7	7 6.9	2 2.0	21 20.8	0 0.0
	30歳代	152 100.0	11 7.2	41 27.0	56 36.8	7 4.6	4 2.6	32 21.1	1 0.7
	40歳代	233 100.0	13 5.6	63 27.0	84 36.1	23 9.9	8 3.4	38 16.3	4 1.7
	50歳代	245 100.0	14 5.7	65 26.5	102 41.6	9 3.7	15 6.1	39 15.9	1 0.4
	60歳代	342 100.0	24 7.0	95 27.8	152 44.4	23 6.7	9 2.6	28 8.2	11 3.2
	70歳以上	470 100.0	61 13.0	161 34.3	142 30.2	18 3.8	9 1.9	46 9.8	33 7.0
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	13 6.3	58 27.9	84 40.4	16 7.7	6 2.9	27 13.0	4 1.9
	西淡地区	324 100.0	21 6.5	90 27.8	133 41.0	17 5.2	6 1.9	43 13.3	14 4.3
	三原地区	514 100.0	55 10.7	151 29.4	178 34.6	34 6.6	15 2.9	71 13.8	10 1.9
	南淡地区	496 100.0	44 8.9	151 30.4	176 35.5	20 4.0	20 4.0	63 12.7	22 4.4

問 25 南あわじ市の広報活動についての要望

(SA)

【全体】

○「正確な情報を迅速に伝えてほしい」30.8%が最も多く、次いで「市からのお知らせが確実に伝わるようにしてほしい」25.2%、「今のままでよい」19.0%となっています。

【年齢別】

○“40 歳代”以外では「正確な情報を迅速に伝えてほしい」、「40 歳代」では「市からのお知らせが確実に伝わるようにしてほしい」が最も多くなっています。

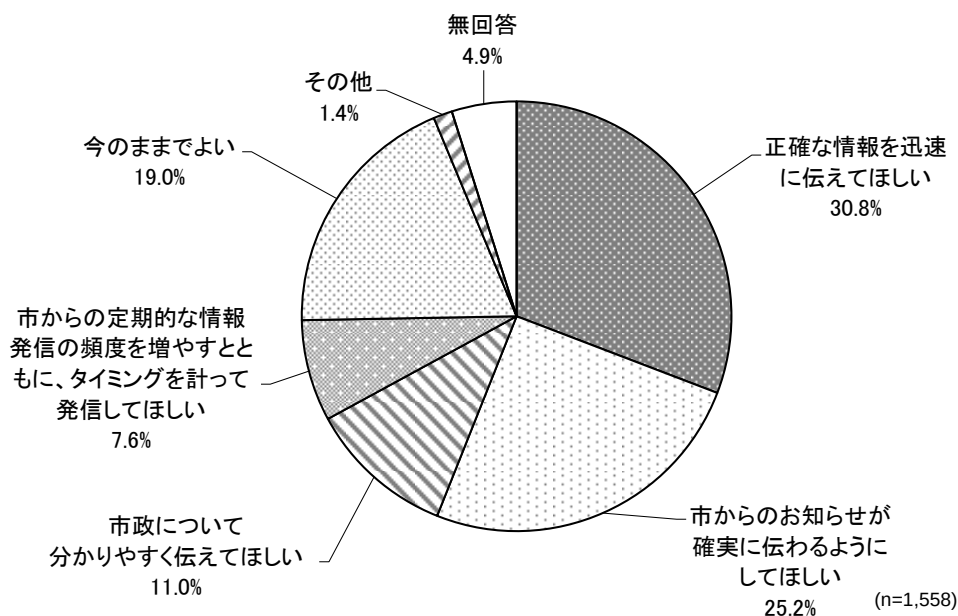
【居住地区別】

○すべての居住地区で「正確な情報を迅速に伝えてほしい」が最も多くなっています。

【広報活動の満足度別】

○“やや満足”“どちらともいえない”“不十分”“わからない”では「正確な情報を迅速に伝えてほしい」、「やや不十分」では「市からのお知らせが確実に伝わるようにしてほしい」が最も多くなっています。

○“満足”では「今のままでよい」(37.6%)が最も多く、全体と比べて18.6ポイント高くなっています。



問 25 その他の回答例	回答数(件)
コロナウイルスのワクチンに関する情報	2

上段:人 下段:%		合計	問25 南あわじ市の広報活動についての要望						
			正確な情報を迅速に伝えてほしい	市からのお知らせが確実に伝わるようにしてほしい	市政について分かりやすく伝えてほしい	市からの定期的な情報発信の頻度を増やすとともに、タイミングを計って発信してほしい	今のままでよい	その他	無回答
全 体		1,558 100.0	480 30.8	393 25.2	172 11.0	119 7.6	296 19.0	22 1.4	76 4.9
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	31 30.7	21 20.8	14 13.9	7 6.9	24 23.8	3 3.0	1 1.0
	30歳代	152 100.0	48 31.6	41 27.0	16 10.5	11 7.2	30 19.7	2 1.3	4 2.6
	40歳代	233 100.0	71 30.5	73 31.3	23 9.9	14 6.0	41 17.6	4 1.7	7 3.0
	50歳代	245 100.0	79 32.2	72 29.4	25 10.2	28 11.4	34 13.9	4 1.6	3 1.2
	60歳代	342 100.0	124 36.3	80 23.4	38 11.1	30 8.8	51 14.9	3 0.9	16 4.7
	70歳以上	470 100.0	125 26.6	103 21.9	54 11.5	28 6.0	115 24.5	6 1.3	39 8.3
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	69 33.2	60 28.8	23 11.1	17 8.2	28 13.5	5 2.4	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	103 31.8	77 23.8	44 13.6	26 8.0	52 16.0	5 1.5	17 5.2
	三原地区	514 100.0	159 30.9	141 27.4	51 9.9	45 8.8	97 18.9	3 0.6	18 3.5
	南淡地区	496 100.0	147 29.6	112 22.6	51 10.3	31 6.3	117 23.6	9 1.8	29 5.8
広 報 活 動 の 満 足 度	満足	133 100.0	37 27.8	24 18.0	16 12.0	4 3.0	50 37.6	1 0.8	1 0.8
	やや満足	453 100.0	141 31.1	119 26.3	48 10.6	34 7.5	101 22.3	4 0.9	6 1.3
	どちらともいえない	577 100.0	197 34.1	156 27.0	70 12.1	48 8.3	93 16.1	1 0.2	12 2.1
	やや不十分	87 100.0	22 25.3	30 34.5	16 18.4	12 13.8	5 5.7	1 1.1	1 1.1
	不十分	47 100.0	15 31.9	14 29.8	7 14.9	7 14.9	0 0.0	4 8.5	0 0.0
	わからない	206 100.0	64 31.1	47 22.8	13 6.3	13 6.3	42 20.4	11 5.3	16 7.8

問 26 マスメディアによる市の情報発信についての意識

(SA)

【全体】

○「もっと多く南あわじ市の魅力や情報について発信してほしい」36.1%が最も多く、次いで「南あわじ市の魅力や情報について、より伝わるような内容で発信してほしい」28.2%、「十分に発信されており、南あわじ市の魅力や情報がよく伝わる内容だと感じる」21.0%となっています。

○情報発信については、内容の精査に比べて、より頻度を増やしてほしいという要望が多いことがわかります。

【年齢別】

○“10・20 歳代”“30 歳代”では「十分に発信されており、南あわじ市の魅力や情報がよく伝わる内容だと感じる」が約3割で、他の年代に比べて高くなっています。

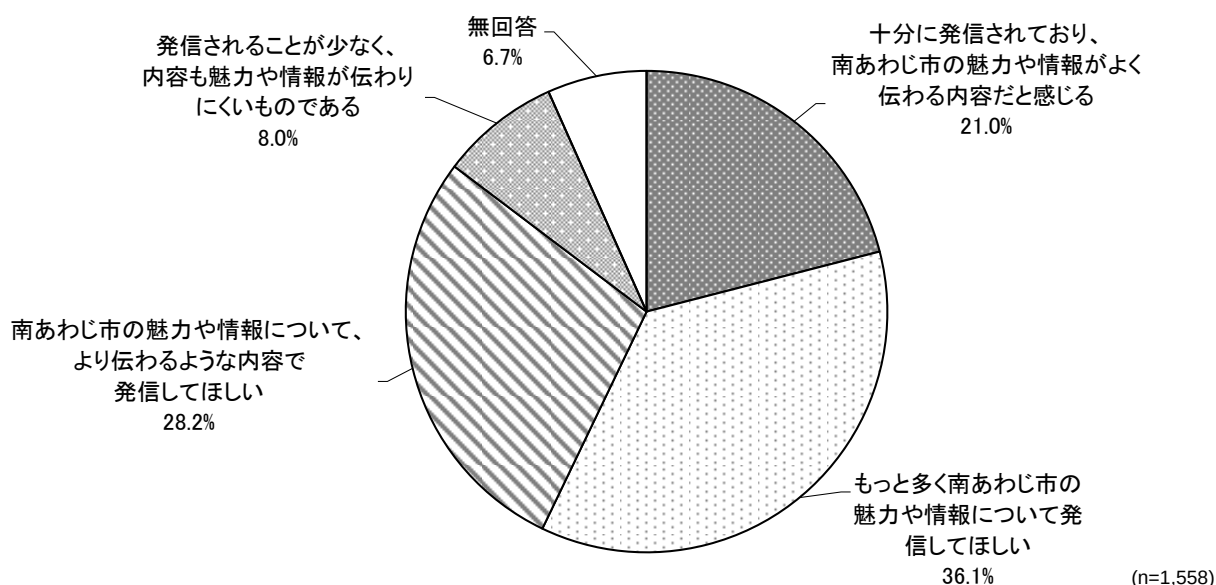
【居住地区別】

○すべての居住地区で「もっと多く南あわじ市の魅力や情報について発信してほしい」が最も多くなっています。

【広報活動の満足度別】

○“やや満足”“どちらともいえない”“やや不十分”では「もっと多く南あわじ市の魅力や情報について発信してほしい」、「不十分」では「発信されることが少なく、内容も魅力や情報が伝わりにくいものである」、「わからない」では「南あわじ市の魅力や情報について、より伝わるような内容で発信してほしい」が最も多くなっています。

○“満足”では「十分に発信されており、南あわじ市の魅力や情報がよく伝わる内容だと感じる」(52.6%)が過半数で最も多く、全体と比べて31.6ポイント高くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問26 マスメディアによる市の情報発信についての感想				
			十分に発信されており、南あわじ市の魅力や情報がよく伝わる内容だと感じる	もっと多く南あわじ市の魅力や情報について発信してほしい	南あわじ市の魅力や情報について、より伝わるような内容で発信してほしい	発信されることが少なく、内容も魅力や情報が伝わりにくいものである	無回答
全 体		1,558 100.0	327 21.0	563 36.1	439 28.2	125 8.0	104 6.7
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	32 31.7	40 39.6	20 19.8	9 8.9	0 0.0
	30歳代	152 100.0	50 32.9	51 33.6	33 21.7	14 9.2	4 2.6
	40歳代	233 100.0	38 16.3	88 37.8	76 32.6	18 7.7	13 5.6
	50歳代	245 100.0	37 15.1	102 41.6	70 28.6	26 10.6	10 4.1
	60歳代	342 100.0	69 20.2	118 34.5	111 32.5	26 7.6	18 5.3
	70歳以上	470 100.0	98 20.9	161 34.3	127 27.0	30 6.4	54 11.5
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	36 17.3	71 34.1	63 30.3	26 12.5	12 5.8
	西淡地区	324 100.0	62 19.1	135 41.7	85 26.2	21 6.5	21 6.5
	三原地区	514 100.0	106 20.6	185 36.0	156 30.4	39 7.6	28 5.4
	南淡地区	496 100.0	120 24.2	169 34.1	132 26.6	36 7.3	39 7.9
広 報 活 動 の 満 足 度	満足	133 100.0	70 52.6	44 33.1	13 9.8	4 3.0	2 1.5
	やや満足	453 100.0	123 27.2	196 43.3	103 22.7	18 4.0	13 2.9
	どちらともいえない	577 100.0	86 14.9	218 37.8	209 36.2	46 8.0	18 3.1
	やや不十分	87 100.0	12 13.8	34 39.1	32 36.8	9 10.3	0 0.0
	不十分	47 100.0	1 2.1	13 27.7	15 31.9	18 38.3	0 0.0
	わからない	206 100.0	31 15.0	53 25.7	62 30.1	30 14.6	30 14.6

・ 持続可能な開発目標（SDGs）について

問 27 「持続可能な開発目標（SDGs）」についての認知度（SA）

【全体】

○「聞いたことはない（知らない）」43.2%が最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」27.2%、「知っている」22.8%となっています。

○「知っている」は約5人に1人の割合と認知度はまだまだ低い様子が伺えるため、積極的な周知活動の推進が必要と考えられます。

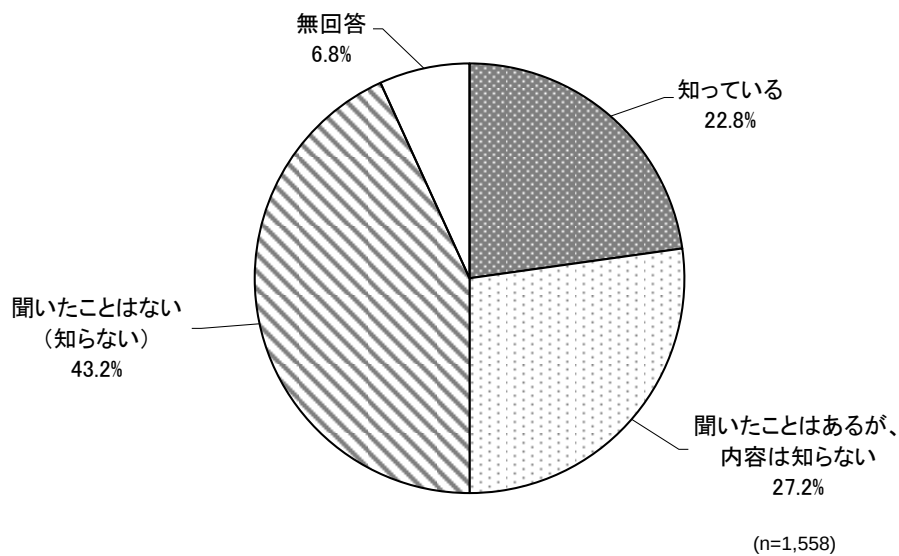
【年齢別】

○「知っている」は年代が下がるにつれて高くなっており、“10・20 歳代”では 40.6%で最も多くなっています。なお、“70 歳代”では 9.6%と1割未満となっています。

○「聞いたことはない（知らない）」は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、“60 歳代”“70 歳以上”では約半数となっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「聞いたことはない（知らない）」が最も多くなっています。



上段:人 下段:%		合計	問27 「持続可能な開発目標（SDGs）」についての認知度			
			知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	聞いたことはない（知らない）	無回答
全 体		1,558 100.0	355 22.8	424 27.2	673 43.2	106 6.8
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	41 40.6	29 28.7	30 29.7	1 1.0
	30歳代	152 100.0	55 36.2	39 25.7	58 38.2	0 0.0
	40歳代	233 100.0	79 33.9	62 26.6	85 36.5	7 3.0
	50歳代	245 100.0	77 31.4	51 20.8	110 44.9	7 2.9
	60歳代	342 100.0	57 16.7	105 30.7	162 47.4	18 5.3
	70歳以上	470 100.0	45 9.6	136 28.9	221 47.0	68 14.5
居 住 地 区	緑地区	208 100.0	57 27.4	66 31.7	79 38.0	6 2.9
	西淡地区	324 100.0	71 21.9	77 23.8	143 44.1	33 10.2
	三原地区	514 100.0	113 22.0	144 28.0	230 44.7	27 5.3
	南淡地区	496 100.0	113 22.8	134 27.0	213 42.9	36 7.3

問 28 SDGs 17 の目標（ゴール）について、重要だと思う目標 (MA/〇は3つまで)

【全体】

○「すべての人に健康と福祉を」45.9%が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」35.0%、「働きがいも経済成長も」21.9%となっています。

【年齢別】

○「貧困をなくそう」は年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、“10 歳・20 歳代”では 30.7%となっています。

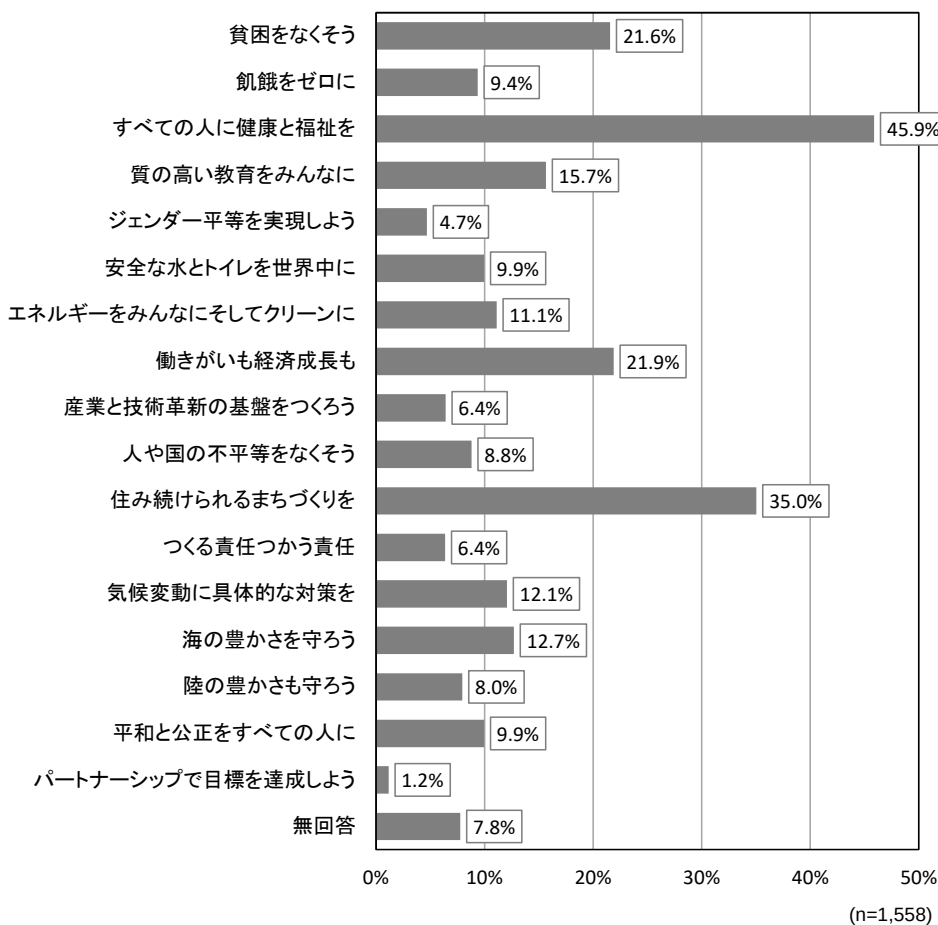
○“30 歳代”“40 歳代”では「質の高い教育をみんなに」が他の年代に比べて高くなっています。

【居住地区別】

○すべての居住地区で「すべての人に健康と福祉を」が最も多くなっています。

○“緑地区”では「質の高い教育をみんなに」が他地区に比べてやや高くなっています。

○“西淡地区”と“南淡地区”では「海の豊かさを守ろう」がやや高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問28 SDG s 17の目標（ゴール）について、重要だと思う目標								
			貧困をな くそう	飢餓をゼ ロに	すべての 人に健康 と福祉を	質の高い 教育をみ んなに	ジェン ダー平等 を実現し よう	安全な水 とトイレ を世界中 に	エネル ギーをみ んなにそ してク リーンに	働きがい も経済成 長も	産業と技 術革新の 基盤をつ くろう
全 体		1,558 100.0	336 21.6	146 9.4	715 45.9	244 15.7	73 4.7	155 9.9	173 11.1	341 21.9	100 6.4
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	31 30.7	10 9.9	35 34.7	21 20.8	10 9.9	11 10.9	9 8.9	21 20.8	3 3.0
	30歳代	152 100.0	38 25.0	20 13.2	73 48.0	38 25.0	13 8.6	11 7.2	15 9.9	37 24.3	8 5.3
	40歳代	233 100.0	57 24.5	19 8.2	91 39.1	61 26.2	19 8.2	21 9.0	29 12.4	61 26.2	23 9.9
	50歳代	245 100.0	55 22.4	31 12.7	105 42.9	39 15.9	11 4.5	25 10.2	40 16.3	49 20.0	15 6.1
	60歳代	342 100.0	63 18.4	35 10.2	175 51.2	43 12.6	11 3.2	35 10.2	36 10.5	73 21.3	25 7.3
	70歳以上	470 100.0	88 18.7	30 6.4	228 48.5	40 8.5	9 1.9	51 10.9	44 9.4	97 20.6	25 5.3
	居 住 地 区	緑地区	208 100.0	50 24.0	21 10.1	112 53.8	42 20.2	12 5.8	23 11.1	19 9.1	51 24.5
西淡地区		324 100.0	59 18.2	33 10.2	133 41.0	35 10.8	8 2.5	31 9.6	37 11.4	63 19.4	29 9.0
三原地区		514 100.0	118 23.0	44 8.6	239 46.5	94 18.3	31 6.0	51 9.9	68 13.2	118 23.0	29 5.6
南淡地区		496 100.0	104 21.0	45 9.1	224 45.2	72 14.5	22 4.4	49 9.9	49 9.9	106 21.4	28 5.6

上段:人 下段:%		合計	問28 SDG s 17の目標（ゴール）について、重要だと思う目標								
			人や国の 不平等を なくそう	住み続け られるま ちづくり を	つくる責 任つかう 責任	気候変動 に具体的 な対策を	海の豊か さを守ろ う	陸の豊か さも守ろ う	平和と公 正をすべ ての人に	パート ナーシッ プで目標 を達成し よう	無回答
全 体		1,558 100.0	137 8.8	546 35.0	99 6.4	188 12.1	198 12.7	124 8.0	155 9.9	18 1.2	121 7.8
年 齢	10歳・20歳代	101 100.0	14 13.9	34 33.7	3 3.0	9 8.9	14 13.9	12 11.9	8 7.9	1 1.0	3 3.0
	30歳代	152 100.0	19 12.5	50 32.9	9 5.9	15 9.9	25 16.4	8 5.3	18 11.8	2 1.3	2 1.3
	40歳代	233 100.0	22 9.4	78 33.5	18 7.7	26 11.2	30 12.9	19 8.2	14 6.0	5 2.1	12 5.2
	50歳代	245 100.0	14 5.7	76 31.0	26 10.6	37 15.1	32 13.1	19 7.8	26 10.6	3 1.2	8 3.3
	60歳代	342 100.0	29 8.5	131 38.3	22 6.4	54 15.8	46 13.5	25 7.3	32 9.4	2 0.6	24 7.0
	70歳以上	470 100.0	38 8.1	172 36.6	20 4.3	44 9.4	51 10.9	41 8.7	57 12.1	5 1.1	68 14.5
	居 住 地 区	緑地区	208 100.0	18 8.7	72 34.6	13 6.3	28 13.5	24 11.5	12 5.8	20 9.6	5 2.4
西淡地区		324 100.0	29 9.0	106 32.7	23 7.1	45 13.9	49 15.1	27 8.3	36 11.1	4 1.2	33 10.2
三原地区		514 100.0	37 7.2	181 35.2	35 6.8	59 11.5	50 9.7	43 8.4	41 8.0	4 0.8	35 6.8
南淡地区		496 100.0	52 10.5	181 36.5	27 5.4	52 10.5	74 14.9	41 8.3	57 11.5	5 1.0	41 8.3

・ 自由意見

問 29 まちづくりに対してのご意見

(SA)

【意見のまとめ】

○南あわじ市に対する意見・提案などについて、299 人から 361 件の意見がありました。主な意見の件数と意見の一覧は次のとおりです。

カテゴリー	回答数(件)
行財政・3 市（南あわじ市・淡路市・洲本市）合併	34
多岐にわたる行政の意見・提案	33
道路整備・交通安全	27
産業・地域活性化	23
今後への期待	20
公共施設・公園	16
介護・福祉・医療	15
補助金・プレミアム商品券	13
人口問題・高齢化	12
新型コロナウイルス	12
農畜水産業	11
防災	11
交通アクセス	10
住民参画	10
移住・定住・空き家	10
コミュニティ	10
雇用問題	10
子育て・教育	9
広報・市の情報	8
観光	7
アンケートの意見	6
ごみ処理・廃棄物・不法投棄	5
イベント	5
シティプロモーション	4
上下水道	4
その他	36
計	361

○自由意見一覧

【行財政・3市(南あわじ市・淡路市・洲本市)合併】 34 件

No.	意見
1	あわじ市のまちづくりを行う為に、最も重要な事は淡路島をもっと知ってもらった上で具体的な構造を構築し実現に向けて官民一体となって取り組む必要があると思います。
2	行政主導のまちづくりに期待します。
3	行政は最大のサービス産業であるとなたかが言ったのを覚えています。公務員たる市職員の皆様はしんどい、いやな目に合うことも多いと思いますが、できる限り辛抱して頑張ってもらいたいと思っています。市民に対して遠慮する事はない堂々と前向きで対処して下さい。
4	市役所の職員の皆様は日々の職務を遅くまでよく頑張ってくれていると思います。しかし業務が多く残業もかなりやってくれているのではないのでしょうか？解決策として市議会議員定数をもっと削減してその分を、職員の増加にあてたらいかがでしょうか。市民一人一人に対応できる市役所運営を望みます。
5	充実した町づくりの活動より育成して欲しい。各自責任を持って行政に力を入れてまい進して下さい。市が言い出したことは守って下さい。期待しています。
6	要望書を他区から提出しても何年たっても答えがなく問い合わせると、予算の関係ですぐに出来ないの答え(4年が経過しています。)もう少し答えが早く欲しいです。
7	推進すべきものには力を入れ、勇気をもってさんさんネットコミュニティチャンネル等の廃止を行うことも必要と考えます。
8	生保、児童扶養手当、障害年金など不正な手段を使って受給している方を今まで何人もみてきました。(南あわじ市の方です)働いて税金を納めている私達の方が自由に使えるお金が少ないです。このまま南あわじ市職員の方が不正な申請を受理していくなら生保を希望する方が増えていくはずで。市の職員として不正な給料をもらっていると自覚するべきです。
9	市役所を退職後、コミュニティ、福祉関係の職場に再就職しているのはおかしい。十分な恩給を受け取っているのに理解できません。シルバー人材に先をあててほしいです。
10	ふるさと創生課とはどんな仕事をしているのか。南あわじ市の発展はない、働く場所、若い人、将来の見通し地域が主体、市民の意見を聞いてくれるのか。コロナで毎日の習慣が変わった。市は上部(県国)の方針しか職員は給料、もっと地域をまわって状況を。
11	公正な住民サービスの実現
12	介護保険料の負担を減らす為の取り組みとして高齢者への健康チェック、医療機関へできるだけかからない為の色々な方策などを市をあげて考慮していただきたい。最近の淡路市を見ると企業、集客をする為の創意工夫が大いに感じられ活気づいています。南あわじ市においては残念ながら活気は感じられません。役所には頭脳明晰で賢明な方ばかりいらっしゃいますのでしっかりとしたアイデアを出していただいて南あわじ市を盛り上げて下さい。期待しています。
13	コロナ禍のため色々な正確な情報が伝わりにくい状態が続いているので市民全員に伝わるよう考えてほしい。また、今の時期に南あわじ市をPRし過ぎると淡路に来る人が増え、コロナの人も増えるので産地のものをふるさと納税で受け取るなどし増税し市民へ給付金などを考えて下さい。洲本市、淡路市は財政が潤っており引っ越しも考えるようになってきました。
14	総合計画の課題は山積みで大変な事と思いますが住民一人一人が自分の事と考え住み良い地域と発展の為に私も一市民として協力していきたいと思っています。例えば地域を発展させる為にはどうするか？子供の考えや意見、前向きな考えを大勢の人に聞く、社会で活躍中の若者考えや意見を聞く、高齢者の経験や知識を聞く。まとめて簡単な面から実行していく。
15	生活保護費(コロナ持続給付金も含む)の不正受給が多い、もっと調べるべき。簡単にお金がもらえと言っている。広田地区は生活圏が冊本方面が主で三原方面は行く事も少なく分からない事が多い。
16	市職員さんは日頃からよくやっているといます。コロナ対応についても迅速にされています。接種についても証明書の発行などを検討され全国で一番先に採用し実施されてはどうでしょう？旅行、スポーツ、飲食安全安心の目安になるとは思います。
17	人口の減少により少子高齢化が進む中、いつかは淡路島も一つになるのだと思います。

No.	意見
18	南あわじ市の前に淡路島全体の将来に渡るグランドデザインがあるのですか。淡路島の地理的特性、風土等をポイントに100年後～200年後の将来計画を作して下さい。そして子供、孫、ひ孫の将来を見据えたプランをつくって下さい。これほど恵まれた島は他にないのに。
19	まず市議会をなんとかしてほしい。放送で流すのはいいが、敬語も使えない市議会議員がいるし、それを放送で流す必要はないと思う。まちを作る予算を決める場がしっかりしていることこそいいまちづくりの一步と思う。一票を入れている市民として今の市議会をみるとその場があまりいい雰囲気を持っているようには思えません。まずは一番上の立場の人が頑張るべきでは？そういう人に一票を入れたいです。
20	窓口での対応をもう少し丁寧にかつわかりやすくしてほしい。高齢者の人にわかる様に説明してほしい。自分はわかっているけども何かわからない人に説明する時はいちから順に説明しないとわからない。
21	いろんな取り組みを始める時はそれなりに賛成を得やすいが、その取り組みを変更、やめる時の決断が困難ですね。何事にも良し悪しがありますが、総合的情報を得ている市長さんなり市役所幹部が決断してほしい。
22	市議さんの報酬が多すぎます。減給をお願いします。
23	以前の南あわじ市は淡路三市の中でも子育て世代に対し先進的な取り組みや補助を行ってくれ他市よりもサポートが厚いとい実感もあったが守本市長に代わってからは他市（洲本、淡路市）で行われている事も南あわじ市だけは行われない等、市民へのサポート、サービスの低下、実効性に疑問を感じる取り組みを多く感じる。トップの考え方もあると思いますが狭い淡路島の中で他2市で行われていたようなことは南あわじ市だけが行われないとなると市民の不満に直結する部分であり遅れながらも追いついてほしい。周囲で同じような声をよく聞くが直接市役所へクレームの電話をするような人は少なく、また今回のような市民の声を聞く機会を持って多く増やしてもらえたらいい。出来れば質問数や内容はシンプルな方が回答しやすいです。
24	若い人達の活動を支援して新しい発想や若々しいエネルギーを市政の中にも取り込んで活力あるまちづくりをしていけたらいいのではないかと思います。
25	高齢の方の経験や知識、若い方のアイデアやセンス、様々な立場の市民の意見を取り入れ実行させていくのを行政の方が頑張してほしいです。
26	市役所が行う事を一瞬で行う事、有効に分類し法人を増し働く企業を増やし人口を増やす。税の有効活用。DX（デジタルトランスフォーメーション）で効率化と利便性の両立を。
27	まちづくりとは関係ありませんが市役所へ行くと職員の方の愛想のない誰か行ってよオーラに気を付けていただきたい。お客さん商売ではないがもう少し配慮を。皆ではないが動くと思ふのか、失礼ですが活気がないですね。大変なのもわかりますが。
28	南あわじ市の職員と市民が大変近い距離にあり、市に対して大変親しみがわいています。すごくいい市だと思います。人と人との関係を大切にする市として是非今後も市民の事を考えて施策を行ってほしいと思います。是非今後次世代の人づくり、教育に熱心な市として十分な予算化を行ってどの市にも負けないくらいの人、モノを充実させてほしい。何よりも人づくりが大切だと思います。期待しています。
29	老人が多数なのに一斉掃除や愛校作業と老人に負担をさせる市の行政に疑問しか感じない。死人が出てから対応する気やと思いますが。小さい市やのに小回りが悪い。淡路市と比べて見劣りがする。安定しか目指していない。いつも大都市感覚と同等と勘違いしている気がする。小回りの行政を望む。
30	1市役所への質問時の職員の回答が的確になり熱意を感じられる。2職員の管理職に他官庁の人を入れるのは啓発上良い事と思う。若手職員に民間の厳しさを体感させる事も大切だと思う。3地区住民の顔を知っているのは良い事だが慣れ合うのは良くない。4議会のビデオを見てみるとピリッとした所が少ないと感じる。もう少し専門的な質疑を期待する。
31	地域の伝統文化（行事、祭り、芸能など）を守り続けるための予算を削らないでほしい。他県から越して来て南あわじ市の地域行事に触れる度、その横の繋がりに助けられました。高齢化で傳承していくのが難しいところですがこの町の魅力だと（人々の優しさや思いやり）思います。これらが無くなれば住み続けたいとは思わなくなります。地域の人の思いをくんだまちづくりを希望します。

No.	意見
32	今回のみならず、各分野において市民の声をアンケートなどで収集しまずは行政がリードする形でまちづくり計画を立て実践して欲しいと思います。
33	南あわじ市単独でのまちづくり推進、淡路市が推進しようとする3市合併でのまちづくりには反対です。よって財務は重要と思います。財務状況悪化による合併だけはダメです。
34	職員の意識改革が必要では。

【多岐にわたる行政の意見・提案】33 件

No.	意見
35	湊にて生活するが企業が殆どないし、高齢者が多いし人口は少なくなる一方だし市政も難しいと思う。頑張ってください。
36	地域を引き継いでくれる若手の育成強化と高齢人口増加に伴う医療環境の充実を望みます。
37	淡路島はひとつ、三市がスクラムを組んで地産地消、うずしおと人形浄瑠璃、淡路島の自然の美しさとやすらぎ、発信材料は他にもたくさんあると思います。淡路に移住したいと思われる様なまちづくりが必要だと思いました。
38	してほしいこと。1. 家財を処分したいけど軽トラックを持っていないので処分場まで持って行けない場合はどうしたらよいか。毎月の南あわじ広報誌に困った事お困り相談室へというコーナーでPRして欲しい。2. 一人暮らしに徐々になっていく世代。今は2人でいてもいずれは1人(独居)になっていく世帯が増加していくと考えられる。1人暮らし生活を支援している相談窓口、電話番号を広報誌に毎月掲載して欲しい。買物難民にどう対応するかなど。3. 老人ホーム施設に入居する場合の空き情報の発信を広報誌に、南あわじ病院は現在何室空きがありますという風に4. 空家リストを作って市の住宅関連の係が中立ちとして貸し店、借り主の間に立って格安で提供し固定資産税の滞納の一掃に動いて欲しい。
39	子育て支援増加(子供が2人以上世帯に対しての手当)、新築補助、省エネ設備設置の補助金、今現在ある補助金制度の有無をもっとわかりやすくしてほしい
40	それぞれの支援やサポート、市の取り組みや人口比率(年齢)、死亡者、出生率、平均年収や住みやすさ、仕事、空家情報、コロナ、ワクチン情報、犬猫の殺生数。人々が興味のある分類をして情報を拾いやすくして欲しい。
41	若い子達が働きやすく子育てのしやすいまちづくり。
42	最近では自然災害による橋の通行止めも増加しつつあるので食料、生活必需品等、島内で維持できる対応、情報発信が明確化された方が良いでしょう。
43	今後は人口を減らさない様にする事が一番だと思う。南あわじ市で育った子供が島外で進学しても戻って生活し続けられる事が理想。その為にも南あわじ市での生活水準の向上、小学生から大学生まで家から通学できる環境、家に帰る事ができる為に子供の教育に行政支援を独自でやって欲しい。保育園児の時から送迎、福良は特に小中学生も親の送迎、近くの三高にも親の送迎、進学すれば近くの神戸でさえ下宿、時間、お金共に南あわじ市に住めば親の負担は増。学校教育だけでは学力は追いつかず塾にお金と送迎、通える塾すら減ってきてスポーツも親が送って時間が無くなる。こんな不便なこんな不便な地域は他にない。商売も成り立たない、農業も儲からない。外に玉ねぎのアピールするなら青果屋さんだけ利益増になるだけ。夜8時にもなればスーパーも閉まり物もなく主婦は悲しい。全て備わった島外で給料を得て生活できるようにと親は子供に教えたくなる。その為に子供に頑張れと言わざるを得ない。全てそこからじゃないですか。そこを見逃すと、できるものなら住みたくない、今の議員さんそんな事わかってますか？
44	最近三原川の河川敷がきれいにされていてとても気持ちがいいです。しかし草はすぐに伸びきれいな期間は僅かです。きれいにした場所へ人の足が入り、踏む事で抑草する為、なにかイベントをしてはどうでしょうか？とび石もある三原中学校前などもったいないです。せっかくの河川敷整備がムダになっています。草が生い茂る様子をみて税金が流れていくように感じます。
45	農地の利用、見直し、遊休地の利用、有効活用、空家の利用、後継者がいない土地利用、自地での買い取り等

No.	意見
46	難しい事は分かりませんが、今感じている事は、家賃などが高い、住民税も高い、保育士不足もあると思いますが、共働き世帯が多い中、保育所の預かり時間が6時までの所が多い。市のこども園など、最低でも6時30分まで預かって頂けると助かる。その前に働き方改革がもっと充実したら良いのですが。
47	市世帯で一人一台自動車が必要、車に関するあらゆる経費の縮小を求めます。道路整備、空家対策、空家対策プラス周辺の環境悪化（森になる）
48	企業誘致、農地有効利用、環境整備、児童就学支援、日本一の学業成績達成地区を目指す
49	この部落は高度弱者も参加せずある地域の人が偉い、道が良い所狭い所がわかりません。人の関わりが無くて南あわじを非難する声があつて今度空き地プランからはずれ共同で農業地域を願う
50	大学職場の確保、安全な歩道の確保、街灯が少な過ぎる、暗くなったら子供が危ない。三市共通のバスで島内均一料金設定（300円以内）、医療の向上（夜間救急等）、企業誘致を積極的にしてパナ関連、南あわじ市の手でのばしてほしい。
51	文化や芸術はそのままいかし、食や遊びの提供に力を入れてもらいたいです。リピーターが増えるような町づくり。
52	まちにもう少し活気のあるように少子高齢化で昔のようには無理と思いますが。住宅を建てるとか人の集う事ないですか。
53	雇用の確保、高齢者の身体的、精神的健康生活の援助
54	ダブルワークの見直しを。例えばコロナワクチンの予約3～4回封書の発信あり。受け取った方あれもこれもと困惑する。雑紙保管袋はお金をかけて配るメリット、実際使うか？緑地区道路他良くなった所はあるのか？
55	安心して遊ばせられる場所がない。子供が病気になっても安心して診てもらえる大きな病院もない。実際には困る事のほうが多くもっと生の声をしっかり聞いて本当に求めている支援をして頂きたいです。
56	疫病、災害などはいつの世にもあり、最善をつくす他など。もっと恐れるのは人災過去を見て将来に備えて下さい。
57	市営住宅に関する所得制限にしても。全ての市民が一律平等になるようにした方が不公平感はないと思います。あと商工会の5000円→6000円分のプレミアム商品券のような取り組みもずっと継続されるべきですしペイペイ、d払い20～30%還元等も来年度以降継続されれば良いと思います。また淡路花の名所スタンプラリーのように南あわじ市と鳴門市で協力し歴史街道スタンプラリー、30ヶ所などあってもいいかと思います。抽選で年20名にたまねぎ、特産品等の商品を送付するなど観光客のみならず地元人も郷土の歴史に触れ郷土愛が高まるのではないかと思います。
58	阿万地域人口減少1、防災「津波」2、コンビニエンスストア「無」、防災看板 各避難所入口 各町内「畳1畳寸法」、コンビニ、設置会社に対し行政補助で誘致「防災協力条件」、2、観光 西淡インター～灘水仙までの主要道路「バイパス」市営トイレ設置、高齢化で必要
59	核家族化が進んでいる、高齢化、一人住まいの老人も増加。福祉サービスを利用する為の知識を持っている人は？情報の発信はどうなっているのだろうか？福祉の手続きの説明がわかりにくいと一人住まいの老人によく聞く。各家庭へのサポート、役所からの職員の訪問で手続きができるようになればと思う。各地区の市民交流センターの仕事内容に福祉サービスは今どうなっているのか現状がわからない。
60	10年後私達は後期高齢者です。医療費を節約し自分の体を自分で守る。食事に気を付ける、ほどよく運動する、人と話をする。第一次産業農業、林業、水産業のあり方を考える。3者が一体となって考える。現在10、20代の子供は働き盛りです。この若者達がここ南あわじで定住するかといえばほとんどの人が都会へ出て行きます。今コロナで働き方も変わってきました。何かを変えるチャンスかもしれません。それが何なのかは私にもわかりませんが確かに言えるのは少子化が地域を置き去りにしている？子供を産んで育てやすい環境を作る。マンション、アパートの賃貸料を安くする。食べ盛りの子供がいる世帯には食料（割引券）を配布する。

No.	意見
61	住みやすさを感じています。ありがとうございます。少しルールが分かりにくいのが困る時があります。別世帯同居部分そして南あわじ市の賃貸物件が高くて南あわじ市に住みたくても困難と感じる事があります。市営も運次第というのも先の生活の計画に困ったりビレッジハウスのような所も普通の物件と家賃が変わらず収入を増やすにも仕事も洲本市や淡路市は多くさらに働き易い条件だったり。なので時々出る事も考える程です。その部分があればきっと住みやすいです。
62	子育てはしにくいように感じる。病院が閉まるのも早いし0～2歳の保育園への預け先も少ない。公園や遊具のある公園も少ない。安心して遊べる場所がない。働く場所もないし賃金も低いので子供を産んでもお金がないので育てていけない。
63	南あわじ市の人口は4万6千人。ますます減少を辿りそうな気配がします。淡路島を一つの市として集まり、淡路島住民の多くの能力を発揮していくのも良いのではないかと思います。しかし、小さい町であるからこそ変化させやすい、動かしやすい、発展に結びつきやすい事もあります。今回コロナワクチン接種において南あわじ市の集団接種や個別接種を取り上げますと接種会場でのスムーズな流れ（誘導の仕方、接種の時お医者様が動いて下さるなど）移動手段が難しい方への介護タクシーの手配など、他の市にはない方法はとても良かったと思います。これも市長の指揮のもと南あわじ市の職員の方々の能力・労力が高いものであると思います。南あわじ市独自の素晴らしさです。
64	子育てに優しい街南あわじ？、若い家族に対して甘すぎるのでは？私は生まれた時から南あわじに住み、大学、就職と島外（神戸）で過ごし家庭の都合で生家に帰り一人暮らしをしているが現在の隣などでも新しいニューファミリーが隣に家を建て、周りが過保護すぎる。昔はもっと子供がたくましかった。年寄りには情はあった、南あわじ市で死のうと思いません。よその子でも平気で叱ってくれた。死ぬなら神戸か阪神間、刺激のない町に魅力なし。おまけに父母が死亡して20年毎年泥棒が入り続けています。警察に言い続けてもムダ。安心して住めない！南あわじが悪いのか淡路市が悪いのか。半端な田舎、特に私の住んでいる所は情がない。洲本市内の方が情が厚い。
65	地震等に備えてハザードマップの見直し。土地、道路の整備。福祉、病院、介護、整備
66	先人たちが作られてきた町を残し特産品、産業を持続させながら将来に繋がるまち、人づくりを新しい特産品、産業づくりをして住みやすく地元の人が戻りやすい環境づくり
67	警察、消防、市政等協力を密にして子育てしやすい事を目指してほしいです。考え方を子育ての優先の市にもっと切り換えて将来の発展すべき姿に持って行ってほしい。規則に縛られすぎる事なく柔軟に考えて住み良いまちづくりを進めていってくれる事を望みます。

【道路整備・交通安全】27 件

No.	意見
68	福良の町には夜になると道路や海岸沿いの運河に自分の駐車場のよう普通に車を駐車している、漁民住宅の前にも当たり前のように駐車している。災害があった時にそれらが障害になったり交通事故の要因にもなる、厳しく取り締まってほしい。
69	広田小学校に子供を通わせているのですが、交通量が多いのに歩道がない所が多く、歩いて行かせるのが心配です。道路の整備をしてほしいです。
70	パナソニックグループの淡路島西海岸地域の開発によって知名度は上昇するでしょうが、一部地域が目立つ（施設のみ）だけであって本来の島の良い部分は見過ごされる様な気がしてなりません。特に西海岸地域におけるインフラの整備については具体的改善案も出ているとは思えません。淡路花博の時の国道28号線の信号機問題や駐車場施設からの導線等の不備の経験が生かされるとは思いません。
71	市役所へ行く道を直通にしてほしい。円行寺の交差点を三原中学校へ曲がると警察署の信号を曲がらないといけないから遠回りになる為
72	広田の交差点は朝夕と混雑しており（広田、洲本線側）、無理矢理右折する車も多く見られます。通学路として利用する子供もいるのでガードレールの設置や右折レーンを作ることはできないでしょうか？
73	三原川河川の整備をしてウォーキング、犬の散歩コース等にして欲しい。

No.	意見
74	市の中心部地域以外の環境に力を入れてほしいです。うちは山の方に住んでいて私道になっているので下水道工事は全部負担しないといけないうるかなかなか水洗トイレにできない。道もガタガタになっているが修繕する費用の余裕がない等。
75	榎列地区に子供が増えてきました。小さい子供の声が聞こえるのは嬉しい事です。榎列小学校辺りの道路は昔のままです。歩道のない道を並んで登校しています。事故が起きてからでは遅いです。未来の子供の為に安心して登校出来るように歩道を作ってあげて下さい。
76	県道の歩道の手入れは最近よくしてもらってますが田を市に買い上げられ田が小さくなったのに草種は十分落ちた後に手入れに来てくれます。何とか良い方法はないですか？
77	道路の整備に力を尽くしてほしい。歩道がない、白線の外の排水溝の上を歩道とは言えない。子供達自転車が歩き走るところが不備。自転車道がない。淡路島全島一周自転車サイクリングなんて今の状態では危険で参加できそうもない。車の道も不備、三原郵便局の周辺の危険な状態を見てほしい。他にも例を挙げたらきりがありません。公用車で走る人はそれ以前に、市内を自転車でひとまわり走る事を義務づけて下さい。中高生の通学も危険がいっぱい。高齢者の買い物も大変です。
78	淡路に引越して12年、以前の南淡町の道路、町はもっときれいだった気がします。カーブミラーの見通しが悪い(草木で隠れています。)観光地の看板が汚れていて見にくい。台風でがけ崩れがあって工事が遅すぎ。道路にゴミが多過ぎ。
79	サイクリングやウォーキングなど観光や子育てに目を向けた時、道の整備があまりにもひどいと思う。サイクリング客を呼びたいのであれば自転車用道路など健康づくりのウォーキングの為に歩道や外灯、子供達の為に通学路など将来のまちづくりを考えた道づくりをしてほしいと思います。
80	市役所周囲の道路の信号機の整備。特に警察とうずしおラインとの交差点については以前より市民に危険と早急の整備をお願いしているが何も行動が起こされていない。また今後新しく開通しようとしている。国道28号線との交差点についてはどう考えているのか広報誌で明確な回答が欲しい。
81	今津井に住んでいて同じ南あわじの道路の他の市町が良くなっているのに津井地区には少しも道幅も狭く何年も良くなっていない。他の市や町の様にもっと考えてほしい。
82	高齢者の自動車運転、自転車(慣れた地域だからと確認が不十分)国道沿いに歩道(できればガードレール)
83	市道の点検、管理、特に町はずれはきびしい
84	子供の通学路で草木が歩道をふさいでしまっている道を見かけます。
85	交通の便が悪い。自転車で道を通っている時、あきらかに車が悪いのにクラクションを鳴らされたのは不快です。ここに来てから運転が荒くこの道危険やと思う場所が多いです。道の幅広げたりして歩道をしっかり作るかまた警察の方の交通安全を増やすかしてほしいなと思いました。
86	道のボコボコしているのを直してほしい。街灯を増やしてほしい
87	市道の白線が消えている所が多く交通安全の為に点検修理をしてほしい。夜間の路肩と溝の境界をはっきりさせてほしい。先日自動車や自転車が溝に落ちた事故がありました。路肩の車道路にはみ出した植木の枝が邪魔になります。それから防犯灯(外灯)を増やして夜間も明るい町にしてください。
88	市民の為に色々ありがとうございます。新しい道路ができ、とても便利になりました。すぐ草が生え、大きく伸びた木の枝が歩道に倒れてきたりしている所を見かけます。気を付けて見て下さっているのですが自転車に乗っている人や歩道者には邪魔になります。淳仁天皇の母の当麻殿ですが阿万線の立派な道から御陵に行く道が整理されてなかったように思います。あまり訪れる人はいないかわかりませんが、バス停の名前にもあるのですからもう少し何とかならないかと思ひまして。
89	他県の人意見ですが防犯灯が少なく南あわじ市が暗いという印象を受けたと聞きました。私は昔を知っているのも明るくなったと思うのですが暗いのは今の若い人にはびっくりらしいです。

No.	意見
90	町づくり、道路の脇の草刈りをしてほしいです。花も植えるのも美しい町づくりかもしれませんが、草が生い茂って見苦しいです。荒れた田んぼも道路の横にあっては見苦しい。美しい南あわじ市でありたい。
91	私有地の草木がすごくて近所の人で伐採するのですが後始末に困ります。片付けてくれると嬉しいです。宜しくお願い致します。
92	道路整備、車、人、自転車等が十分に往来できる様安全な道路を増やす事が必要だと思います。例えば丸山～湊、中御原橋～五色の県道
93	中山間地域は高齢者が多く、地区の保全の為に60、70代がほとんどボランティアで草刈り市道の管理を行っています。行政で行ってくれることを希望します。
94	最近では淡路一周を自転車やバイクでも多くの人達が来ていると思います。海に囲まれているので道路沿いの山側の木々が覆って来そうな所が多く見られます。夏前に草刈りを毎年してくれていますが道沿いの草だけなのでもっと刈ってもらいたいです。(もう少し木も切してほしいです)草がボーボーで海が見えない所もあり残念です。子供達が学校から帰ってくる道の街灯をもう少し増やしてほしいです。最近ではイノシシや猿も町で見かける事が多くあるので夜(夕方)に子供を歩かせる事が少なくなって来てますが歩いて帰って来ることもあるのでもう少し増やしてほしいです。宜しくお願い致します。

【産業・地域活性化】23 件

No.	意見
95	地元は松帆ですが慶野松原の整備にもっと力を入れほしい。砂浜など。沢山の人が訪れているのに砂浜が汚いとかそんな声を聞くと残念だなと思う。食材の宝庫なのにそれ生かした施設が少ない。もっとそれを生かせるような動きが必要。「みなこいこいや」、「シーパ」の中のように売っている所は沢山あるのに。あと、雨が降っていても利用出来る娯楽が少ない。来島者が多いけど淡路は雨が降ると台無し。唯一、南あわじ市にそんな大きな施設が出来ると雨の日は特に南あわじ市に集中するのでは。
96	島の生活が続けられるように食料品の店がいつまでも続けていけるようにお願いします。生協もあります年を取ってはやっぱり島に店がほしいです。
97	企業誘致など積極的に進め、魅力的な町づくりを。最近では淡路市の方が活動的な感じがします。
98	企業を南あわじ市へ誘致、淡路市のように
99	若い人が地元に残れるように地場産業の活性化をしてほしい。若い人同士のふれあいの場を増やして欲しい。
100	南あわじ市にもたくさん就職先があったりUターンの方を歓迎できる何かがあればいいのかなと思います。
101	第一次産業の活性化
102	南あわじ市を元気のある市にしてください。年配の方々のパワーを生かして盛り上げて下さい。
103	今淡路市においてパソナの関係者が移住してきて地域のたたずまいが大きく変わろうとしています。私はこのような現状を大変悲しく思います。なぜなら淡路のもつらしさが消失してしまっているからです。ゴジラ、クレヨンしんちゃんキティちゃんなど種々のキャラクターを投入して町が崩れてしまっていることに本当に腹が立ちます。南あわじ市へは今の所、この影響は受けてはいませんがいつ来てもおかしくないところに来ています。どうか南あわじ市においては独自のやり方で町の活性化をしていただくよう切に願っています。
104	買い物難民とも言う。高齢者や弱者はどうしたらいいのか？商店が一軒もない広田地区、豆腐一丁、牛乳一本も買う所がない。
105	家族で出掛けられるショッピングセンター等の複合施設がほしい。レジャーで楽しめる所がほとんどない。
106	若年層に向けたIT、ICTへの取り組みについて今後より推進して頂き、住みやすい町づくりに繋がってほしいと思います。

No.	意見
107	たくさんおいしい食べ物があるけど出荷して終わりとなり利用、加工した製品が少ない。あと地元の人が行ける食べ物(地場)を使ったお店が少ない。若いお母さん達はよくランチをしているが洲本や淡路市に行ってしまう。同じ環境なので逆に洲本方面の人が来てくれるようなお店を作ってほしい。
108	子育てしやすい環境作り、市民が利用できるチェーン店を呼ぶ(市民の声が多い)
119	食や環境などと淡路島には魅力がたくさんあります。グルメ(牧場や農業)に関しても企業に市や県から助成金などができるようにして新しい商品開発やアピール方法の提案などしてもらって新しい物の発信をこれからの人は求めていくと思います。
110	明石市などに負けない活気がほしいです。
111	人が少ないと商業、学校、家庭に活気がありません。未来の南あわじ市の為には人口増、企業誘致を是非!
112	若者の働き場所の積極的な誘致(工場、近代化された農業、観光等)島外から多種多様な業種の積極的な誘致が必要。現在建屋の跡地活用では制限と課題が多い為、交通の利便性、人員確保等の環境を考慮し、将来的な展望を見据えた考え方で誘致が必要です。
113	税収が増やせる企業誘致。高齢者が増える中での新しい地域密着な町作り。地域格差が少なくなればいいと思います。
114	南あわじ市の特産物に玉ねぎ以外の商品があればと思います。平均寿命が延びて健康への関心が高くサプリメントや漢方薬に関心がある人は多いと思います。漢方薬のほとんどが中国からの輸入に頼っていて国産の生薬は貴重だと聞いています。休耕田を利用して薬草栽培を地域おこしにならないかと思いました、奈良の大和当帰、高知のミシマサイコなどが有名ですが漢方薬の原材料の他、家庭での活用法も色々あり人気が出るのではないのでしょうか?薬草の花は見た目も大変きれいな花が多いので見ごたえも十分あると思います。
115	大型商業施設を建て南あわじ市の人はもちろん淡路島の人や他の県から来る人も楽しめるような施設を建てたら良いと思う。
116	コロナ感染拡大により県外に出て遊んだり買い物をしたり等が出来なくなり、以前より不便だと感じる様になりました。観光ができる場所は増えてきているのですが南あわじ市民が楽しめる場所が少ないように思えます。
117	産業においては第一次産業の維持発展の為、後継者を育てる企画も大切かと思います。(南あわじ市には美味しい食材があふれています。土地も広いです。)また淡路島全体をみますと、島外からの企業の参入もあってか淡路市の西海岸すさまじいリゾート開発に驚かされ、道路も整備されている現状。南あわじ市独自の何かを見出して欲しいと思います。

【今後への期待】20 件

No.	意見
118	洲本市、淡路市の後にならない様に、市民一同頑張っ淡路島で一番になります様に守本市長はじめ職員の皆様の頑張りを期待しております。南あわじ市は阪神よりはなれておりますが、四国もあり市民一同頑張りたいと思います。
119	南あわじ市は住みやすい町だと全ての人が言う様にしてほしい。
120	若者を中心に心に余裕と思いやりのある生活環境の整備にご尽力宜しく申し上げます。
121	いつもありがとうございます。NHKの放送を見ていると南あわじ市のニュースが度々放映されてますので嬉しいです。これからもよろしくお願いします。
122	よい計画ができますように。そしてその計画が実行されますように。南あわじ市、淡路島の発展をお祈りします。
123	南あわじ市の豊かな自然、農畜水産物を守り続ける事、そして自然景観をこわさずに守り続ける事を願います。南あわじ市は南あわじ市らしさを守り続けてほしいです。
124	市長さん応援しています、期待しています。ありがとう

No.	意見
125	78才のおばあさんの一人暮らしです。アンケート協力できるような答えがありません、すみません。でも福良はいいです。生まれが福良ですから後何年ここで暮らせるやらわかりませんが、残り少ない人生どうにか生きていきます。南あわじ市の発展を心よりお祈りいたします。
126	今後の守本市長の手腕に期待しています。高齢者に対するコロナワクチン接種は他市に比べてとても良かったと思います。引き続きよろしくお願いします。
127	みんなが安心安全に暮らせるまちづくりをして欲しい。
128	安心安全な南あわじ市になるよう頑張ってください。
129	南あわじ市民がみんな住みよい町づくりができるようになれば良いと思います。
130	学業を終えた子供達が少ない人数でも頑張る何かがあれば月日がかかると思いますが淡路らしい心豊かな温かい地域になる様に心を向けて働きかけて下さい。雑言ですがちょっと一言言わせて頂きました。
131	考えが古くなってしまっとうまく回答が出来ませんが南あわじ市のまちづくりよろしくお願いします。
132	南あわじ市に住んでいる人々は皆さん幸せになり豊かに生きれる。南あわじ市になるよう祈ります。ありがとうございます。
133	私達は田んぼをやる時、家方は女しかない場合は後始末をするのにこれからはこんな時代が増えて来ると思う。どうしたらいいかよろしくお願いします。
134	報告が大変遅くなり誠に申し訳ございません。提出期限が大きく遅れているので処理して頂いて結構です。これまでのご尽力に感謝しています。大変なことです。宜しくお願い致します。資源の枯渇、教育問題、健康、医療、福祉の問題、少子高齢化の更なる進展など人ごとではなくこの時代生きる全ての人達がその地域ごとで真剣に考え行動する事が求められています。自分も出来ることは少しでも努力したいと思います。
135	どうぞ市民の声をいかし行政の方々の素晴らしい能力をいかし、私達の町を新たな町として発展を遂げて頂きたいと思います。
136	回答が遅くなりすみません。少しでも役に立てれば嬉しいです。私は去年引越してきました。南あわじは便利な所もあれば不便な所もあり長く住むことで慣れていくだろうと思っています。特に榎列地区は恵まれた場所だと思うのでこれからも住み続けていきたいと思っています。ただ、買物する場所（スーパーや日用雑貨、書店など）もっとあれば生活のレベルは上がっていくのではないのでしょうか。素敵なまちづくり、安全な環境をこれからも期待しています。これからも頑張ってください。
137	大変ですが南あわじ市の為に何か今と違うことを、また出来る事を（市民一人一人が）していき明るく生活出来るようお願いしたい。

【公共施設・公園】16件

No.	意見
138	中～大規模の公園（遊具）があればありがたいです。子供には体を動かして遊んでもらいたいです。公園目的で市外、島外へ出掛ける事が多いです。
139	入場料や駐車場代という名目で利用料がかかってもかまわないと思います。
140	洲本市や姫路市のような大きな図書館が町の中心部にほしい。
141	コロナで自粛生活が続き、どこにも子供を連れて遊びに行く事ができません。車で5～10分で行ける公園はあるのですが、もっと近くに公園があればいいのになと思う日々です。それが休みの日に保育所開放してくれるとありがたいです。コロナで消毒の問題もあると思いますが。
142	保育所や小学校、高校が閉校となる状況はどう考えても普通ではない。異常事態だと思っています。

No.	意見
143	支援センター（ゆめるんセンター）に土日でも使えるトイレがほしい。市内の公園の整備（さびている遊具の修理）とトイレをきれいにしてほしい。健康維持の為の行事を増やしてほしい。平日はのんびり1人で参加出来るもの（ヨガ、ストレッチ）、土、日、祝に家族で参加出来る親子体操などのもの
144	南あわじ市は公園で遊べる所が少なく、天気の良い時は行くところがないので室内で遊べる場所が増えたらいいと思います。
145	子供達が外でのびのびと遊べる公園を充実させてほしいです。バスケットリングのある公園がないと感じます。
146	市民の健康作りの為の施設の充実を図って欲しい。現在も市内に一部有料のジムがありますが市が率先してそういう施設を設置して欲しい。
147	音楽ホールを充実させてほしい。三市に比べた時に南あわじはここというところがない
148	気軽に立ち寄って談笑したり、適度な運動などができるゆとりあるスペース（公園）を各地域に一つでも多く確保していただきたい。幼小中の子供達の姿がなかなかみえにくいのでやはり、子供から高齢者までが集うことのできる広場が欲しい。
149	丸山湊の整備がとても良かったがうまく活用されていない。釣り客を増やすよう料金を下げるべき。姫路市宮釣り公園でも300円程だったと思う。1000円大人は高すぎる。
150	笑顔あふれる子供のまちという割に子供を育ててみると公園も少なく子供を伸び伸びと遊ばせてあげられる所も少ない。
151	公園や広場の整備をしてほしい。地区により子供達の遊び場が他の市に比べ少なく感じる
152	子供が外で遊べる施設をつくってほしい
153	子供達が安心して遊べる様な公園をつくってほしい

【介護・福祉・医療】15件

No.	意見
154	ここには関係ないですが、子どもの医療です。兵庫県のいくつかの地域では高校3年生まで医療費が無料のところがあります。高校生こそ学費など余計にお金がかかるのに児童手当はないし医療費もかかる。高校生3人いる我が家にはとてもツライ状況です。
155	コロナ禍で財政的に大変だとは思いますが、介護や障がい者支援が後退しないようによろしくお願いいたします。介護難民、買物難民などが出ないようによろしくお願いいたします。定期的に商品券などを発行していただければいいと思います。
156	高齢者の介護予防教室（百歳体操など）を多くされているのは知っていますが近所付き合いをしてこなかった人間がそこへ参加するのは難しそうです。若年～中年からのコミュニティ作りや健康増進も必要となってくるのではと思います。
157	高齢者や障がいを持つ人も安心して暮らしていけるような状況に合わせたきめ細かい支援をできるようにまちづくりが望ましい。
158	高齢者が低額で施設へ入られる場所を作ってほしいです。
159	年金暮してこれからの介護が十分な町づくりになってほしい。
160	超高齢化で事業の継続が不可能になってしまう。
161	病院への送迎の介護タクシーを利用しやすく安い金額にしてほしい。
162	具体的にどうかはわかりませんが南あわじ市に出産できる病院がないのはどうなのか？どのような場所でもまずはそこに住む人がいなければ減るまでいかなければならないと感じています。
163	1人暮らしで国民年金のみしかない人間が介護施設に入居するといくらぐらいの金額が必要か常に気になります。
164	子育て世代以外は住みにくい環境だと思います。税金が全国的に比べて高いと思います。全世代平等に福祉の充実をして欲しいです。

No.	意見
165	自立した町づくりをお願いしたい。自分の家で最期を迎えたいので、もし自分が1人で家にいたら車イスが使えるようにリフォームしたりできるだけ家で暮らせるように頑張って日常生活を送りたい。
166	若い世代の人達に関しては子育てをしやすくと色々手を尽くしている様ですが、私のような老人に対して南あわじ市はあまり考えてくれているとは言い難いと思います。若い世代が支えていける様にとの考えからだと思いますが。他の市とは少し違う様です。
167	子育てについて医療費無料(中学生以下)と思いきや所得制限があるのが残念です。高額納税者のラインをもっと引き上げないとそんなに所得が多くなっても医療費がかかり医療費無料の世帯との逆転現象が発生していないか心配です。
168	私達はすでに高齢者の年代ですのであまり強くは言えませんが長い目で見た町づくりに関し、福祉や手当等お金を与える事で人々を引き付けようとしている風に感じます。

【補助金・プレミアム商品券】13件

No.	意見
169	コロナの対策としてプレミアム付商品券を発行しているが、洲本市や淡路市のように全市民に配布されるようなシステムにしてほしいです。プレミアム付商品券は購入者しか使用しないが全市民に配布すれば全員使おうと努力するので個人事業主の利益にも繋がる。
170	空き家、耕作放棄の農地等が増え淋しい限りです。空き家の活用や農業、漁業等、継続に対する支援や補助が必要だと思います。
171	コロナが長引いているので、市独自の支援や補助金があると助かる。色んな制度が素人でも分かるように簡単なことがまとまった冊子や媒体があると便利だと思う。
172	商品券などの交付対象は平等性なものの方が良い。貧富、購入で差が生じる。
173	前回今回もそうだけどプレミアム商品券は販売するのではなく洲本市みたいに世帯に配布してみても。全員に平等感がない
174	南あわじ市内のプレミアム付商品券を購入するお金がない人もいるので1世帯1万円分配るほうが平等だと思う
175	地域振興券の購入など幅広い年齢層が分かりやすく買いやすく使いやすい工夫をしてほしい。
176	せっかくのプレミアム商品券が出るが使用する所がない。その為、わざわざ他市町へ買物に行く、20%のプレミアムは生活に大きなプラスですがこれも利用する所なく何の意味も恩恵もない。もうすこし低所得者のためになる事も考えて下さい。手間暇かけず現金をくれたほうがいいのに。こんな下々の意見を広報に載せて下さい。身近な記事こそ必要です。
177	コロナで打撃を受けたのは飲食店だけでなく南あわじ市すべての小売業が苦戦しています。平等な援助をお願いします。
178	新型コロナウィルス感染症の経済対策として淡路市は全市民に1万円洲本市は2万円の商品券が配られています南あわじ市は毎回何もありませんよね。それはどうしてでしょうか。7月4日(日)に全島一斉清掃で配られた(家庭配布用)その他の紙類(雑紙)保管袋ですが必要ありますか?お金をかける所を間違っていないですか?保管袋を配るなら南あわじ市の赤のゴミ袋を1枚でも配ってくれた方が助かります。
179	コロナのため収入が激減した為、市の支援に期待したのですがプレミアムチケットでは有難くないです。お金に余裕がなく、淡路市や洲本市の支援の方がうれしいです。前回の時もガッカリしたのですが今回もまたとても残念です。
180	洲本市や淡路市は商品券や金券を住民に配布しているが、南あわじ市は地域に配布しない。購入した分の20、50%などお金を使わないといけない。外出も減ったしイオンでの購入は使用できないとか。洲本市や淡路市と同様にしてもらいたい。差別である。
181	知人に南あわじ市はコロナ予防接種をスムーズに行っているねと話したら、その人は他は商品券とか現金とかもらっている。その方が良い。プレミアム券も使用する時期が無いと言われたり。次にプレミアムを出す時は使用しやすい時にお願いします。

【人口問題・高齢化】12件

No.	意見
182	教育と産業基盤を定着させ人口増加を望む
183	老人が増えていきますので安心して幸せに老後暮らせるようになってほしいです。
184	少子高齢化は避けられないのでそれは仕方がないが、その中で暮らしていく人々が幸せを感じる事ができるまちづくりを目指して欲しい
185	各個人がいきいきと生活できる市や国となってほしい。それには仕事や経済がスムーズに行え、それで社会がまわって行けたら大変良いと思います。もっと国のリーダーがしっかりしてほしいのである。この市のリーダーは色々考えて行動してくれているので喜ばしいがもっともっと人口が増える事業をお願いしたい、そして住民が協力しやすい取り組みが必要である。企業が色々来てくれて青年が働きやすい所になることが素晴らしいと思います。これから大変な時期ですがふるさと創生課の方々くれぐれも体調に気を付けて下さい。お身体を大切に。
186	高齢者だけの世帯や高齢者1人暮らしの世帯が増えているように思います。市の中心部に住んでいるならまだ交通の便もよく不便は感じませんが、灘地区や阿須賀、伊加利地区にお住まいの方は買い物や各種手続き、通院など不便を感じないよう生活ができればいいなと思います。島外へ進学しそのまま就職する方も多いいと思います。そうすると高齢者だけの世帯が増えるのでは。
187	シルバーの仕事範囲を広くして欲しい。
188	人口減少により現状のインフラ整備の維持が適正に行えるかどうか不安がある
189	農村地域で高齢一人暮らし親の代農業経営だったが、主人は定年までサラリーマン、定年後実家である現住所に帰り農地管理していたが、5年前病死、現在農地のほとんど市を通じて貸しているが家のまわりの小さな農地は自己管理で私一人で今は出来ているが何分高齢になって身体が思い通り動かなくなりつつあります。この様な土地をこの先どうすれば良いか悩んでいます。近隣でそういう家が何軒もあり後継者がいても他県で家を持っているので帰らないようです
190	地域の行事、清掃、神社、寺など軒数が少ない為、高齢に関わらず受けざるを得ない状態です。大きな集落はこんな悩みはないと思います。
191	独居老人の世帯が増えているように思います。老人世帯への巡回など安全で安心して生活できる取り組みをしてほしいです。後継者のない土地の雑草、木の処理、家の整備、実際うちの家の前の田んぼは何年も手入れしておらず区長を通して手入れをしてもらえるようお願いしましたが出来ていない状態です。
192	人口減少が永遠のテーマ、魅力あるまちにするため若者が働ける場所さえあればUターンも期待できるはず。子供の声が少ないのが淋しいですね。
193	少子高齢化はますます進み子育てがしやすい環境づくりや人生100年時代、元気に出来るだけ長く健康に働ける社会づくりを望みます。

【新型コロナウイルス】12件

No.	意見
194	早くコロナが治まって欲しいです。
195	コロナの接種を早くしてほしい。ストレス(外食)などたまってしまうから
196	コロナワクチンの接種が遅すぎる。市長は何をしているのか？他県、他市に比べて南あわじ市は遅れているのでは。コロナにかかってしまうと的になるような環境、早く安心して生活がしたい。南あわじ市のPRには偏りがある。目玉となるものが少ない。新しい事に挑戦すべき。中心地以外は不便、差がありすぎる。

No.	意見
197	コロナワクチン接種については淡路3市の中で一番混乱も少なく冷静に対応できていると思う。また自然環境や産業、特産物、グルメ嗜好に対しても充実しつつあると思う。ただ、個人の問題もあるが市全体が広いので貧困、交通の利便性、防犯、防災のリスクの地域格差が存在しているし、行政がどれだけ関わり対策がとられるかは未知である。できることは情報提供、地区組織の強化、人口減少対策としてある程度限界があるとしても若い労働力の流入対策が必要だと思う。南あわじ市が温暖で住みやすく、自然が豊かで人気もあり生活していける産業基盤があるということをもPRし発信してほしい。
198	コロナで大変な時、人との接触がなく孤立になる中、中年層のワクチン接種を早くしてほしい。早く人との交流ができるよう生活ができるようになってほしいです。
199	新しくなる南あわじ市にちなんだ企画、南あわじ市新規組合団を結成しまちづくり広い視野で南あわじ市の観光、しっかりした新型コロナ対策を含めると苦しいのもそうだったが、コロナ対策を少しでもゆめめとするが手洗い、うがい、消毒そして健康と栄養を摂る事を提案する。コロナ対策、健康と栄養が大切
200	コロナワクチンも感染者数を少しでも減らしたければ家から一歩も出ない高齢者よりも働き盛りの20~50代を先に打たなければ家庭の子供にうつす可能性が高い。私は64才でまだ何の通知も来ていないのは遅すぎます。現在の高齢者は裕福なので福祉に力を入れるより若者に目を向けて力を入れて欲しいと思います。
201	次亜塩素酸水の設置場所が分かりにくい。少ないように感じるのもっと場所を増やしてほしい。窓口の人、もう少し老人にしっかり接して下さい。知らん顔しているのをよく見かけます。玄関口で困っているのをもっと気付いて寄り添って下さい。住みやすい市にしてくれてありがとう。
202	新型コロナウィルスについて全ての年齢の方に早くワクチンが行き渡るよう努めてほしいと思います。またコロナに陽性が出た方について差別や誹謗中傷がないよう、防災行政無線で注意を呼びかけるだけでなく陽性者の情報等がもれないよう対策をして頂きたいと思います。私の周りでもコロナの方が出ましたが行動を一日中監視する(家族含む)、事あるごとに市役所へ連絡するなどプライバシーの侵害に当たるような事をするがありました。
203	新型コロナウィルスの感染の中であらゆる活動が休止しているのが現状。この状況でアンケートの回答をしにくいのが本音、一時の感染者数増加が少し下げ止まっているように思うが今が一番大事であり、リバウンド防止に全力を注ぐ時であると思う。情報と啓発をお願いしたい。
204	今回のワクチン接種など淡路島の他の市と比べてみたりして何でと思ったりします。遅いのか?観光などTVで見ますがやっぱり神戸方面に近い方がアピールするところが多くて南あわじ市にはないよなと思います。遅くなりすみません。
205	高熱(39.5以上)が続き、市役所や県の相談センターに連絡してもどこもはっきりとした回答をもらえず中途半端なたらい回し状態で本当に困りました。コロナの抗原検査やPCRを自力で高熱の中、そこら中にTELして伊月病院で陰性になりましたが、高熱は下がらず、40度近くになりフラフラだったので救急車をよんでも陰性と伝えても駄目です!とあの時は死ぬかと思いました。窓口を1つにしてそこから病院等に指示して指定された病院に行ける様な方法にしてもらわないと手遅れで死んでしまうかも。時間外や休日はTEL対応してないし、している所でも永遠に出ない。今まで生きてきて一番辛かったです。

【農畜水産業】11件

No.	意見
206	農業後継者の育成をもっと積極的にしないと高齢の農業者が引退したら農業が途絶える。新規参入者を受け入れる方策を早急に考えるべきだ。新規参入に必要な土地、家、道具、技術などをもっと支援する環境があると良い。吉備国際大の卒業生が南あわじ市に残りたいと思うような取り組みがあると残る気になるかもしれない。地産地消をするにも品物の価格が高すぎて手が出ないので地元の人をもっと安価で入手できる方法があるとよい。商品券も出されているがあまり特産物を買おうとする気になっていない。日用品を普通に買っているだけに感じる。淡路牛、三年トラフグ、サクラマス、タイなどをもっと地元民になると容易に味わえるような特権みたいなものがあると嬉しい。地域住民の交流はわりと面倒臭がられていると思う。企画する人がいないと出来ないがすすんで世話をする人が少なくなっている。
207	高齢者ばかりの地域では田畑の守りもできない。昔の三原郡がよかったのは農業所得が高かったから。現在の収入では農業する人が益々減っていく。
208	農業後継者問題を考えて下さい
209	使われていない田んぼを買い取ってあげて下さい。後継者がおらず管理するのが大変と困っている方がたくさんいます。
210	農業の後継者不足がとても不安に感じます。私も親の手伝いで行っていますが市全体でこの問題に取り組んで欲しいです。後継者不足の為、その後の田んぼや畑は荒れます。簡単に売買することや他の人に貸す仕組みがないため高齢な人が農業をやめ、田んぼを荒れた状態で困っている人がいます。また機械を各家庭で持つため、新しい機械購入することが困難な事で田んぼ作りをやめる人もいます。市のまちづくりの問題の1つとして特に考えていただきたいです。
211	農業の平均が70才をこえていたり、高齢化が進んでいるので南あわじ市は10～20年先を生きているつもりで行動する必要あり。
212	農水産物をいかした観光業の事業拡大、淡路島が本土から四国へのただの掛け渡しにならないように考えていく。
213	市民が助け合い、心豊かに優しい心を持って生活出来るまちづくりを願っています。オニオンロードが開通し、ごみのポイ捨てやスピード出しすぎの車が増え、危ないし田んぼはシカや猪の被害があり、最近では農作物を作る喜びよりしんどさが勝っています。そういう被害にも少し何か手を貸して頂きたいです。
214	先祖代々農業をやってきて、両親が亡くなり、夫婦離婚、子供達はそれぞれ家庭を持って1人で農業を続けたくても続けられない。1人で頑張っても経営上マイナス農業。1人でも農業を頑張りたい人を支援や共同経営方法を考えてほしい。南あわじ市の農業がこれからどんどん衰退していき住宅ばかり増えていくと思う。ベトナム人を雇って大型農業でないと生き残れない時代になっている。このままだと個人農業が少なくなりJAも経営が困難になる。
215	圃場がだんだん草だらけになっていく。農業後継者が都会に出て行き、昔ながらの兼業農家も減ってきている。農業をPRしていく市であればお上り片通りの考え方だけではなくもっと柔軟性を持った考えて後継者、圃場を守って頂きたい。
216	農水産業も農協にはあまり期待できずコロナ禍でUターン、良い機会だと思います。まちづくり、プライバシー等で希薄になりつつありますね。努力はしたいです。

【防災】11件

No.	意見
217	自宅近くの本庄川の落ち葉が長い間滞っており集中豪雨があるといつ氾濫してもおかしくないのが不安です。早く対処してほしい。
218	防災避難体制の充実、各町内会毎に津波に対しての避難状況を確認します。
219	津波、浸水に関するハザードマップの為に海岸地域の人口減が加速しているように感じます。災害時の情報発信は必要ですが、日常人が集まる場の提供や情報発信をしマイナスイメージだけにならないようにしていただきたいです。
220	全国を見ても住みよい町です。台風、災害においても今の所被害がないので良い町です。

No.	意見
221	災害の時にはテレビも停電になるか分かりません。私の住む地域は停電がよく起こります。6月末2回ありました。停電は一番怖いです。町、田舎に住む人にも安心して暮らせる町づくりをお願いします。町内に子供達の声が聞こえません。大人も子供も一緒に町づくりが出来たらいいと思います。これからの若い人達に期待しています。
222	三原川の氾濫で堤防が崩れて修理するのは分かるが、川の中の土砂崩れ等を修理する前に市民の要望を聞き、市民の安全安心を優先に税金を使って欲しい
223	津波の対策について詳しい情報が知りたい
224	南海トラフが心配でこわいです。地震を防ぐことはできないので少しでも被害を抑える対策。地震が起きた時の対処などを強化してほしいです。地震でケガをした時の医療体制も心配です。
225	南あわじ市は高齢者が多いですが津波が来た時の近所の連携がいまいち出来てない事です。淡路島でも福良は特に8mの津波が来ると年をいくと足腰が弱くなってくるので福良の高い所とか他所に住む場所を考えている人が多いと思います。これからの老後は不安しかありません。
226	あとは津波対策が早く進めば良いのにと願っております。遅くなって申し訳ないです。
227	防災訓練は毎回形だけのもので終わっている。あれば防災訓練でなくただの5分の集会だと思う。町内の役員の意識も低いと思う。

【交通アクセス】10件

No.	意見
228	教育費の支援がもっと必要。交通機関、バス等、補助金が必要。高速道路の使用バスの補助だけでなく島内路線バスに対しても補助が必要。バス代が高すぎるから。
229	南あわじ市は早い段階より医療費が15才まで無料、3才以上の児童の保育料無料などを取り入れてくれて子育て世代には大変ありがたいです。しかし、沼島地域においてはまだまだ住みづらい点も多く感じられます。何よりも淡路島から沼島小中学校に通う児童には学校を選択することもできる上、船代まで支給されるのに対し、同じ年の沼島の児童は南淡中へ行く際、灘からの通学バスにすら住民票をうつさないと乗せてもらえない事には非常に不公平さと不満があります。同じ南あわじ市内の子供達には住む場所を問わず同じ権利があるべきではないでしょうか
230	らんらんバス等の本数を増やしてほしい
231	大型スーパーはあっちこっちにあるのに車に乗れない者にとっては無に等しい。乗り換えなしで行けるバスの便がないため介護人のパートナーを持てると不便で1日家を空けることが出来ない。
232	今は自動車に乗っているが、この先乗れなくなった時、買物(食料品)をどうしたらいいか不安です。
233	私共は約8年ほど前に島外(尼崎)より移住して来ましたが、らんらんバスのルート希望なんですが、伊加利こども園から津井方面に向かう道通りに自宅があり非常に交通手段がなく不便です。最寄りのバス停まで徒歩で30分強程かかります。私は70才を過ぎ若い頃に車の免許を取得していますがペーパードライバーで乗ることができません。主人も2年前に大動脈瘤の手術をし体力的にも非常に弱っています。運転免許返納を常に考えています。特に日常生活に支障をきたすこと、病院、買い物
234	山間地で人口減少の為、地域での共同作業がやりにくくなっている。具体例、ため池の管理、草刈り。農業用水路の草刈り。近所の人の中に運転免許を返上する人が出始めた。通院などは家族が行っていると聞か、コミュニティバス(せい太くん号バス、ランランバス等)の充実を。尚、何処で何人位の希望者があるか大変とは思いますが、毎年調査して下さいをお願いします。
235	私は津井地区に住んでいるものですが、せいた君号ですが津井はもっと海の方から山の方へも通るようにしてくれる様をお願いします。
236	らんらんバスは75才以上の人が安い料金で乗れるようになっているが60才以上でも生活が困っている人も安く乗れるようにしてほしい

No.	意見
237	現市長さんはようやってくれていると思う。これからどんどん増えてくる運転免許返上後の年寄りの足具合が悪いらしい、もっと利用しやすいように、利用する者、運転する者、その他大勢の人の意見を聞いて我々が利用する時分には具合のええものに改革しといて下さいよ、たのみます。

【住民参画】10件

No.	意見
238	若者の意見を発信できる体制、機会が少ないように思う。
239	生活する事で精一杯の日々で地域のために時間を取る事が苦しい時もあります。時間に余裕のある方々が気軽に市政に参加出来る事が出来れば良いのではと思います。もう10年も過ぎれば私自身も色々な事に参加できる余裕も出てくるのではと思ってます。南あわじの農業は忙しすぎますね。
240	老人が多い為、南あわじ市役所は遠すぎます。もっと近くで色々話せるような町づくりをしてほしい
241	アンケートの回数をもっと多くすることで市政への関心がもっと高まるものと考えます。市民の多くが市政に関心を持つ事が大切だと考えます。わかりやすい取組情報を希望します。
242	まちづくりに対して市民のみなさんが平等で色々な事がわかりやすいまちになって欲しいです
243	これからは行政と市民とが一体となって住みより南あわじ市を作るのに何かの交流の場を設けて意見を出し合い取り組んでいったらいいと思います。
244	本来こういった住民の声の吸い上げは行政はもちろん議会議員がやるべき仕事だと思います。残念ながら今の議員は名誉職のごとく何も見えません。もっと細かく議員個人の仕事ぶりを発信していくことが大事ではないでしょうか。選挙前のアピールだけ熱心で。行政の方々につきまちは日々御苦勞様です。
245	以前に比べたら日々市のまちづくりは進歩していると思います。でも旧市町村間の進歩はかなり差があります。意見のある所だけ改善するのではなく、議員さんの意見だけで改善しているように思います。もっと平等に町づくりに取り組んで欲しい。
246	コロナ禍の為、人が集まる機会は減少、三密の回避が必要だが時期を見てまた市民との対話の機会を持ってほしい。
247	アンケートも良いが、市職員代表者と話し合いの場をとっていますが

【移住・定住・空き家】10件

No.	意見
248	空家にしても危険を伴うものに関しては行政でもう少し踏み込んでほしい。
249	若い女性が住みたいまちづくりをして下さい。人口減は若い女性が他市（島外）に出て進学、就職、帰って来ない事。生産性が高まれば活気も出て来る。
250	私達の周りには子供がいません。若人達が安心して住める市にして下さい。
251	生活、就労の場の確保が必要だと思う。閉鎖的な田舎のイメージがあるのかもしれない。20～30代の人達に選んでもらえるような地域を作る事が大切だと思う。
252	人口減少に歯止めがかからないので、三大都市圏から子育て世帯家族が移住を検討する選択肢のひとつの町として考えてもらえるような施策（斬新なアイデア）を発信してもらいたい。
253	若い世代が定住できるまちづくりを希望します
254	同じ地域内で市営と県営の住宅があります。入居のニーズが異なります。市の人口を増やす為にも公営の住宅区を空けておくのもどうかと思う。特に低所得者や高齢者の入居が難しい、あいているのになぜ入れないか。高い家賃のマンションやアパートに入る老人もいます。かわいそうです。何とかありませんか。

No.	意見
255	空家対策、クリーンアップ作戦（全島一斉清掃日以外のクリーンアップを自治会に働きかけを）、自転車歩道の整備（見回り点検）、南あわじ市では空家バンク登録制度がありながらも登録者が少なく利用者にスムーズに渡らずにいる。各地域の自治会にヒアリングなど調査を依頼するなどして、家主がどうしたいのかを把握しておく取り組みがされ、行政より親睦のある地域の人に仲介役を働きかける。集落支援員などの特区の導入、又はボランティアができる不動産、大工さんなどの呼びかけ。各地区に移住者相談窓口をオンラインでできるシステムがあるといいなと考えます。
256	東京から結婚して南あわじに転入しました。食べ物も美味しいし、海山も素敵、温泉も最高だし、でも東京にいる時は何一つ知らなかった。もっと全国の人に知ってもらったらこのコロナ時代移住してくる人は増えるはず。Wifiがあれば、あと玉ねぎを週末に手伝ったりしてくれたら若い人でも生活していける経済力を作れるのではと思うのです。ここに暮らしてからストレスが減りました。三宮、神戸空港からのアクセスがもう少しよければなと思います。玉ねぎ（つるし）ができる人が少なくなっていたり、これから超高齢化の南あわじ市が心配です。私事ですが南あわじ市役所の方はみんなまじめで一生懸命いつも働いて下さりありがたいです。もっともっと市民を巻き込んでどのジェンダー世代も活躍の出来る市にしていきたいです。
257	若い人が子育てをしやすい環境を作っておいたら少しずつでも人口が増えていくと思います。

【コミュニティ】10件

No.	意見
258	何十年経っても差別はなくなり顔をみせずに悪口を世界中に発信できるような世の中、機器の進歩は喜んで人の心は情け容赦もない、優しい心の育つ学校教育を望みます。
259	気楽に集まれるコミュニティーセンターがあれば良いです。
260	地域の若者同士が気軽に参加出来るイベントや環境作りをしてほしい。（身近に同世代の人がおらず孤独を感じる時があるため）
261	社会が豊かになって来る程に人の住み方にも変化がうかがえます。今回コロナ禍で地域コミュニティにも疑問を持つようになりました。自宅での時間が多くなった分、近隣の付き合い等が希薄であるように思いました。行政面においても近くの人が感染したように聞きましたが、その情報も2～3ヶ月後でロコミで知るだけでした。近くであっても必要な情報が入ってこない。このようなことは大きな不満であってコミュニティが育っていない、あるいは消えているのではないかと思います。共通の問題、ベースがなくなっている昨今、今後の大きな問題となっていくと思います。
262	戦後から変わらずある自治会のあり方を話し合える場作り。
263	各分野において若い世代への啓発が必要なのではと思います。生涯現役で年齢に関係なくご活躍されるのは素晴らしいことですがそこに若い世代の参加はなく先細りが否めません。若い世代といえましても色んな分野サークルにおいては何も20、30代には限りません。文化協会のサークルにおいてはもっともっと若い世代の方達に参加して欲しいなと思います。とにかく子供の数が少ない、時折新聞で明石市の行政をみますが、子供子育てに対して手厚いサポートをしてあげてほしいと思います。（ちなみに私は子供がいませんが）世の中は決して平等ではありませんが、教育において不平等を感じることなく成長していったほしいです。具体的なことなどわかりませんが、既婚未婚問わず若い世代が暮らしやすい地域になればと思います。
264	若い人達が減り、現在住んでおられる若いご夫婦とも話をする機会がなく、世代のギャップを感じる事が非常に多いです。例えばゴミの収集に関する事、一斉清掃とか。個々の町単位で交流が出来れば良いなと思います。
265	昔の様に仕事であっても声掛け、挨拶ができる環境が良いです。自己主張が前に出てしまっ相手に対する思いやり、特に年上に対する気持ち失われているように思います。明るい素直な町づくりが良いです。

No.	意見
266	コロナ禍の中、75才以上の人は皆家庭に閉じこもっています。他人の交流が持てない人が多い。腰の曲がった人、車の運転も出来ない人は病院以外まず、どこへも行けない人が多い。みんな人恋しい思いで過ごしています。地域というより部落単位で何か出来る事が無いでしょうか。神社とかお寺参りでもいい、寄り合って話す場所があるといいのですが。最高齢者に何か生き甲斐がないものかと日々考えております。年を重ねると自分の事しか考えられなくなります。
267	町づくりとはあまり関係ないかもしれませんが人が困っていても助けてくれる人は少ない。口出しをして味方するのが嫌なのでしょう。自分だけ良ければ良い人が多い。人間関係で苦勞をして暮らしている人が多い。大人、子供社会からいじめがなくなるような社会にしてほしいです。トラブルが多い町は住みよい町ではないです。市議員さんには住民の意見を持って聞いてほしい。無愛想な方が多いのでとっつきにくいです。改めて頂きたい。

【雇用問題】10件

No.	意見
268	高校卒業後進学で島外へ出た方が帰って来て生活できる場、魅力あるまちづくりが必要だと思う。
269	農業も水産業も担い手がいなくて大変だと思います。若い人が働く場所が少ないと思います。戻ってくるためには仕事がないと厳しいと思います。
270	子供を大切には理解できますが大きくなって島内には仕事が少なすぎ、結局島外に出て行く
271	住みにくいと感じた事は1度ありません。生まれてからずっと南あわじ市居住ですが不満も無く過ごすことが出来ています。介護等、人員不足の企業も多々あると思うのでそういう企業の宣伝やそれに伴い子供（保護者の確保）を預かっていただける環境の工夫をもう少し改善が必要かと思われます。女性だからと働き方を変える必要があるのはどうなのかと思います。
272	職場の子育て世代は南あわじ市はサービスが手厚く子育てしやすいと良い評価をしているが、高校になれば洲本が便利（実際にマイホームは洲本市に建てられたケースが多い）また進学、就職を考えたら島外というようになってしまっている。長く在住できるように生活面での利便性を必要と考えます。その為企業の誘致、南あわじ市内の雇用拡大に繋がる工夫が必要かと思います。
273	若い人達の働きたいと思う安定した企業が少ない。このままでは働きたい企業がなければ若い人達は島外で就職することになっていく。そうなるとますます南あわじ市は高齢化と人口減少に拍車がかかり大変な事態になっていくように思います。市はもっと企業誘致を行い、若い人達に働く場を提供していかなければならないのでは。また特産品の玉ねぎ、レタス栽培についてはPRや補助等ほとんどJA任せで市独自でも栽培振興に力を入れてほしい。
274	若い世代が働ける環境を作って欲しい。大学等卒業したら都会で就職が定番になってしまい考える選択肢にならない（淡路での就職）地場産業（特産物をいかす）を増やしてほしい。
275	雇用を生む産業の誘致
276	若い人が働ける職場がほしい。大学を卒業しても帰ってこれない。
277	私には子供が3人いますがそれぞれ大学を卒業した後は地元には帰らず就職、そのまま家庭を持って都会の人に。高校を卒業して地元で大学を卒業して地元へ帰って就職、こんな選択肢が普通に出来るよう、私は企業誘致を提案します。

【子育て・教育】9件

No.	意見
278	教育環境の充実と抽象的なことを言うのではなく、徹底した教育指導(学習)を目指してほしい。勉強は皆好きではないがスポーツで一流になる人は人の何倍の努力をして大成後、満足感が持てる。学力もスポーツも同じで大変な努力をしないと大成はできないが、学力については努力する環境(場所)がないような気がする。まず高校までは南あわじ市で徹底的に勉学の場を与え(小学校から)学力の向上を目指す。南あわじ市の高校より東大合格者が何名か出ればその後は放っておいても南あわじ市の学力は必然と上がる。灘高校の生徒も南あわじ市の生徒も同じ年齢であるが何が違うかを考える。
279	コロナが減っている状態のうちに子供のオンライン授業の強化をすべきだと思う。必要になっていきなり本番では無理がありすぎるしこれからの子供達はプログラミングなど学び今よりもっとIT関係には強くなる。その一貫もかねて緊急時にも備えておいたほうがいいのではないのでしょうか。学びを止める、コロナに怯えながら通学とならなければよいのにと心から思います。
280	移住政策による補助金は他の地方自治体にはない厚遇であるのには感心します。市のこども園もすばらしい。移住により母親が働く為に0~3才児までの面倒をみる為、休職するケース多々あると思います。どうか市の方で0~3才児を無償にしてみる事は出来ないか?
281	教育環境が不十分すぎる。Ipadが支給されているにも関わらず全く活用されていない。他の市では宿題の為に持って帰って活用しているのに一度も自宅で使用していない。教育の充実に力をいれるべき。特にオンライン、PC等。
282	現在、家庭育児中で以前は保育士として働いていました。南あわじ市だけでなく国内で待機児童が多い中、自身も数年後に子供を保育所に預けて働く予定ですが、兄弟同じ園に預けられるのか?未満児は預けられるのか?自身も保育士として復職するか他職か、勤務時間は?など不安もあったり考慮したりしています。南あわじ市も保育士が足りないに耳にしますが、子育て期の母親であると保育士をするメリットよりもデメリットの方が多いように感じます。給料面や勤務時間、保育士一人に対する責任の重さ、仕事量などが改善され、潜在保育士が復職できるようになり女性の社会進出ができることを願っています。
283	子育て支援にもっと力を入れて欲しい。
284	保育料も全国的に3歳以上無料になったので特に南あわじ市で子育てをして得られるメリットもないような気がする。
285	小中学生の子供を育てながらフルタイムで働いています。南あわじ市の子育て支援は他の市よりも充実していると思います。何年か前に収入により子供の医療費がかかるようになりました。歯科検診に行っても無料の世帯がほとんどだと思います。もう一度南あわじ市の子供の医療費を全ての世帯において無料になるようにしてほしいです。医療費が無料ということでコンビニ受診にも繋がっていると思います。見た目元気なのに小児科を受診している人をよく見かけます。
286	学童保育の時間延長希望。そうすれば女性がもう少し長く働く事ができます。検討お願いします。結局男女平等にはならない。

【広報・市の情報】8件

No.	意見
287	毎月広報を送っていただいているのですが、年度でゴミのカレンダーが替わるのでそれも一緒に入れてくれるとありがたいです。毎年市役所まで取りに行くのが面倒です。ゴミのカレンダーなので全戸配布は当たり前だと思います。
288	また別の要望として現在わからない事や質問があれば市役所に電話で問い合わせるしか方法がないと思うが、LINEアプリを使用した自動対応などを使ってみてはどうでしょうか。市のHPを見れば分かることなのに問い合わせがきて市役所職員が対応に追われるというケースもあると思う。なのでLINEで質問を打ち込むと市のHPの適切なページに飛ぶようなプログラミングを頼んでみてはどうでしょうか。

No.	意見
289	南あわじ市に住んでいても情報が伝わりにくいのもっと早く正確に全部に知らせてほしい。介護がしにくくなってきているので、もう少し手厚くわかりやすく知らせてほしい。
290	新聞を取っていないと広報等の配付がない為情報を得られにくい
291	広報が届かないのはなぜでしょうか。新聞をとっていないからでしょうか？職場で聞いても自分の町民税は多いと思います。払っている税金に対して行政の対応は不十分ではないでしょうか。独身で単身である為多くの税を納めるのは納得しますが。それに対して他の町に対してサービスが不十分と考えるのは間違っているのでしょうか？他の町では広報も届くし他のお知らせもあるのに。高い税金を払っても住んでいる人の気持ちも少しは考えてもらいたいものです。
292	南あわじ市を発展させ住みよい地域になる様に誰もが興味をもって向上出来る事。行政もわかりやすい伝達でよろしくお願いしたいです。
293	最近テレビを見ない、ラジオを聞かない、新聞を見ない人が増えています。情報が偏って入手する形態になっています。私もその一人です。全世代がたくさんの南あわじ市の情報を手にする必要があるんですがどのようにしたらよいのでしょうか？このアンケートと向き合うことで南あわじ市＝地域の情報にあまりにも知らなすぎるなあと感じています。今後もう少し気に留める努力をしていこうと思っています。最後にいつも南あわじ市の為に働いて下さっている皆様に心より感謝したいと思っています。
294	私は70才です。スマホもインターネットも出来ません。市の情報を知るのはさんさんネットでしか分かりませんのでもう少し多く詳しく配信して頂ければと思います。コロナウイルスがなかなかおさまらない中その関係の情報をもっと発信してもらえたらと思います。

【観光】7 件

No.	意見
295	観光にも力を入れて下さい。期待しております。
296	サンライズを中心に山を歩く(トレッキング)山を走る(トレイルランニング、トレラン)感応寺と土井谷にコースを計画する。食事より運動、南あわじ市市民は力を合わせ発展を自分の力ではどうにもならない。市民は島の外を見る事
297	コミュニティバスに南あわじ市の観光地域等バスに印刷し市民他にみってもらう事
298	海岸沿いの地域、慶野松原、福良、阿万などの地域は海の幸やクルーズ、キャンプ、海水浴と賑わいますが、広田の山、倭文の山、櫛田の山、ゆずるはの山等、山をもっと観光資源につかえないでしょうか。淡路市みたいに遊べる場所がもっとほしいです。アスレチックとか大人数での鬼ごっこができるくらい拾い公園とかお金がかからなくて遊べる所を増やしてほしいです。
299	私は福良在住です。現在コロナの関係で来客が減少していますが、今まではクルーズ周辺で多くの観光客が来ています。この観光客をもっと福良の街中に呼び込む必要があります。スタンプラリー、町中にはちりめんロード、そうめん製造、魚販売店「ギョギョタウン」があります。スタンプラリーを行いちりめん、そうめんの食事、鮮魚の食事(フグ、サクラマス、地産の魚)各店をまわりスタンプラリーを行います。マップを作りスタンプ利用店を記載、その為レンタサイクルを設置。返却リストをなくす為(例 借りる時2000円、返却時1500円戻すなど)そうすれば、返却リスクが減ります。道路上に矢印、看板設置を増やし初めての人にも目的地がわかりやすい状況を作ります。
300	志知城跡の所が今は草と雑木林になっているので整地してほしい。戦国時代に黒田官兵衛が来たとか観光地になるかも。淡路島に残る唯一の天皇陵を大切にしてほしい。志知中島の大炊神社にある石碑もよろしくお願い致します。
301	観光業に対して自治体が率先して島外からの観光客を招く努力をすべき。若者に生きがい楽しを提供する。

【アンケートの意見】6 件

No.	意見
302	アンケートについて、誘導的な質問が多かった。現状の情報(状況)を集める工夫をしてほしい。

No.	意見
303	この意識調査はとても答えにくいものでした。1つの設問に異なる答えのある項目がいくつもありました。また設問がとても大きなテーマのものもあり、答えようのないものもありました。この調査への回答がはたしてどのように役に立つのかよく分かりません。設問をもっと具体的に身近なものにした方がもっと答えやすく役に立つのではないのでしょうか。あまり役に立たない回答で申し訳ありません。でも南あわじ市の今後の発展を願う気持ちに変わりはありません。
304	85才以上の人の声より若い人に出るだけ聞いてほしいです。老眼鏡をかけて虫眼鏡で1日で書けませんでした。こたえになっているかわかりませんがよろしく。
305	このアンケートの対象者は有識者でスマホやSNS、ネットショッピングをしている人を前提に設問が作られているように思いました。そうでもない人も大勢いると考えられるのもう一工夫がほしかった。
306	アンケートにも関わらず、日にち指定してまで送ってこないで下さい。体調が悪く2〜3ヶ月寝て過ごしているのに何も出来ません。
307	4年前もアンケートがきました。なんで一緒の人ですか。他の人にして下さい。首腰ヘルニアになり字もあまり書けません。仕事も出来ません。歩くのも不自由になる。

【ごみ処理・廃棄物・不法投棄】5 件

No.	意見
308	荒ごみの収集を週に一度でもして下さい。他市から来た人は燃える日のごみ出しに驚きます。トレイやビニール袋なども野菜くずと一緒にいいのが簡単でいいと褒められました。
309	近所に空家があり鳩とか小鳥が住みついている。鳥獣課がありながら鳩の駆除とかは全然取り合わない、早く言えばゴミ屋敷ですが市は何の対策もししてくれない。住みよい町景観を言うなら少しでも何度言っても何もしてくれない。
310	ピンクのゴミ袋1枚30円は高過ぎじゃないですか？
311	南あわじ市は自然豊かな美しい市です。しかし山の奥の道路を通っていると不法投棄されたゴミがあちこちにあります。ジュースの缶やコンビニ袋、電化製品、TVやビデオデッキなども見る事があります。残念でなりません。私の住んでいる家の近くにも海岸にゴミを捨てていく人がいます。どうすればなくなるのでしょうか？市の方で対策があれば考えていただきたいです。
312	県道の草刈りいつもありがとうございます。車が通りやすくなるのはいいのですが空き缶、ゴミがそのままあるのはどういう事ですか？草刈りの時ゴミも一緒に回収すればいいのに。ゴミがあるから心ない人が捨てるのでは？県からのお金がないのですか？自転車での観光客が多く来ているのがっかりすると思う。南あわじ市広報で草刈りした所ここからここまでしました。その間にこれだけのゴミ、空き缶が捨てられましたって写真を載せてもいいと思う。

【イベント】5 件

No.	意見
313	南あわじ市に住むようになって8年程ですが、とても生活しやすいと思います。子供を育てているのでこちらの文化など、一緒に学ぶことが多いです。でもまだ知らないことがかなり多いなと思うことがあります。少し前は色々な集いに参加していたのですが、コロナのせいでイベントなどが減ってとても残念です。参加することも考えてしまいます。もう少しコロナが落ち着いたら素敵なイベントなど計画よろしく願いいたします。
314	子供に色々な経験をさせたいと思い、公民館活動など検索しても出てこない。地域で行われている活動(トランポリンやダンスなど)を知ることができるようにしてほしい。地域での子供会の有無、活動等もわからない。
315	市内のスポーツ大会が大幅に減少した。予算の都合で一部だけの楽しみといった意見等があるのは分かるが健康増進などを推進するのであれば復活させてほしい。また世代間交流も図れる良い機会になると思う。

No.	意見
316	コロナ禍の影響でますます地域の人々のつながりが無くなっていると思う。コロナ禍でもみんなが楽しく文化や伝統に接する事ができると思う。例えば夏の花火大会、難しいと思いますが盆踊り等をしてほしい。それと南あわじ市がコロナ禍後にもっと観光にきてもらえるような目玉的なものを考えてほしい。
317	楽しそうな参加したい興味のある事柄を。今でもだいぶ満足しています。

【シティプロモーション】4件

No.	意見
318	最近テレビで淡路の農業（玉ねぎ等の野菜）、漁業（養殖）、観光案内等を放送している。これからも多くの取材をしてもらい地域の活性化、イメージアップをして欲しい。そして地域の活性化、若者の雇用機会を増やして欲しいと思う。
319	神代の時代からの歴史があるのに玉ねぎのブランドしか知られていない。何かメディアを通じて淡路島を知らしめる方法を考えて広く知ってもらうことを企画してほしい。例えばアニメ、ドラマや映画の舞台となる事で、町おこし（聖地巡礼など）につながったケースは多いので南あわじ市の魅力を伝える手段に使えないものだろうか。特にアニメなどは若い世代に響くと思います。金沢市湯湧温泉、広島県竹原市、富山県上市町、香川県土庄町、マイナーな地も有名になる。
320	美しい町並み、外部の人が観光などで訪れても恥ずかしくないような景観。南あわじ市の様子、農業、漁業などを YouTube 配信をして興味を持ってもらう。移住体験などのイベントの実施
321	数年前北海道に旅行に行きました。子供の頃からの憧れで期待が大きすぎたのかもしれませんが、実際に行ってみるとこの程度なら兵庫県も負けていないのに皆が北海道に行きたがるのはなぜなのかと思っていました。他の都道府県の人から見たら神戸は有名でも他の市町村は印象が薄いのではないかと。鳴門の渦潮も南あわじと結びつけるよりは徳島というイメージの方が強いのではないかと。学生時代を神戸で過ごしそれでも南あわじに帰って来たのはホッと息がつける場所だったからで南あわじは良い所なのに子供達は大学で島を出て行くと帰って来ない。市役所の人達は日々努力をしているのは承知していますがどうすれば南あわじの魅力を他地域の人達にそして南あわじで育った子供達に伝える事が出来るのかを今一度考えて欲しいのです。観光面でいえば遠方から来られた人の南あわじでの移動の充実（以前さんさんネットでアプリによるタクシー移動のニュースを見ましたが）は必須だと思いました。あっても周知されていなければならないと同じ。皆がスマホを完璧に扱えるとは限らないのですから。

【上下水道】4 件

No.	意見
322	下水道の浄化整備の充実等早くしてほしい
323	下水処理工事の拡大を急ぎ対応してほしい。末端地域ではまだまだ取り組みがされていない。
324	生活排水の処理代が高額すぎると思います。南あわじ市に越して来て驚きました。実際使用料に加え排水込みだと、約2ヶ月分近くの額を1ヶ月の水道代請求がくるのがすごく負担です。前市外で支払った事がないのでシステムが分かりませんが南あわじに検討して頂きたいと願います。
325	水道料金が高いし水が美味しくない。ミネラルウォーターを買ってるといふ人もよく聞く。市民生活に欠かせない物、整備見直しをお願い致します。

【その他】36 件

No.	意見
326	全ての項目について言えますがとにかくわかりやすくすることが大事だと思います。
327	サンサンネットのニュースは当日前日までの件を放送すべき、3～5日経ったことを報道してはダメ、もと他市と比べるとよい。

No.	意見
328	まちづくりという大きなテーマをあげても、まずは一人一人のモラルが大切だと思う。若い世代が理解できる常識が70、80代には欠けている。自分の都合で年寄りになったり、老人をバカにしていると怒ってきて自己主張が強すぎる。老人にも教育が必要、そこからまちづくり改革をしてほしい。
329	娘に届いていましたが大学生で島外にいるため母が代理でアンケートに答えました
330	あまりけんかせんように
331	住民票は市内にあるが他市(島外)で生活している方が多くいる。島外で勤務している方は住民税も当市に納税されているのかもしれませんが、生活者は減少している様に思う。
332	他方へ行った子や孫の帰省やUターンの為に故郷を忘れない為に祭りやイベント、人形浄瑠璃など南あわじの思い出につながるものは残していったほしいと思います。また関東の人に玉ねぎを送ると淡路たまねぎは余り出回ってないようでもったいないと思いました。
333	貧富の差はなくならず差は大きくなる一方
334	エスディーゼは必要無、セキュリティ上ラインは使わないで、福祉より税金を安くして
335	淡路市の方でも色々建物とかできています。南あわじの方でも何か画期的なものはできないでしょうか
336	農繁期だったので忘れていました。遅くなりました
337	なかなかブラック企業が多いのが現実です。
338	旧西淡町はこの地区、町よりも取り残されている、もっと平等に開拓してほしい。例 道路
339	80才の老人には難しすぎます。
340	オニオンロードを全ての区間で優先道路にしてほしい。彼方此方にある無駄な信号を廃止にしてほしい。諭鶴羽山系の豊富な水資源の利用度を上げろ。牛舎から発生する悪臭、メタンを活用(コンポスト式、燃料)しろ。ウバメ樫で備長炭をつくろう。トレッキング道をつくろう。ショートケーキハウスの建設中止&空家リノベーションの推進。腐った中央に太いパイプのあるこの市長はダメだ。国を破壊してきたのは経済省のチャラ男達、その一人だろ。
341	申し訳ありませんが全く見通せず暗いことばかり
342	御苦勞様です。今後共よろしく願います。
343	自然が好きと言いながら移住する方の自然破壊。移住する方の自由なふるまいに自然が破壊されるのが心苦しく思い出がなくなり愛着がわかなく人間不信になります。島民の為にならない。
344	南あわじ市は高齢者の介護施設、病院等も多くあり、介護スタッフの不足が問題となっており、現在はEPA、技能実習に頼っている現状であり同じように建設業、農業等も若者がいなくて外国人雇用、技能実習生を雇入れしている、との声をよく聞きます。外国人の技能実習生の方にも最長期間まで長く在住してもらえるような工夫も今後は必要となると思います。
345	ご期待に答えられなくて申し訳ないことです。毎日目先の生活に追われ大きいことを考えるゆとりもない有様です。どうぞお許し下さい。
346	私は88才家族に世話にならない様にこころがけたいと思っています。今でもうずしおラインの道路を車が走っていますが両側に玉ねぎ殿が建っているロードに世界遺産を見たいものです。
347	SDGsは詳しくは分かりませんが身近な所から改善して下さい。
348	飲食店のハザードマップがあれば便利と思う。
349	国生みをアピールしている淡路島だからこそ動物達とも共存できるまちづくりを検討して頂けたらと思います。
350	人形浄瑠璃を部活動とするのは良いがそのままないう館前の所に就職するのはどうかと思う。常識を知らない大人になる。あそこ的人是が高過ぎて鼻持ちならない。あんな人に税金を使ってもほしくない。正直良い噂を聞かないし実際高飛車で対応が悪かったのでタダだとしても見に行きません。建物も汚らしいです。福良の景観が悪くなります。
351	南あわじ市商工会に以前電話をしたら折り返すと言い、そのまま連絡がなかったのでまちづくりも重要だが基本的な人に礼を尽くす事ができる人材教育をお願いします。

No.	意見
352	南あわじ市創造計画について理解していないため記入していない
353	遅くなりすみません
354	コロナで人と人の接点が少なくなり今のスタイルが基本となりそうに思います。日本中も世界中も。会合も少なくしていき、内容の濃い会合にしてほしい。衣食住で食と住を保障したら市民、国民を安心し犯罪も少なくなると思います。
355	余分な事ですが住みよい町には国民健康保険が高すぎです。子育てに力を入れて医療費無料とかしてるけどもう少し安くしてもらいたい。年金生活にはきついです。年間20万から30万もどうにかありませんかね。国保が高いのは有名ですよ！日本一高い国保、南あわじ市本当にどうにかしてほしいです。
356	南あわじ市は色が難しいと思います。
357	榎列在住です。家の裏は川になっています。平成16年の台風23号の時には氾濫しそうになり怖かったです。土手がなく川と土地の境があやふやです。普段はほとんど水は流れていないので水害の心配はよっぽどではない限り大丈夫何だと思っていますが草がぼうぼうで見栄えも悪いし、何といっても虫が多過ぎて困っています。春には菜の花が咲いてしまい子供は花粉症に悩まされ見るのも嫌だと言います。近年はムカデが年に何匹も家の中に侵入して2年連続、噛まれました。ヘビやカメも川から上がってきます。先日数年ぶりに川が整備され期待していたのに処置がないのでもうすでに草茫々です。あれでは税金の無駄遣いだと思近所の人はみんな言っています。引越したい位悩んでいます。せめて土手の部分をコンクリートで壁をしてほしいです。また大きな台風がきて氾濫でもしないと改善されないのでしょうか。子供達にここに住めとはとても言えません。ここで言うべきではないのだと承知していますが一番の悩みなので書かせて頂きました。土手の整備は今すぐではなくても草刈りだけでもお願いしたいです。本当に毎日怖くて安心できません。ちなみに去年は大ゲジという奄美地方に生息するというゲジゲジも出ました。カメムシが発生するのも土手のせいだと思います。先日の川の整備からすぐ草が生える今の状態を写真にも撮ってくれている人がいます。是非見に来て下さい。
358	お疲れ様です。
359	いつもお世話になっています。南あわじ市は住みよい町だと思います。海の幸、平野の幸に恵まれいつも新鮮な食物が頂けます。人との繋がりも良いし、気候にも恵まれています。
360	心身の不調の人など往診などたまにでもしていけたら、今辛い人もいるかもしれないけれどお薬などで良くなる人もいるかもしれないと思いました。介護など医療、保育等、お給料が低い人等は上げて欲しいです。
361	広田地区在住ですが、子供の数に対し公園の数が少ない事に気づきました。その為、休日や平日の夜（親が帰宅し晩御飯を作っているであろう時間帯）に子供達が住宅地の道で遊んでいる事が多いです。子供だけで数人（3才～小2くらい）がキャーキャーワーワー走り回り、人の敷地内に入り砂利を投げたり花を触ったり、またサーキット場かの如く自転車を乗り回し非常に危険で迷惑です。住民だけでなく宅急便トラックなどの大きな車も入って来る道です。休日に調子が悪く寝ていても子供達の叫び声が頭に響き吐いた事もあります。自分にも同じ位の子供がいますが今は遊ぶ時はまだ子に付いて危ない遊び方をしていたらなぜ危ないかどういう事故に繋がるかを一緒に教えています。子供だけを外（ましてや住宅地）に放り出すなんて恐ろしい事を我が家では出来ません。公園の数を見直していただくと同時に親や子に外遊びの危険や他の家に与えてしまう迷惑など今一度指導していただきたいと切実に願っております。お便りを作って配布するなどし、子だけでなく親にも周知してほしいです。車に傷が入っていたり庭の物が微妙に位置が変わっていたり、ボールなどを壁や車にぶつけられたりしても防犯カメラを設置しない限り犯人も明らかに出来ず泣き寝入りするしかありません。長々とすみませんでしたがこのように意見できる機会を待っていました。ありがとうございます。住みよいまちづくり期待しております。